

令和8年度

学校管理運営計画



七尾市立田鶴浜小学校

石川県七尾市田鶴浜町赤部365番地

TEL 0767-68-3111

FAX 0767-68-8075

七尾市立田鶴浜小学校学校管理運営計画 目次

I 学校概要	P 1	(5) 教育相談目標	
1 校歌		(6) 教育相談方針	
2 沿革		(7) 教育相談年間計画	
3 校区地図		(8) 教育相談組織と体制	
II 学校経営計画	P 4	5 給食指導計画	P 29
1 学校経営ビジョン		(1) 食に関する指導の全体計画①	
教育目標 めざす学校像		(2) 食に関する指導の全体計画②	
めざす児童像 めざす教師像		6 学校保健計画	P 31
今年度の重点 学校評価計画		(1) 学校保健指導目標	
2 校内若手教員研修計画書		(2) 学校保健全体計画	
3 GIGA校内研修年間計画		(3) 学校保健年間指導計画	
4 学級経営案(別冊)		(4) 保健室経営計画	
III 教育計画	P 9	(5) 安全衛生委員会年間計画	
1 教育課程		7 学校安全計画	P 35
(1) 学年別教科等配当時数		(1) 学校安全指導目標・学校安全全体計画	
(2) 担当教科及び持ち時間数		(2) 学校安全年間指導計画	
(3) 日課表		8 人権教育計画	P 37
(4) 時間割		(1) 人権教育目標・人権教育全体計画	
2 学習指導計画	P 14	(2) 人権教育年間指導計画 各学年	
(1) 各教科等の指導方針と重点(別冊)		9 特別支援教育計画	P 45
①国語科 ～ ⑫総合学習		(1) 特別支援教育目標	
教科等指導の重点(別冊)		(2) 特別支援教育全体計画	
①国語科 ～ ⑫総合学習		(3) 特別支援教育年間指導計画	
(2) 各教科・領域年間指導計画(別冊)		(4) 特別支援教育校内支援体制	
(3) 全体計画		(5) 通級指導教室指導計画	
①道徳教育	P 15	IV キャリア教育指導計画	P 50
②特別活動		1 指導目標	
③総合的な学習の時間		2 指導方針	
(4) 指導方法工夫改善実施計画	P 18	3 指導実施方法	
3 学校行事年間計画	P 21	4 指導全体計画	
4 生徒指導計画	P 24	5 指導年間計画	
(1) 生徒指導目標		V 図書計画	P 55
(2) 生徒指導方針・生徒指導全体計画		1 学校図書館運営方針	
(3) 生徒指導年間計画		2 学校図書館運営方法	
(4) 生徒指導組織と体制		3 学校図書館・読書指導全体計画	
		4 読書指導年間計画	

<p>VI 現職教育 P 60</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校研究主題 2 学校研究主題設定の理由 3 目指す児童像 4 学校研究の具体的な取組 5 学校研究組織 6 学校研究計画 7 学校研究全体構想図 	<ol style="list-style-type: none"> (9) 災害対応マニュアル <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校および周辺地域の災害想定 2. 避難経路 3. 災害配備体制 4. 教職員在校時 5. 校外活動時 6. 登下校時 7. 教職員在宅時 (10) 児童生徒引き渡しマニュアル
<p>VII 施設設備管理計画 P 63</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 施設設備管理方針 2 施設設備管理方法 3 防火設備配置状況 4 安全点検 5 緊急時の避難経路 6 火元管理責任者一覧 7 非常時の緊急連絡体制 8 危機管理計画 <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校防災計画 <ol style="list-style-type: none"> (1)～(8)防災組織体制・学校及び学校周辺の被害想定と避難場所 2. 基本の防災計画 <ol style="list-style-type: none"> (1) 火災対策 (2) 地震津波洪水対策 (3) 原子力事故対策 	<ol style="list-style-type: none"> (11) 弾道ミサイル発射対応マニュアル (12) 学校への犯罪・テロへの対応マニュアル (13) 熱中症への対応マニュアル (14) 学校における指定感染症発生時の対応 (15) クマ等対策に関わる危機管理マニュアル (16) 危機発生時等における心のケアに関する危機管理マニュアル (17) 災害後の学校再開について <p>VIII 学校予算 P 75</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校予算 2 学校事務目標 3 学校事務方針 4 学校事務年間計画 <p>IX 学校経営組織 P 77</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学年・学級編成 2 学校経営組織図 3 校務分掌一覧 4 校内各種委員会 5 町別児童会
<p>9 危機管理対応マニュアル (別冊) P 74</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) いじめ対応マニュアル (2) 不登校対応マニュアル (3) ネットいじめ対応マニュアル (4) 不審者対応マニュアル (5) 食中毒 (6) 異物混入 (7) 食物アレルギー対応マニュアル (8) 校内事故対応マニュアル 	<p>X 関係諸団体 P 88</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 P T A組織 2 町別 P T A 会員数 3 P T A 会計予算 <p>◆校舎平面図◆ P 91</p>

I 学校概要

1 校歌

田鶴浜小学校校歌

坊城 中子 作詞

青山 幸司 作曲

♩ = 120 (元気よく)

f

は る は さ くーら に にゆう が く む か えー
 や ちよ う さ ま いーく る えん さ の う み にー
 せ か い へ いーわ を みん な が ね が うー

mf

みーん な な かーよく き れ い な こ こ ろー なー
 きーの か た だーよう た て ぐ の ま ち はー こー
 うーちゆう へ とびーたつ い き お い も っ てー ま な

f *mf* *ff*

ぜー か し らー な ん だー ろ うー とー い つ
 うー ぼ う やー かー めー い しー のー お も
 びー あ そ ぼー き ぼ うー を もー てー い き

ff

もー ゆ た か にー と いー か け るー あ
 いー つ た え てー あ かー く ら にー あ
 ようー た だ し くー す こー や か にー あ

ff D.S.

あー た つ る はー ま 小 学 校
 あー た つ る はー ま 小 学 校

ff Coda

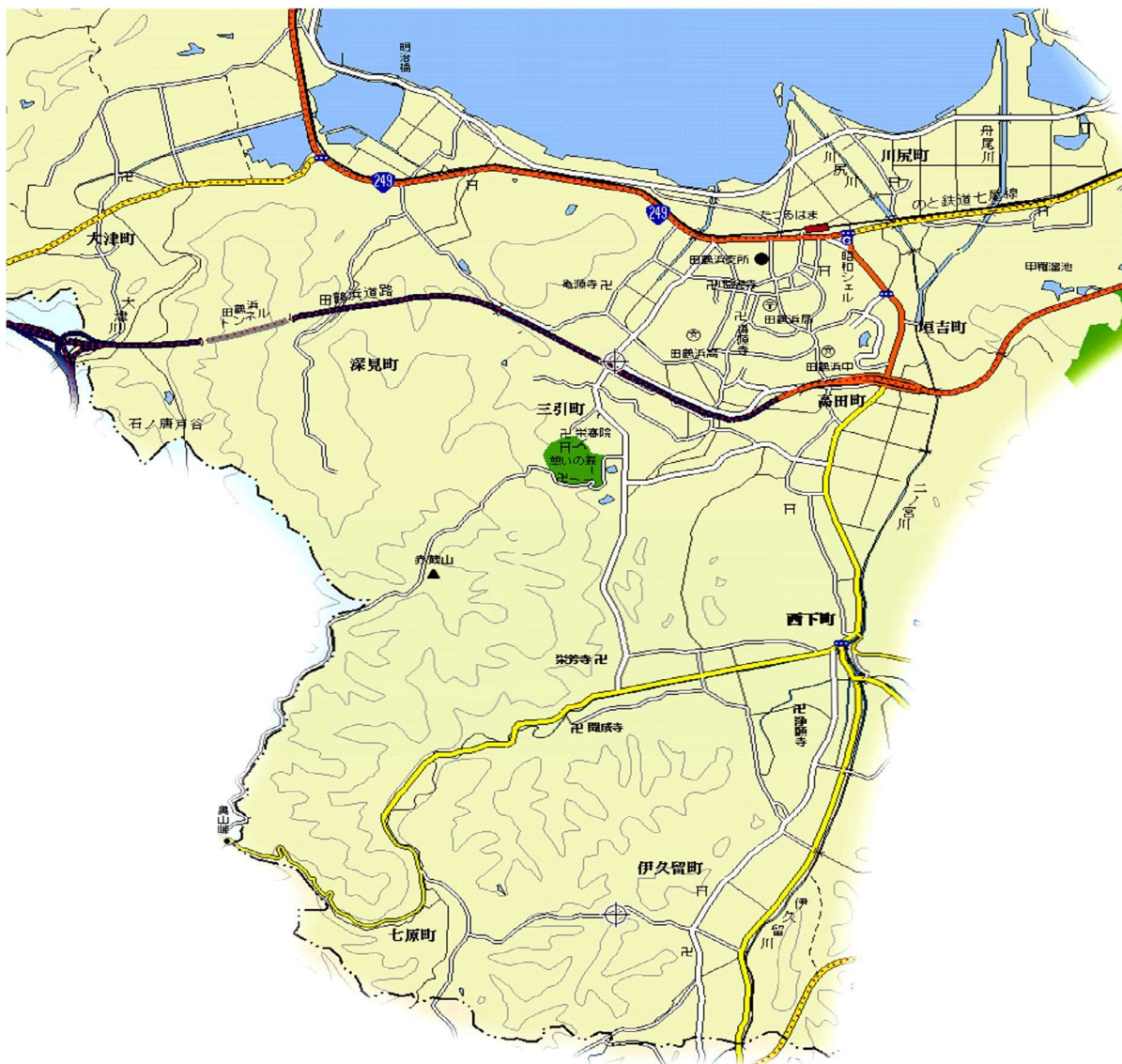
あー た つ る はー ま 小 学 校

2 沿革

平成16年	4月	1日	田鶴浜町立田鶴浜小学校開校 田鶴浜町立学校設置条例の一部を改正する条例 (平成15年6月19日議決第38号原案可決)による
平成16年	4月	5日	田鶴浜町立田鶴浜小学校開校式 校旗樹立 校歌披露
平成16年	6月	15日	プール・更衣室・機械室塗装 浄化槽ろ過材入替完了
平成16年	10月	1日	市町村合併に伴い校名変更、田鶴浜町立田鶴浜小学校から 七尾市立田鶴浜小学校へ
平成16年	10月	8日	外体育倉庫周辺、前庭給食センター側舗装工事完了
平成18年	7月	21日	いしかわキャリア教育研究校に県教委より平成20年度まで指定
平成18年	8月	2日	校内防火シャッター修繕工事完了
平成18年	8月	11日	体育館非常階段修繕塗装完了 ジャングルジム設置工事完了 (回転塔撤去)
平成18年	8月	16日	トランス取替え工事完了
平成18年	11月	22日	石川県視聴覚教育研究大会小学校部会授業公開
平成18年	12月	27日	前庭松石囲い拡張工事完了
平成19年	3月	25日	能登半島沖地震 二宮金次郎倒壊 校舎一部ひび割れ
平成20年	11月	13日	七尾市学校保健研究大会授業公開発表
平成20年	11月	19日	石川県キャリア教育推進事業実践発表 (サンビーム)
平成20年	11月	21日	第21回石川県音楽教育研究大会中能登地区大会研究演奏発表
平成21年	11月	16日	第1回七尾市・中能登町児童環境学習活動発表会 (6年生) 優秀賞
平成22年	1月	31日	第21回MOA 美術館全国児童作品展「文部科学大臣奨励賞 学校奨励 賞受賞 (全国6校)
平成22年	2月	4日	石川県健民運動青少年ボランティア賞 田鶴浜小学校児童会団体賞受賞 (谷本正憲県知事より、県知事室)
平成22年	10月	22日	田鶴浜地方史の会 (上島 進会長) により、2階多目的教室前を ふるさと歴史教室「ふるさと歴史通り」と命名し、開通式挙行
平成23年	2月	4日	第56回青少年読書感想文全国コンクール 優良作品 (全国学校図書館 協議会長賞) 小学校高学年の部 5年 清水 宏記受賞 同全国コンクール 学校賞受賞 (主催者賞・サントリー学校賞)
平成23年	3月	30日	職員女子トイレ改修工事完了 (オストメイト女兒児童入学のため)
平成23年	10月	18日	七尾市学力向上研究授業公開授業研究会
平成23年	10月	31日	体育館及び食堂の耐震化工事完了
平成23年	11月	3日	いしかわっ子駅伝交流大会 男子 優勝 女子 3位
平成24年	11月	3日	いしかわっ子駅伝交流大会 男子 3位 女子 4位
平成25年	3月	1日	第72回全国教育美術展「優秀学校賞」 (公益財団法人教育美術振興会)
平成26年	11月	3日	いしかわっ子駅伝交流大会 男子 6位 女子 優勝
平成27年	11月	3日	いしかわっ子駅伝交流大会 女子 優勝
平成28年	7月	1日	文部科学省七尾市委託「土曜授業推進事業」 (ふるさと歴史教室)
平成28年	11月	3日	いしかわっ子駅伝交流大会 女子優勝 (3連覇)
平成28年	12月	8日	地域学校協働活動「浜っ子・ふるさと歴史教室」文部科学大臣賞受賞
平成29年	11月	3日	いしかわっ子駅伝交流大会 男子 優勝 女子 優勝
平成30年	3月	15日	第18回環境美化教育優秀賞・協会会長賞
平成30年	10月	16日	石川県教育委員会指定「英語教育強化拠点事業」公開授業研究会
令和 元年	10月	4日	石川県教育委員会指定「英語教育強化拠点事業」公開授業研究会

令和 2年 2月 21日	空調設備（エアコン）設置完了
令和 2年 10月 5日	洋式トイレ増設工事完了
令和 2年 10月 15日	学童保育教室増設に伴う教室移動
令和 6年 1月	能登半島地震による臨時休業
令和 7年 2月 19日	令和6年度優れた早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰受賞
令和 7年 3月 21日	令和7年度田鶴浜小学校改築工事（校舎解体）至令和7年11月28日
令和 7年 3月 31日	仮設校舎工事完了
令和 7年 4月 1日	仮設校舎への移転、供用開始（至令和9年3月31日） 石川県教育委員会指定 令和7年度学力向上プログラム推進事業 「令和の日本型学校教育の具現化に向けた実証研究」推進校
令和 7年 9月 26日	石川県教育委員会指定 令和7年度学力向上プログラム推進事業 「令和の日本型学校教育の具現化に向けた実証研究」公開授業研究会
令和 7年 11月 17日	令和7年度田鶴浜小学校改築工事（校舎新築）至令和9年2月19日
令和 7年 12月 15日	令和7年度田鶴浜小学校改築工事（校舎新築）安全祈願祭

3 校区地図



令和8年度 七尾市立田鶴浜小学校学校経営計画

七尾市教育大綱
七尾市学校経営ビジョン
保護者・地域の願い
学校関係者評価委員会
本校学力調査分析結果

【学校教育目標】

自らの人生を切り拓く生きる力の育成
生き生き、はまっ子
考動する子 協働する子 探究する子
フェーズ2

日本国憲法
教育基本法等関係法規
石川の教育振興基本計画(第4期)
県基礎学力調査
全国学力・学習状況調査

【育成をめざす資質・能力】 情報活用能力

【めざす学校像】 子どもが行きたい、保護者が行かせたい、教職員が働きたい、地域が応援したい学校

【めざす児童像】 ～自分が好き、友達が好き、学校が好き、田鶴浜が好き～

学び続ける教師

- (1) 向上心と探求心を持ち、常に学び続け、専門性の向上に努める教師
- (2) 子供の成長に喜びを感じ、積極的な生徒指導ができる教師

【めざす教師像】

- (3) 教育公務員として自覚ある言動を行い、保護者・地域から信頼される教師
- (4) 常に高い危機管理意識をもつ教師
- (5) 校務に積極的に参画し、取組の徹底と継続を行う教師

確かな学力なぜ学ぶのか

【学力向上の推進】

- ①学習者主体の授業づくり
 - 考動タイムの見取りを生かした個別最適なアシスト(学び方、教科のねらいに対するアシスト)
- ②PDCA サイクルを生かした研修体制の充実
 - 資質・能力育成プラン、学力向上ロードマップに基づいた適切な計画・実行・見直し・改善
 - 「生きはまタイム」による対話的な校内研修を通し、授業の質の組織的向上

豊かな心健やかな身体

【安全・安心な学校】

- ①生徒指導の4視点を踏まえた積極的な取組
 - 4視点を踏まえた授業づくり
 - 全ての児童が活躍できる場の設定、自己肯定感や自己有用感につながる働きかけ
- ②いじめ・不登校の未然防止と早期発見・早期対応の徹底
 - いじめの未然防止と積極的な認知
 - 教育相談の充実と専門機関との連携
- ③震災後の心のケア
 - 心のケアについての理解と組織的対応
 - 端末を活用した「心の健康観察」実施

社会に開かれた学校づくり

【家庭・地域からの信頼】

- ①正確な情報収集と積極的な情報発信
 - 学校だより、HP の活用
- ②地域人材との交流・積極的活用
 - 七尾の学び、身近な地域の探究的な学びの実施
- ③家庭と連携した学習習慣の確立
 - 家庭学習の充実
 - 家庭でのメディア機器の使用への理解と協力

チーム田鶴浜小

【学校組織力の向上】

- ①教育公務員としての自覚と責任を持ち、率先垂範に心がけ、範となるふるまいを示す。
- ②学校全体で取組の共通理解をし、実践の徹底と継続を行い、組織的な学校運営を図る。
- ③各委員会・部会等を計画的に開催し、校風の継承改善を図り、組織を活性化させる。
- ④危機管理意識を持ち、迅速な報告・連絡・相談を行い、解決に向けた組織的対応を行う。
- ⑤教職員それぞれが持つ強みを発揮し、組織の一員としての参画意識を高める。
- ⑥日常的な OJT やメンターの意識を持ち、互いに学び、高め合い、キャリアステージに応じた指導力をつける。
- ⑦校務の DX 化や効率化を工夫し、業務改善を行い、働き方改革を推進する。

☆具現化のために→ 1 徹底する 2 可視化する(情報の共有) 3 常に検証・改善する

☆1学期:体制の確立 2学期:内容の充実 3学期:結果を出す

【学校評価計画】

【方策】

【検証】(数値目標等)

【安全・安心な学校】 豊かな心・健やかな身体		
生徒指導の4視点を踏まえた積極的な取組	○生徒指導4視点と関連付けた学級経営、学習指導	○「学校に行くのが楽しい」 (児ア A70%) ○「自分のよいところ」 (児ア A60%)
いじめ・不登校の未然防止と早期発見・早期対応の徹底 震災後の心のケア	○児童理解の会・いじめアンケート・児童アンケートの定期的実施を生かした未然防止と早期発見・早期対応 ○心のケアについての理解と組織的対応	○いじめの解消 (100%) ○いじめを許さない学級づくり (教ア AB100%) ○不登校 (0人)
先あいさつの習慣化	○先あいさつ挨拶運動	○「進んで先あいさつ」 (児ア A75%) ○「進んで挨拶」 (保ア AB90%)
特別支援教育の充実	○課題を抱える児童に対し、全教職員での共通理解、チームでの対応 ○一人一人のニーズに応じた支援	○児童理解の確実な実施 (月1回) ○課題を抱える児童への配慮 (教ア AB100%)
教育環境の整備	○危機管理実施及び訓練(新型コロナウイルス感染症・食物アレルギー・災害時等の徹底) ○「後片付け」の意識化	○複数による安全点検の計画的実施 (各学期1回) ○「下足箱ズック揃え」 (児ア A75%)
【学力向上の推進】 確かな学力 なぜ学ぶのか		
学習者主体の授業づくり	○考動タイムの見取りを生かした個別最適なアシスト(学び方、教科のねらいに対するアシスト)	○「授業が分かる」 (児ア A85%) ○「学習者主体の授業づくり」 (教ア AB100%) ○単元テスト平均正答率 (85%以上)
ICTを効果的に取り入れた授業の工夫 ICT 指導力の向上(GIGA 校内研修)	○1人1台端末の日常的活用 ○ICT 機器の利活用	○「パソコンを使った学習は楽しい」 (児ア A85%) ○ICT を活用した授業づくりの工夫 (教ア AB90%)
PDCA サイクルを生かした研修体制の充実	○資質・能力育成プラン、学力向上ロードマップに基づいた計画・実行・検証・改善 ○生きたまタイムによる対話的な校内研修を通じた共通実践 ○研究授業・指導主事訪問の活用	○「各チームは役割を自覚し、実践しているか」 (教ア AB100%) ○研究授業 (一人1回以上)
【家庭・地域からの信頼】 社会に開かれた学校づくり		
積極的な情報発信	○学校情報の発信	○学校だより (年18回以上発行) ○HP 更新回数 (100回以上)
地域人材との交流・積極的活用ふるさとSDGs 教育の推進	○ゲストティーチャーの積極的な活用 ○ふるさと七尾の学びの実施 ○SDGs の視点を取り入れた、身近な地域の探究的な学びの実施	○ゲストティーチャー(年間6回以上活用) ○七尾の学びの計画実施 (100%) ○身近な地域の学びの計画実施 (100%)
家庭と連携した学習習慣の確立	○家庭学習の目標の見直し・徹底 ○読書のすすめ(朝自習・隙間・家読等)	○家庭学習(土日以外) (児ア AB95%) ○「学校や家で読書」 (児ア AB60%)
【学校組織力の向上】 チーム田鶴浜小！		
一人一人の役割の明確化・自覚化	○校務分掌の見直し・改善	○各自の具体的方策と数値目標の設定・定期的振り返り (面談)
リーダーを中心としたチームの機能化・活性化	○主任(リーダー)を中心とした運営の効率化、課題意識・目的の浸透	○「部会で主任を中心に共通理解を図り、共通実践している」 (教ア AB100%)
日常的 OJT・年間研修計画による若手教員の育成	○若手教員早期育成プログラムの確実な実施	○「若プロは若手の授業改善等に効果的である」 (教ア AB100%)
働き方改革・多忙化改善	○授業や校務の積極的な DX 化 ○汎用的なクラウドの活用	○「ICT を活用して、教材・校務文書の共有化、ペーパーレス化を図っている」 (教ア AB100%) ○教職員間の情報共有や連絡にクラウドを取り入れている (教ア AB100%)

2 校内若手教員研修計画書

(0) 【今年度の田鶴浜小学校若プロの目標】

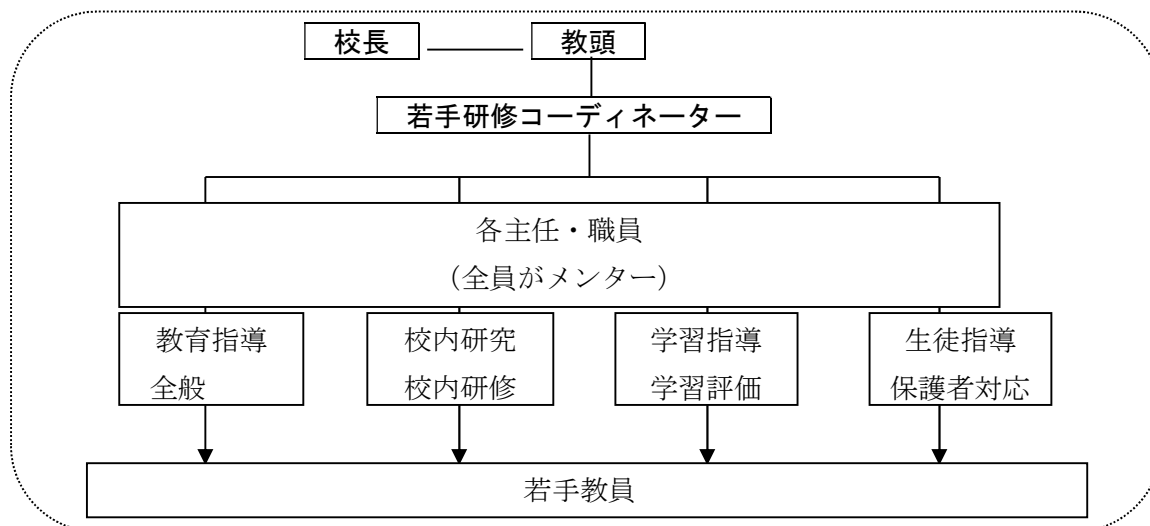
教員同士の対話の中から学ぶスタイル

若手教員の提案力を養成する。

(1) 若手教員数

期	I 期	II 期	III 期	臨任講師等	合計
人数	1 (古谷)	1 (前山)	1 (山科)	1 (奥田)	4

(2) 校内組織体制の整備



(3) 日常的OJTの取組

- ・学年や低・高・特ブロック、全体でのOJT体制を確立する。(日常的な相談・指導体制)
- ・相互授業参観を実施する。(若手⇄職員) (若手⇄若手)
- ・終礼等を活用した意見交換の場を設定する。(課題・問題意識の共有)

(4) 定期的研修の取組

時期	取組及びテーマ	対象	教職に必要な素養	学習指導	生徒指導	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	ICTや情報・教育データの活用
4月	若手教員早期育成プログラムの共通理解	I II III	○				
	学級経営 (4月最初の土台づくり)	I II III		○	○	○	
	授業スタイル・学習規律の徹底 (授業スタイル)	I II III	○	○	○	○	○
5月	行事を通して子どもを育てる方策について	I II III		○	○	○	○
	対話的な課題解決 (授業スタイル)	I II III		○	○		
6月	ICTの効果的な利用・プログラミング教育について	I II III	○	○	○	○	○
	評価の仕方 (評価方法と通知表)	I II III		○	○	○	
7月	保護者との信頼関係づくり (通知表渡し・懇談会)	I II III	○		○	○	
	若手教員のニーズに合わせて①	I II III	○	○	○	○	○
8月	学校評価 (1学期の成果と課題)	I II III	○	○	○	○	
	若手教員のニーズに合わせて②	I II III	○	○	○	○	○

	学級経営（前期の成果と課題、2学期に向けて）	I II III	○ ○	○ ○		
	不登校・いじめの未然防止	I II III		○ ○		
9月	道徳教育について	I II III	○ ○	○		
	若手教員のニーズに合わせて③	I II III	○ ○	○ ○	○	
10月	外国語活動・外国語について	I II III	○ ○			
	若手教員のニーズに合わせて④	I II III	○ ○	○ ○	○	
11月	支援を必要な児童への対応（特別支援教育）	I II III	○ ○	○ ○		
	若手教員のニーズに合わせて⑤	I II III	○ ○	○ ○	○ ○	
12月	感染症の予防と対処について	I II III	○	○ ○		
	学校評価（2学期の成果と課題）	I II III	○ ○	○ ○		
1月	特別支援学級との連携	I II III		○ ○	○ ○	
	ワークライフバランスを考えた事務処理	I II III	○			○
2月	指導要録の記載のあり方	I II III	○ ○	○ ○		
	行事を通じた児童育成・学級づくり （6年生を送る会・卒業式）	I II III	○	○ ○		
3月	PDC Aサイクルによる学校運営 （校務のまとめ・ふり返り）	I II III	○ ○	○ ○	○ ○	
	1年間のふり返りと次年度に向けて	I II III	○ ○	○ ○	○ ○	

（5）実施の工夫

位置づけ

- ・学校研究、学力向上ロードマップを教員相互の授業力向上と位置づけ、共通実践する中で、若手教員の育成を図る。

方法及び体制

- ・メンターの得意分野を把握し、計画的な研修体制を築く。（OJTも含め）
- ・若手や他の職員に負担がかからないよう、時間管理・仕事管理を相互に行い、合理的な研修体制を築く。
- ・メンターは基本若手教員が行う。（教員同士のつながり、若手教員のプレゼン力向上を目的とする。）
- ・ベテラン教員による研修を行う。（例：外国語教育の指導方法など）
- ・若手教員だけのグループを作る。（日常的な相談・情報交換・研修の成果と課題）
- ・終礼時に研修報告（出張など出られた時の内容報告）※無理のない研修を行う。
- ・「生きはまタイム」と共催する。
- ・若手育成研修会を設定する。（夏休みにNITSが公開している講座（4本）を視聴する。）

ニーズの把握

- ・アンケートや面談から、若手の現状とニーズをつかむ。
- ・研修内容は若手が「知りたい」「してほしい」ものを行う。

支援体制

- ・日頃の疑問、悩みを相談し、解決に努めることができるような雰囲気作りと声かけを、中堅ベテラン教員が行う。
- ・学校全体で若手を育てる雰囲気作りを大切にする。

参画

- ・運営委員会や他の校務分掌へ参加させ、視野を広める。（負担にならない程度の参加）

その他

- ・七尾市5G（5Year Growth Plan）計画との連携

令和8年度 GIGA校内研修 年間計画

七尾市立田鶴浜小学校

GIGA校内研修推進リーダー(前山 遼)

令和7年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・どの教員も積極的にICTを活用した授業を行うことができた。 ・クラウド上に授業の振り返りを保存してあることで効率よく復習したり、本時の課題を立てるために活用したりすることができた。 ・学年に応じてオンラインとオフラインの組み合わせや、学習のまとめを行ったり、インターネットを活用して資料集めや調べ学習に取り組むことができた。 ・Canvaで「プレゼン」の作成や、Formsで「アンケート集計」に活用することができた。 ・TeamsやClassroomを連絡帳の代わりとして活用することで、翌日の連絡時間を削減できた。 ・アナログとICTの使い分けを意識しながら授業づくりを行うことができた。 ・情報モラル学習サイトを活用し、定期的に指導の機会を設定することで児童は適切にICTを活用しようとしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年によってタイピング技能の二極化が見られた。 ・Googleアプリを使っている「文書作成」「プレゼン」「表計算」「アンケート機能」を活かす経験を増やす必要がある。 ・教員間でICT使用方法が異なったり、学校全体で使用方法の基準が曖昧な部分が見られたりしたので、定期的に共通理解する必要がある。

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング検定の実施(マナビジョン等) ・Googleアプリを使っている「文書作成」「プレゼン」「表計算」「アンケート機能」の項目を活かすICT活用場面の設定 ・日常の授業でのICTの効果的な活用場面の教師間共有・交流(生きはまタイム) ・ICT系統表の活用 ・情報モラル、情報セキュリティの指導方法の共通理解 ・学習ソフトやAIの効果的な使い方についての研修



目標「令和8年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング技能を向上させ、学習に生かすことができる。 ・クラウド上に授業の課題や振り返りのシートを保存しておき、児童がいつでも、どこにいても授業の学びを見て振り返ることができる。 ・児童がICTを活用しながら情報を収集し、整理・分析、まとめ・表現をしながら、学習の成果や過程を振り返り、改善することができる。 ・本校ICT系統表を活用して、学年に応じたICTの技能を確実に身に付けることができる。 ・正しい情報モラルを身に付け、安全に適切にICTを活用することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	GIGA年間計画(目指す児童の姿共通理解)【全体】 端末の基本操作・授業支援ソフトの基本操作 振り返りシート(Excel)の作成、授業での活用の仕方を共有 校務改善におけるICT活用	推進リーダー 教務	第1回GIGA校内研修推進 リーダー研修 ※ライブ配信
5月	要請訪問指導案検討(情報活用・ICT活用の視点)【前山】 情報モラルの指導について 計画訪問指導案、模擬授業(情報活用・ICT活用の視点)【全体】	研究 生徒指導 推進リーダー	
6月	要請訪問(情報活用のカリ・マネ)【全体】 振り返りを共有し、今後の実践に生かす(生きはまタイム)【全体】	教務・研究 研究 推進リーダー	
7月	研究会発表会公開授業単元デザイン ICT利用アンケート(教職員・児童) 振り返りを共有し、今後の実践に生かす(生きはまタイム)【全体】	研究 推進リーダー	
中間 目標	・1年生は1日1回以上端末を使用する割合を50%以上、2年生は1日2回以上端末を使用する割合を70%以上、3～6年生は1日4回以上自主的に使用する割合を70%以上を目指す。 ・家に持ち帰っての調べ学習や課題に端末を活用する。(1～2年生は週に1回以上、3～6年生は週に2回以上) ・「カメラ」「ホワイトボード」「検索サイトの利用」「文書作成」「プレゼン」「表計算」「アンケート機能」のうち、低学年は2つ以上、中学年は3つ以上、高学年は4つ以上取った経験がある。 ・学年に応じたタイピングの能力を身に付けている。		
8月	研究会発表会公開授業単元デザイン【全体】 研究会発表会公開授業指導案検討【全体】 1学期の活用事例まとめ、振り返り【全体】	研究 推進リーダー 教務	第2回GIGA校内研修推進 リーダー研修
9月	研究会発表会公開授業指導案作成、模擬授業【全体】 振り返りを共有し、今後の実践に生かす(生きはまタイム)【全体】	研究 推進リーダー	
10月	「令和の日本型教育の具現化に向けた実証研究」研究発表会【全体】 振り返りを共有し、今後の実践に生かす(生きはまタイム)【全体】	研究 推進リーダー	
11月	振り返りを共有し、今後の実践に生かす(生きはまタイム)【全体】	研究 推進リーダー	
12月	ICT利用アンケート(教職員・児童) 2学期のICT活用事例まとめ、振り返り【全体】	推進リーダー	第3回GIGA校内研修推進 リーダー研修
中間 目標	・1年生は1日1回以上端末を使用する割合を70%以上、2年生は1日2回以上端末を使用する割合を90%以上、3～6年生は1日4回以上自主的に使用する割合を90%以上を目指す。 ・家に持ち帰っての調べ学習や課題に端末を活用する。(1～2年生は週に2回以上、3～6年生は週に3、4回以上) ・タイピング検定1・2年生25級、3年生17級以上、4年生13級以上、5年生10級以上、6年生7級以上		
1月	振り返りを共有し、今後の実践に生かす(生きはまタイム)【全体】	推進リーダー	
2月	振り返りを共有し、今後の実践に生かす(生きはまタイム)【全体】	研究 推進リーダー	
3月	実践報告(校内研修会)【全体】	推進リーダー	

Ⅲ 教育計画

1 教育課程

(1) 学年別教科等配当時数

令和8年度「配当時数」

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
国語	306	315	245	245	175	175	1461
社会			70	90	100	105	365
算数	136	175	175	175	175	175	1011
理科			90	105	105	105	405
生活	102	105					207
音楽	68	70	60	60	50	50	358
図工	68	70	60	60	50	50	358
家庭					60	55	115
体育	102	105	105	105	90	90	597
外国語					70	70	140
特別の教科道徳	34	35	35	35	35	35	209
学活	34	35	35	35	35	35	209
総合			70	70	70	70	280
外国語活動			35	35			70
総授業時数	850	910	980	1015	1015	1015	5785

令和8年度時間割

※書写は国語の時数に含めていない

※4月～

	国語	書写	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	外活	外語	学活	学活	小計	委	ク	交換授業	合計	担当教科(担当者名)
1年1組時間割	8	1	4	4	3	3	2	2	3	3	1	1	1	1	1	25	25				25	山科
担任持ち時数	8	教頭	4	4	3	3	西田	2	3	3	1	1	1	1	22	0.25	22.50				22.50	
2年1組時間割	8	1	5	5	3	3	2	2	3	3	1	1	1	1	1	26	26				26	岡本
担任持ち時数	8	1	5	5	3	3	教頭	2	3	前山	1	1	1	1	19	0.25	19.25				19.25	林3(前山)
3年1組時間割	6	1	2	5	3	3	1.5	1.5	3	3	1	2	1	1	1	28	28				28.00	大岡
担任持ち時数	6	1	2	5	3	3	教頭	1.5	3	3	1	2	高木	1	1	21	0.25	21.50			21.50	理3(西藤) 外活1(高木) 理1.5(教頭) 図1.5(教頭)
4年1組時間割	6	1	3	5	3	3	1.5	1.5	3	3	1	2	1	1	1	29	29				29.25	古谷
担任持ち時数	6	1	3	5	3	3	1.5	1.5	3	前山	1	2	高木	1	1	22	0.25	22.50			22.50	理3(西藤) 外活1(高木) 理1.5(西田) 家1.5(西藤) 外2(高木) 書1(西藤)
5年1組時間割	4	1	3	5	3	3	1.5	1.5	1.5	2.5	1	2	2	2	1	29	0.25	29.5	2体	4体	29.5	前山
担任持ち時数	4	齋藤	3	5	3	3	西田	齋藤	西田	2.5	1	2	高木	1	13.5	0.25	2.5	3	3	3	22.50	理3(西藤) 外活1(高木) 理1.5(西田) 家1.5(西藤) 外2(高木) 書1(西藤)
6年1組時間割	4	1	3	5	3	3	1.5	1.5	1.5	2.5	1	2	2	2	1	29	0.25	29.5	5音	5家	29.5	西田
担任持ち時数	4	1	3	5	3	3	齋藤	齋藤	1.5	前山	1	2	高木	1	15	0.25	1.5	1.5	2	2	20.50	理3(西藤) 外活1(高木) 理1.5(西田) 家1.5(西藤) 外2(高木) 書1(西藤) 図1.5(西藤)

	国語	書写	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	外活	外語	学活	学活	小計	委	ク	自立	合計	担当教科(担当者名)
教頭	0	1	0	0	0	0	3.5	3.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	林
英語専科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	6	高木
級外(齋藤)	0	1	0	10	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	齋藤
級外(西藤)	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	西藤
通級指導教室(藤本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12	藤本

	国語	書写	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	外語	学活	学活	学活	小計	委	ク	合計	担当教科(担当者名)	
情緒2年わかば	7	1	5	5	3	3	2	2	3	3	1	1	1	1	1	26	0.5	26.50			26.50	
担任持ち時数(奥田)	7	1	5	5	3	3	交流	交流	交流	交流	1	1	1	1	16	0.5	16.50				16.50	出し入れなし
知的5年なかよし	4	1	2	5	3	3	1.5	1.5	1.5	2.5	1	2	2	1	1	29	0.5	29.50			29.50	出し入れなし
担任持ち時数(奥田)	4	1	2	5	3	3	交流	交流	交流	交流	1	交流	交流	1	15	0.5	15.00				15.00	出し入れなし
知的6年なかよし	4	1	2	5	3	3	1.5	1.5	1.5	2.5	1	2	2	1	1	29	0.5	29.50			29.50	出し入れなし
担任持ち時数(奥田)	4	1	2	5	3	3	交流	交流	交流	交流	1	交流	交流	1	15	0.5	15.50				15.50	出し入れなし



令和8年度 日課表 田鶴浜小学校

朝の会	8 : 00 ~ 8 : 10			
朝読書朝学習	8 : 10 ~ 8 : 25			
月	火	水	木	金
基礎 (国語)	基礎 (算数)	読書 読み聞かせ	活用	活用
1 限	8 : 25 ~		9 : 10	
2 限	9 : 20 ~ 10 : 05			
長休み	10 : 05 ~ 10 : 25			
3 限	10 : 25 ~ 11 : 10			
4 限	11 : 20 ~ 12 : 05			
給食	12 : 05 ~ 12 : 45			
昼休み	12 : 45 ~		1 : 15	
れんらくタイム	1 : 15 ~		1 : 25	
清掃	1 : 25 ~		1 : 35	
5 限	1 : 40 ~		2 : 25	
6 限	2 : 35 ~		3 : 20	
帰りの会	3 : 20 ~		3 : 30	
下校時刻	3 : 40			

＜スクールバス・下校時刻＞	
月曜日	2 : 45 / 3 : 40
火曜日	2 : 45 / 3 : 40
水曜日	2 : 35 / 3 : 25
木曜日	2 : 45 / 3 : 40
金曜日	2 : 35 / 3 : 25

＜水・金曜日掃除なし日課＞	
れんらくタイム 帰りの会	1 : 15 ~ 1 : 30
5 限	1 : 35 ~ 2 : 20
6 限 ク・委	2 : 30 ~ 3 : 15
下校バス	2 : 35 / 3 : 25

(掃除なし日課の日は、適宜簡易清掃を行う)

＜教職員の勤務時間及び休憩時間＞					
	県費負担教職員	校務員	図書館司書 特別支援教育支援員	ALT	配膳員 スクールサポート スタッフ
勤務時間	8:00 ~ 16:30	7:10~15:55	8:00 ~ 16:00	8:10 ~ 16:10	11:00~14:30 8:00~15:00
休憩時間	12:25~ 13:10	12:10~13:10	12:10 ~ 13:10	12:10 ~ 13:10	— 12:10~13:10
長期休業中 休憩時間	12:00~ 12:45	12:00~13:00	図書館司書 12:00~13:00	12:00 ~ 13:00	— —

A週 R8時間割

1年1組	2年1組	3年1組	4年1組	5年1組	6年1組	研修・特別支援・補欠等	体育館	音楽室	理科室	家庭室	図工室	英語教室	級外			支援員			
													教頭	外専	級外				
月曜日	山科 生活	岡本 生活	大岡 生活	古谷 生活	前山 生活	西田 生活	教頭						藤本	林	高木	西脇	宮本	横川	
2	生活	生活	生活	生活	生活	社会	前山・教頭						4Y					1年YR	1年
3	体育	音楽・教頭	国語	社会	社会	国語	岡本・西田	2			6		3I	2音				1年YR	1年
4	国語	生活	社会	体育	音楽	西田	古谷・教頭	4			6		1AR					1年YR	1年
5	算数	算数	学活	国語	国語	算数	西田・教頭						中島					1年YR	1年
6	国語	算数	道徳	体育	体育	音楽	山科・岡本 大岡・教頭	5					中島					下校	5年
火曜日	国語	国語	国語	総合	総合	外国語	西田・教頭				6		1I					1年YR	1年
2	算数	算数	算数	総合	総合	算数	山科・古谷 教頭	1			4		3Y					1年YR	1年
3	国語	体育	理科	社会	社会	道徳	岡本・大岡 教頭	2			5		1Y					1年YR	1年
4	道徳	書写	体育	音楽	理科	西脇	前山・西田 教頭	3										1年YR	1年
5	算数	音楽・教頭	社会	体育	理科	西脇	岡本・古谷 教頭	4					60	2音				1年YR	1年
6	算数	道徳	国語	算数	体育	前山	西田 山科・教頭	6										1年YR	1年
水曜日	算数	生活	音楽・教頭	算数	学活	社会	大岡	3										1年YR	1年
2	国語	生活	国語	国語	算数	家庭	大岡・前山 教頭		6		3							1年YR	1年
3	体育	国語	算数	理科	国語	音楽	古谷・教頭	1	6	4								1年YR	1年
4	書写	体育	算数	理科	国語	国語	山科・岡本 古谷 教頭	2			5							1年YR	1年
5	国語	算数	書写	社会	理科	西脇	前山・西田 教頭			5								1年YR	1年
6	国語	算数	ク	ク	ク	ク	岡本・教頭											下校	下校
木曜日	国語	国語	体育	国語	道徳	国語	教頭	3										1年YR	1年
2	音楽	生活	外活	書写	体育	算数	山科・大岡 教頭	5				3						1年YR	5年
3	生活	理科	理科	総合	外国語	書写	岡本・大岡 教頭	6	1	3	2	5						1年YR	1年
4	体育	国語	理科	総合	外国語	国語	岡本・大岡 西田 教頭	1	3		2	6						1年YR	1年
5	国語	算数	算数	体育	算数	総合	古谷・教頭	4										1年YR	1年
6	国語	国語	国語	算数	社会	総合	山科・岡本 教頭											下校	下校
金曜日	算数	国語	国語	音楽	音楽	体育	教頭	6	4									1年YR	1年
2	算数	算数	体育	国語	国語	算数	前山・教頭	3			5							1年YR	1年
3	図工	体育	音楽	国語	理科	理科	岡本・西田 大岡 教頭	2	3	6	1							1年YR	1年
4	図工	国語	算数	算数	書写	書写	前山 西田・教頭											1年YR	1年
5	学活	学活	総合	理科	社会	社会	古谷・教頭	5		4								1年YR	5年
6	学活	学活	総合	学活	学活	学活	山科・岡本 教頭											下校	下校

☆交流 ☆担任が交流引率指導

2 学習指導計画

(1) 各教科等の指導方針と重点(別冊)

① 国語科 ～ ② 総合学習

教科等指導の重点(別冊)

① 国語科 ～ ② 総合学習

(2) 各教科・領域年間指導計画(別冊)

(3) 全体計画

①道徳教育全体計画

日本国憲法 教育基本法
学校教育法 七尾市教育大綱
第4期石川の教育振興基本計画

学習指導要領（道徳）
・人間尊重の精神
・生命に対する畏敬の念
・自らの生き方を育む

生徒指導

一人一人の良さを見つめ、伸ばす指導を通して、自己実現の能力を育てる。
・月の生活目標との関連
・基本的な生活習慣の徹底
・学習ルールの確立
・助け合い・協力の指導
・相互尊重と思いやりの指導
・いじめ防止指導の充実

その他の教育活動

・保健指導 ・清掃指導
・給食指導 ・安全指導
・図書指導

特色ある教育活動

児童会活動や縦割り班活動において、協力、思いやりの心、ボランティア精神を育てる。
・よろしく集会
・運動会
・たてわりふれあい集会
・なわとび集会

環境整備

道徳教育を効果的に進めることのできる環境づくりに努める。
・言語環境の整備
・清潔な校舎内外
・施設設備の安全確保
・信頼に支えられた人的環境
・機能的な配置・展示
・情報提供の工夫

家庭・地域との連携

・PTA や地域諸団体との連携を密にし、家庭および地域社会の道徳意識の高揚を図り、児童の人間形成に資する。
・学校・学年・学級通信、道徳だよりなどで、思いやりの心の定着に向け、地域・家庭への広報・啓発活動を行い、協力を求める。
・地域学習や地域人材の活用を促進する。
・保小中高連携を進め、児童理解を深める。

キャリア教育

・キャリアパスポートの実施

学校の教育目標 めざす児童像

自らの人生を切り拓く生きる力の育成
生き生き、はまっ子
考動する子 協働する子 探究する子
～自分が好き、友達が好き、学校が好き、田鶴浜が好き～
フェーズ2

<道徳教育の重点目標>

- 自分の可能性を信じ、高い志を持って困難に直面しても粘り強く「考動」し続ける態度を養う。
- 互いの個性を尊重し、「ふわふわ言葉」を介した対話を通じて共に高め合える人間関係を築く態度を養う
- 集団や社会の一員としての自覚を持ち、自分たちの手でよりよい環境や「みんなの幸せ」を創造しようとする主体的な態度を養う

<道徳教育の方針>

- ・実生活の場に具体的に結びつけ、心を育てる。
- ・道徳の時間の授業を充実し、地域や保護者に公開しながら、家庭や地域の道徳教育への理解と関心を高める。
- ・日常活動や全教育活動の中で道徳教育を用い、意識を高める。

<道徳教育の推進体制>

- ・道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図り、校長や教頭の参加、全教職員の共同体制で、道徳教育を進める。

全校重点内容項目

●A 希望と勇気、努力と強い意志

各学年重点項目・内容

低学年

- A 希望と勇気、努力と強い意志－（５）
自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。
- B 友情、信頼－（１０）友達と仲よくし、助け合うこと。

中学年

- A 希望と勇気、努力と強い意志－（５）
自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。
- B 友情、信頼－（１０）友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと

高学年

- A 希望と勇気、努力と強い意志－（５）
より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があっても、くじけずに努力して物事をやり抜くこと。
- C よりよい学校生活、集団生活の充実－（１６）
先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。

<道徳の時間の指導方針>

- ・自分との関わりで道徳的価値を考える授業づくり、多面的、多角的に考える授業づくりをする。
- ・課題意識をもたせ、問題解決的な学習を取り入れる。
- ・各教科、領域、総合的な学習の時間、行事等との関連を図る。
- ・ティームティーチングやゲストティーチャーなどの協力的な指導形態を活用する。
- ・考え議論する道徳を行い、道徳的価値の自覚を深めさせる。
- ・道徳教育推進教師を中心とした指導体制を充実させる。
- ・児童の実態に合った資料（「ふるさとをはぐくむどうとくいしかわ」等）を活用する。

<学年・学級経営>

- ・重点項目を意識した学年学級目標の設定
- ・確かな児童理解 ・豊かな人間関係 ・支え合いと協力

<児童の実態>
素直で明るく協調性のある児童が多い
<地域の実態>
教育に対する関心が高く、連携して取り組む土壌がある。
<保護者や教師の願い>
・感謝する心、素直な心、我慢する心、楽しむ心、思いやりの心をもってほしい。
・目的意識をもって行動してほしい

各教科等における道徳教育

国語	言語感覚を養い、学び合いを通して豊かな表現力を培い、他人を思いやる心情を育てる。
社会	民主的な社会の一員としてのものの見方や考え方を培い、国民としての自覚をもち、国際社会に貢献しようとする態度を養う。
算数	論理的なものの考え方を通して、物事に対して合理的に追究していく態度を育てる。
理科	自然のあり方について調べることを通して、自然の不思議さに気づき、自然に親しもうとする態度を養う。
生活	具体的な活動や体験を通して、身近な社会や自然に気づき、必要な技能や習慣を身につけさせ、自立への基礎を養う。
音楽	音楽の美しさ、楽しさを感じ取る心を養い、豊かな情操を培う。
図工	造形表現や鑑賞を通して、豊かな情操を培う。
家庭	家庭生活についての理解を深め、家族の一員としてよりよい生活を築こうとする心情を育てる。
体育	健康安全について理解し、運動を楽しむとともに体力の向上を図り、お互いに励まし助け合う態度を養う。

総合	地域や生活に根ざした学習を通して、自分や友達、地域を愛することができる子を育てる。
外国語外国語活動	積極的なコミュニケーション能力、言語と文化を尊重しようとする心情を育てる。
特別活動	児童会活動・学校行事・学級指導を軸にして、集団の一員としての自覚を深め、協力して生活の向上を目指そうとする自主的実践的態度を育てる。

② 令和8年度特別活動全体計画

学校教育目標	
【学校の教育目標】自らの人生を切り拓く生きる力の育成 生き生き、はまっ子 考動する子 協働する子 探究する子 フェーズ2	
【めざす学校像】 子供が行きたい、保護者が行かせたい、教職員が働きたい、地域が応援したい学校	
【めざす児童像】 自分が好き、友達が好き、学校が好き、田鶴浜が好き	
【めざす教師像】・向上心と探求心を持ち、常に学び続け、専門性の向上に努める教師 ・子供の成長に喜びを感じ、積極的な生徒指導ができる教師 ・教育公務員として自覚ある言動を行い、保護者・地域から信頼される教師 ・常に高い危機管理意識をもつ教師 ・校務に積極的に参画し、取組の徹底と継続を行う教師	

特別活動の目標		各教科等との関連	
集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		・各教科等との関連 ・各教科等での言語活動の充実 ・道徳的実践の指導の充実、道徳性の育成にかかわる体験を積極的に取り入れ、活動そのものを充実させる ・総合的学習の時間では「働くことと生きること」との有機的な関連をはかる ・教育課程外との関連 ・朝読書・朝の会・帰りの会 ・当番活動（日直等） ・清掃指導・給食指導 ・PTCA 行事・教育相談	

特別活動の重点目標と目標を達成するために全校で取り組むこと<キャリアパスポートの実践>	
・集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにするとともに、自己有用感・協働意識を高める。	
○学級目標を具現化する話し合い活動の充実 ○自主的・実践的な活動の場づくり ○互いに認め合う場の充実	

学級活動	目標	学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。																										
	指導計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>*1</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> <th>第4学年</th> <th>第5学年</th> <th>第6学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td></td> <td>13時間</td> <td>14時間</td> <td>14時間</td> <td>16時間</td> <td>18時間</td> <td>19時間</td> </tr> <tr> <td>(2,3)</td> <td></td> <td>21時間</td> <td>21時間</td> <td>21時間</td> <td>19時間</td> <td>17時間</td> <td>16時間</td> </tr> </tbody> </table>		*1	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	(1)		13時間	14時間	14時間	16時間	18時間	19時間	(2,3)		21時間	21時間	21時間	19時間	17時間	16時間	話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解すること。基本的な生活習慣や、約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、生活をよくするための目標を決めて実行すること。	理由を明確にして考えを伝えたり、自分と異なる意見も受け入れたりしながら、集団としての目標や活動内容について合意形成を図り、実践すること。自分のよさや役割を自覚し、よく考えて行動するなど節度ある生活を送ること。
	*1	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年																					
(1)		13時間	14時間	14時間	16時間	18時間	19時間																					
(2,3)		21時間	21時間	21時間	19時間	17時間	16時間																					

*1 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

児童会活動	目標	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。																																												
	指導計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">児童会活動の内容</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> <th>第4学年</th> <th>第5学年</th> <th>第6学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童会の企画や運営</td> <td>委員会活動</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td colspan="2">毎月1回水曜日6校時（話し合い）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">異年齢による交流 *2</td> <td colspan="6">よろしくね集会、縦割り班8の字大会、6年生を送る会</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学校行事への協力</td> <td colspan="6">運動会、縦割り班ふれあいタイム</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(設置する委員会) 代表、給食・環境美化、放送、体育・保健、図書</td> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table>	児童会活動の内容		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	児童会の企画や運営	委員会活動	※	※	※	※	毎月1回水曜日6校時（話し合い）		異年齢による交流 *2		よろしくね集会、縦割り班8の字大会、6年生を送る会						学校行事への協力		運動会、縦割り班ふれあいタイム						(設置する委員会) 代表、給食・環境美化、放送、体育・保健、図書											
児童会活動の内容		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年																																							
児童会の企画や運営	委員会活動	※	※	※	※	毎月1回水曜日6校時（話し合い）																																								
異年齢による交流 *2		よろしくね集会、縦割り班8の字大会、6年生を送る会																																												
学校行事への協力		運動会、縦割り班ふれあいタイム																																												
(設置する委員会) 代表、給食・環境美化、放送、体育・保健、図書																																														

*2 代表委員会が中心となって、異年齢による交流の企画運営にあたる。

クラブ活動	目標	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに、自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。																																				
	指導計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">クラブ活動の内容</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> <th>第4学年</th> <th>第5学年</th> <th>第6学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラブの計画他運営</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>クラブを楽しむ活動</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td colspan="3">毎月1回 水曜日6校時</td> </tr> <tr> <td>クラブの成果の発表</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	クラブ活動の内容		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	クラブの計画他運営								クラブを楽しむ活動		※	※	※	毎月1回 水曜日6校時			クラブの成果の発表											
クラブ活動の内容		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年																															
クラブの計画他運営																																						
クラブを楽しむ活動		※	※	※	毎月1回 水曜日6校時																																	
クラブの成果の発表																																						

(設置するクラブ) 消しゴムハンコ、モルック、スポーツ、室内遊び、折り紙、ビーズアート

学校行事	目標	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。										
	指導計画	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>儀式的行事</td> <td>新任式、入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、離任式</td> </tr> <tr> <td>文化的行事</td> <td>書初め大会、音楽鑑賞会、はまっ子音楽祭</td> </tr> <tr> <td>健康安全・体育的行事</td> <td>身体測定、運動会、避難訓練、交通安全教室、防犯教室、マラソン大会</td> </tr> <tr> <td>遠足・集団宿泊的行事</td> <td>バス遠足、自然体験学習</td> </tr> <tr> <td>勤労生産・奉仕的行事</td> <td>プール清掃、各行事準備・後片付け、年度末大掃除</td> </tr> </tbody> </table>	儀式的行事	新任式、入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、離任式	文化的行事	書初め大会、音楽鑑賞会、はまっ子音楽祭	健康安全・体育的行事	身体測定、運動会、避難訓練、交通安全教室、防犯教室、マラソン大会	遠足・集団宿泊的行事	バス遠足、自然体験学習	勤労生産・奉仕的行事	プール清掃、各行事準備・後片付け、年度末大掃除
儀式的行事	新任式、入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、離任式											
文化的行事	書初め大会、音楽鑑賞会、はまっ子音楽祭											
健康安全・体育的行事	身体測定、運動会、避難訓練、交通安全教室、防犯教室、マラソン大会											
遠足・集団宿泊的行事	バス遠足、自然体験学習											
勤労生産・奉仕的行事	プール清掃、各行事準備・後片付け、年度末大掃除											

評価	よりよい生活を築くための知識・技能		集団や社会の形成者としての思考・判断・表現		主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	
	<ul style="list-style-type: none"> 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 自己の生活の充実・工場や自分らしい生き方の現実に必要なことについて理解している。 よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりして実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。 			

学級活動では、必要に応じて養護教諭や栄養教諭等ゲストティーチャーと連携する。児童会活動は全教師で、クラブ活動は4年以上の担任・級外が関わる。

③ R8度 総合的な学習の時間全体計画

七尾市立田鶴浜小学校

【学校教育目標】 自らの人生を切り拓く生きる力の育成
 ～生き生き、はまっ子 考動する子 協働する子 探究する子～ フェーズ2

【めざす児童像】
自分が好き、友達が好き、学校が好き、田鶴浜が好き

【総合的な学習の時間の目標】
 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。

【児童の実態】
 ○明るく素直で落ち着いている
 ○指示されたことは最後までやり遂げようとするが、自ら、進んで考えたり行動したりすることは少なくない

【保護者の願い】
 ○豊かな人間関係と健康で安全・安心な生活
 ○基礎的・基本的な知識及び技能の定着

【地域の実態】
 ○地域としてのつながりや連携性が高い
 ○学校教育に対する理解があり魅力的

【地域の願い】
 ○地域や文化、歴史などに誇りをもつ
 ○豊かな人間性を身にけている
 ○地域と積極的にかかわり、行事などに進んで参加する

【学校において定める内容】

※総合的な学習の時間の中で、ふるさと教育、SDGs 教育を関連付けて取り組む。 関連マーク：(F) ふるさと教育、(S) SDGs 教育 詳細は別冊

学年	3年(70時間)	4年(70時間)	5年(70時間)	6年(70時間)		
テーマ	地域を愛し、地域と自分をつないで考える田鶴浜っ子 (F) (S)					
探究課題	地域の生産活動	地域の福祉	地域の環境	地域の環境		
単元名	「のと白ねぎ」調査隊 ～知り隊! 伝え隊! 広め隊! のと白ねぎ～	ふだんのくらしをしあわせに ～みんなが住み良い田鶴浜～	わたしたちのふるさと田鶴浜 ～人・伝統・環境～	環境学習 ～SDGs で田鶴浜や小学校の環境をレベルアップ～		
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	A 知識及び技能	知識の概念化	地域の生産活動やそれに携わる人々の工夫を理解する。	地域の福祉やそれに携わる人々の工夫や努力、願いを理解する。	地域の環境の現状や努力や願い、地域の未来と自分の生き方との関わりを理解する。	田鶴浜の自然やそれを取り巻く環境、人々との関わりについて理解する。
		技能の身体化	調査活動や情報収集の手順を身に付け、必要に応じて発揮することができる。	調査活動や情報収集、表現活動の手順や方法を身に付け、目的や意図に応じて活用することができる。	各教科等の知識及び技能を活用した探究活動により、学習のつながりを見いだすことができる。	各教科等の知識及び技能を活用した探究活動により、学習のつながりを見いだすことができる。
		探究的な学習のよさの理解	学習対象と自分たちの生活がつながっていることを理解することができる。	自分の関心から地域についての課題を設定し、解決方法を考えることができる。	地域の人々等の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しを持って追究することができる。	目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりすることができる。
	B 力 思考・表現・判断等	課題の設定	問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見つけることができる。	視点を明確にして問題状況における事実や関係と、整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見つけることができる。	相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現することができる。	課題意識をもって、自分なりの方法を工夫したり、他者と協働したりしながら探究活動に取り組もうとする。
		情報の収集	相手に応じてわかりやすくまとめ、表現することができる。	課題の解決に向けて目的意識をもち、身近な人と力を合わせて探究活動に意欲的に取り組もうとする。	自分のよさや自分にできることに気付くとともに、自分と異なる意見や考えがあることに気付き、相手の立場を理解しようとする。	探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴を理解しようとするとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。
		整理・分析	相手に応じてわかりやすくまとめ、表現することができる。	自分と地域とのつながりに気付き、地域の活動に参加しようとする。	探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。	
	C 学びに向かう力、人間性等	まとめ・表現	課題の解決に向けて目的意識をもち、身近な人と力を合わせて探究活動に意欲的に取り組もうとする。	探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。		
		主体性・協働性	課題の解決に向けて目的意識をもち、身近な人と力を合わせて探究活動に意欲的に取り組もうとする。			
		自己理解 他者理解	自分のよさや自分にできることに気付くとともに、自分と異なる意見や考えがあることに気付き、相手の立場を理解しようとする。			
	未来展望 社会参画	自分と地域とのつながりに気付き、地域の活動に参加しようとする。				

教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力	
情報活用能力	言語能力
情報・情報技術を活用する学習活動 (情報手段の主体的な操作を習得し、情報や情報手段を主体的に選択し活用できるよう配慮する)	協働して問題を解決しようとする学習活動 言語により分析し、まとめ・表現する学習活動
考えるための技法の活用 (比較、分類、関連付け、順序付け、多面的・多角的に見る、理由付け、見通す、具体化、抽象化、構造化 等)	

<p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態、児童の実態を踏まえ、探究課題を設定する。 ・地域の人、もの、ことを生かした学習活動を行う。 ・ふるさと教育、SDGs 教育を関連づけて取り組んでいく。 ・体験活動を重視する。 ・学習成果を言語活動で表現する場を設定する。 ・各学年年間1テーマでの取組を基本とする。 	<p>【指導方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。 ・自らをとりまく人・もの・自然・地域社会とのかかわりや体験活動を大切に、主体的に追求し、伝え合う場を設定する。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。 ・言語活動により整理・分析したり、まとめたり、表現したりする学習を重視する。 ・対話を中心とした協働的な学習を充実させる。 ・声かけなどの具体的指導・支援で自己評価力や学習意欲を高める。 	<p>【指導体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間担当を中心に校内の連絡調整と指導体制を確立する。 ・級外の教職員による支援体制を樹立する。 ・地域の学習ボランティア、保護者による協力体制を図るとともに、日常的な関わりを行う。 ・地域の教育資源をデータ化する。 	<p>【学習の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。 ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。 ・個人内評価を重視する。 ・指導と評価の一体化を充実する。 ・自己評価や教師による評価を、指導方法の改善に生かす。学年末には指導計画を評価・改善し、次年度に生かす。
---	---	---	--

【各教科等との関連】

国語	社会	算数	理科	生活科	音楽
・自分の思いや考えが相手に伝わるように表現する力 ・相手が伝えたい事柄を正確に理解する力・言語についての知識や理解、技能	・社会的な事象に関心をもち、進んで調べようとする態度 ・統計、資料、年表用を読み取り活用する力 ・観察や調査した事柄を関連付ける力	・数量や図形に興味を持ち、調べたり試したりしながら課題を解決していこうとする力 ・目的に応じて表やグラフを使って表現する力 ・筋道を立てて考える力	・自然事象に関心をもち、進んで調べようとする態度 ・科学的に筋道立てて考え、問題を解決する力 ・見通しを持って観察、実験をする力	・身近な人々、社会、自然と関わる力 ・自分自身や自分の生活について新たな気付きをする力 ・生活上必要な習慣や技能	・音楽によって養われる感性や情操 ・感じたことを歌や楽器で表現する力
家庭	図画工作	体育	外国語活動・外国語	特別の教科 道徳	特別活動
・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能 ・家庭生活をよりよくしようと工夫する力と実践的な態度	・表現や鑑賞の活動や等で養われた感性や情操 ・つくりだす喜び・形や色、材料などから発想する力 ・材料や用具を用いる力	・健康で安全な生活を営む実践力 ・たくましい心身	・異なる言語や文化を理解する力 ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度	・課題解決に向けて主体的に活動するための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度	・話し合いの仕方 ・集団をよりよく指定校とする意欲及び態度 ・自発的、自主的に活動を進める力

【地域、近隣の小学校、進学先の中学校との連携】

◇**地域との連携**

- ・田鶴浜地区コミュニティーセンター、地域の公共施設、福祉施設 等
- ・地域のボランティア団体
- ・田鶴浜こども園
- ・田鶴浜高校
- ・建具、住吉神社、東嶺寺、あかり祭り実行委員会、地方史の会 等

◇**中学校校区の小学校との連携**

- ・小丸山小学校
- ・朝日小学校

◇**進学先の中学校との連携**

- ・七尾中学校

令和8年度 指導方法工夫改善実施計画書 (小学校英語専科指導)

令和8年4月6日

学校名	七尾市立田鶴浜小学校	校長氏名	清水 昭浩
-----	------------	------	-------

1 年間計画授業時数

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	全ての学年の年間計画時数が 1,085時間以下
900 <small>時間</small>	960 <small>時間</small>	1030 <small>時間</small>	1060 <small>時間</small>	1060 <small>時間</small>	1050 <small>時間</small>	該当

- ・年間計画授業時数は、各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、学級活動に充てる年間の総授業時数を指す。
- ・「令和8年度に最大で何単位時間の授業を実施することが可能か」という考え方に基づいて記入すること。標準授業時数を超えて確保している時間(いわゆる「余剰時数」)も含める。すなわち、児童・生徒が在籍することを計画をしている総時数から、学級活動以外の特別活動(児童会活動・生徒会活動・クラブ活動・学校行事)に充てることを予定している時数を除算した時数が記入する授業時数となる。
- ・1単位時間を45分(小学校)、50分(中学校)以外で設定している場合は、それぞれ45分・50分に換算した上で入力する。

2 英語専科指導の担当教員について

加配教員数 (定数)	担当教員氏名	担当教員の資格要件 (複数選択可)				備 考 (兼務者の場合は本務校を記入)
		①	②	③	④	
1 名 (0.25)	高木 歩 (高木 美里)	○				

【担当教員の資格要件】

- ①中学校又は高等学校英語の免許状を有する者
- ②2年以上のALT (外国語指導助手) の経験者
- ③英検準1級、TOEIC730点以上などのCEFR B2相当以上の英語力を有する者
- ④海外大学、又は青年海外協力隊若しくは在外教育施設等で、2年以上の英語を使用した海外留学・勤務経験のある者

3 英語専科指導の実実施計画について

学 年	学 級 数	週あたり指導時数	年間指導時数
第3学年	1 学級	1 時間	35 時間
第4学年	1 学級	1 時間	35 時間
第5学年	1 学級	2 時間	70 時間
第6学年	1 学級	2 時間	70 時間
合 計	4 学級	6 時間	210 時間

4 英語専科指導の実実施体制について

実 施 体 制 (授業の持ち方) (校務分掌等)	・英語専科教員が3年生以上の全ての学級の外国語・外国語活動を担当する。 ・ALTをT2として活用する。
期待できる効果	・英語専科教員が3年生以上の全ての学級の外国語・外国語活動を担当することで、授業の系統性と質の向上が期待できる。 ・ALTをT2として活用することで、英語授業力の向上が期待できる。 ・英語専科教員を中心に授業を展開することで、児童の興味・関心・意欲の向上及び「聞く」「話す」を通じたコミュニケーション能力の育成が期待できる。

令和8年度 指導方法工夫改善実施計画書 (小学校専科指導(教科担任制))

令和8年4月6日

学校名	七尾市立田鶴浜小学校	校長氏名	清水 昭浩
-----	------------	------	-------

1 年間計画授業時数

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	全ての学年の年間計画時数が 1,085時間以下
900 <small>時間</small>	960 <small>時間</small>	1030 <small>時間</small>	1060 <small>時間</small>	1060 <small>時間</small>	1050 <small>時間</small>	該当

- ・年間計画授業時数は、各教科、特別の教科(道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、学級活動)に充てる年間の総授業時数を指す。
- ・「令和8年度に最大で何単位時間の授業を実施することが可能か」という考え方に基づいて記入すること。標準授業時数を超えて確保している時間(いわゆる「余剰時数」)も含める。すなわち、児童・生徒が在籍することを計画をしている総時数から、学級活動以外の特別活動(児童会活動・生徒会活動・クラブ活動・学校行事)に充てることを予定している時数を除算した時数が記入する授業時数となる。
- ・1単位時間を45分(小学校)、50分(中学校)以外で設定している場合は、それぞれ45分・50分に換算した上で入力する。

2 教科担任の担当教員について

担当教員数 加配定数			担当教員氏名	教科	担当教員の資格要件(複数選択可)			備考 (兼務者の場合は本務校を記入)
1名					①	②	③	
			齊藤ひかり (坂元さくら)	算数			○	
高学年分	中学年分	若手支援分						
0.5								

【担当教員の資格要件】

- ①対象教科の中学校又は高等学校の免許状を有する者
- ②対象教科について専科指導を3年程度実施していた者
- ③対象教科における教科研究会等の活動、研修履歴、著名な実績等が一定程度あると教育委員会が認めた者

3 教科担任の実施計画について

(1)実施する教科の実施計画 ※高学年分での配置の場合は第6・5学年、中学年分での配置の場合は第4・3学年から順に実施計画を記入すること

学年	教科	週あたり指導時数	年間指導時数
第6学年	算数	5 時間	175 時間
第5学年	算数	5 時間	175 時間
第 学年			
第 学年			
第 学年			
合 計		10 時間	350 時間

(2)上記実施計画に含まれる新採教員等の学級

新採教員等氏名	担任学級	新採教員等の区分(いずれか1つを選択し○を記入すること)				
		新規採用者 (初任研対象者)	新卒の講師	民間経験のみの講師	特別支援学級担任 経験のみの講師	左記以外の教職経験 10年以内の教員

※週あたり指導時数 10 時間のうち、新採教員等の学級での指導時数 時間

(3)期待できる効果 ※教科担任について簡潔に記入

・5、6年の算数科を専科にすることによって、学年間の系統的を踏まえた指導ができる。

Ⅲ 3 学校行事年間行事計画

R8	4	5	6	7
1 水	学年始休業日 ～4/6 職員会議①28:30～11:30 若手教員早期育成プログラム【オンデマンド】(大岡～8/31) 新任特別支援教育コーディネーター研修【オンデマンド】(島田～5/22) 特別支援学級担当者研修A【オンデマンド】(島田～5/8)	授業参観・PTA総会・学年懇談会 SC来校(13:00～16:00) スック洗いデー ICTサポーター来校		委員会活動④ 働き方改革実践セミナー【オンデマンド】(清水・林～8/28) 災害後の子どもたちのこころのケア校長研修【オンデマンド】(清水～8/28)
2 木	職員会議③8:30～11:30 職員会議④13:00～15:00		児童集会(歯磨きについて保健・体育委員会) 中堅教諭等資質向上研修基本講座(～6/11)(山科・島田)	
3 金	研究推進委員会8:30	憲法記念日	学教研 連合運動会 尿検査一次二次混合	プール水質検査8:00(橋本薬剤師来校) 特別支援教育コーディネーター【ライブ】(島田13:30)
4 土		みどりの日		
5 日		こどもの日	人権教室①(2限3年 3限6年)	
6 月	新任式・担任発表・入学式準備 ICTサポーター来校 校内研究 全体会13:30	振替休日		
7 火	始業式・入学式	運動会団結式		
8 水	給食開始 学力調査「配送回収連絡」のwebシステムでの確認の切 人権教室 打合せ10:00	眼科検診13:30 自転車安全教室(3年9:00～10:00) 市P連 総会(岡本・P奥成・P坂井・P廣瀬19:00矢田織コミセン)		クラブ活動③ 職員会議⑨
9 木	1年給食開始 バス乗車指導 1年生写真撮影(午前) 予約済 第1回推進校連絡協議会オンライン(校長、西田15:30)		計画訪問	避難訓練(地震・原発)3限
10 金	職員会議⑤15:00～ バス乗車指導、SC来校(9:00～12:00) 運動会について打合せ(体育部)		健康教育担当者研修【ライブ】(大岡13:30) 全校5限	本はともだち号 全校5限
11 土		石川県基礎学力調査質問調査(4・6年2限) ICTサポーター来校	本はともだち号	
12 日		心臓検診1年(9:40～) 児童集会(掃除の仕方、給食、環境美化)	引き渡し訓練(避難訓練地震5弱以上) 全校5限	
13 月	前期児童会任命式13:15 生徒指導 主事研修【オンデマンド】(山科～5/29) 教育相談担当者研修【オンデマンド】(山崎～5/29)	委員会活動②		
14 火		幼保小連携事業公開授業(1年)2限、情報交換会3限 全校5限授業		
15 水	身体測定・視力聴力検査(全校)委員会活動①	職員会議⑦ 本はともだち号 尿検査一次		
16 木	耳鼻科健診13:30～			
17 金	PTA役員会18:30 ICTサポーター来校 SC来校(9:00～12:00) 学力調査「学校質問調査」のwebシステムでの回答の切		委員会活動③ 職員会議⑧	終業式 スック洗いデー
18 土		小中学校教頭会セミナー【ハイブリッド】(林13:30)	巡回教育相談	
19 日		運動会準備	いじめ対応アドバイザー研修15:00～16:00	
20 月		運動会		海の日
21 火	歯科検診(低学年)13:30～ 職員会議⑥	運動会予備日		
22 水	令和8年度基礎学力調査 学教研 GIGA校内研修推進リーダー研修【ライブ】(前山13:00)	避難訓練(火災)2限		あゆみ渡し(1日)
23 木	令和8年度全国学力調査(6年国・算)「調査終了報告」提出 本はともだち号 地区子ども会・対面式集団下校訓練			
24 金	SC来校(9:00～12:00) PTA全体委員会18:30 学力調査解答用紙等の引き渡し		クラブ活動② 避難訓練(不審者対応訓練・防犯教室)3限	
25 土			たてわりふれあいタイム	
26 日		飲料水検査8:00(橋本薬剤師来校)	スック洗いデー	
27 月	全国学力・学習状況調査児童質問紙調査(6年3限)	クラブ活動①		
28 火	よろしくね集会 歯科検診(高学年)13:30～			
29 水	昭和の日	バス遠足(能登島交通予約済) スック洗いデー		巡回就学相談(野田)パトリア
30 木	内科検診(全学年)13:30～			
				31 金 県小中学校教育研究会第14回研究大会所属校オンライン

8		9		10		11	
1	土		始業式				いしかわ教育ウィーク(～7日)
2	日		委員会活動⑥		研究発表会		
3	月	授業における生成AIの活用【ライブ】(前山9:30)					文化の日
4	火						
5	水	全校登校日(全校集会) 県公立小中学校教頭研究大会小松 能美大会ライブ配信					授業参観・情報学習会
6	木						本はともだち号
7	金				委員会活動⑥ 巡回就学相談		
8	土	6年PTCA(あかりまつり)?					
9	日		読み聞かせボランティア クラブ活動④		本はともだち号		
10	月						校内マラソン大会
11	火	山の日 リフレッシュウィーク(11日～17日) 学校閉庁日(11日～17日)	本はともだち号				読み聞かせボランティア 委員会活動⑦ 職員会議⑯ 校内マラソン大会予備日
12	水				スポーツの日		
13	木						
14	金				学教研		
15	土				読み聞かせボランティア		
16	日				PTA役員選出委員会18:30		
17	月		職員会議⑪				
18	火						学教研(研究授業)
19	水						
20	木				こころの劇場(6年) 市就学相談		
21	金	職員会議⑩8:30～9:30 中堅教諭等資質向上研修 学校組織マネジメント①(～10/30)(山科・島田)	敬老の日		1年秋見つけ(鹿島少年自然の家予約済み) 5年サッカー交歓会 職員会議⑫ クラブ活動⑤		
22	土		国民の祝日				
23	日		秋分の日		5年サッカー交歓会予備日		勤労感謝の日
24	月						校長会
25	火		ズック洗いデー				クラブ活動⑥
26	水	全校登校日 ねむりのチャレンジウィーク(～31日) 特別支援学級担当者研修A・B【ライブ】(島田・奥田9:30)					
27	木				3年器械運動交歓会		ズック洗いデー
28	金	特別支援学級担当者研修B【ライブ】(奥田13:30)			3年器械運動交歓会予備日		
29	土						
30	日				6年自然体験学習(鹿島少年自然の家予約済み) ズック洗いデー		
31	月						

		七尾市立田鶴浜小学校										
		12		R9	1		2		3			
1	火			1	金	元日 年始休業日		1	月		1	月
2	水	委員会活動⑧		2	土	年始休業日		2	火	本はともだち号 校長会	2	火
3	木			3	日	年始休業日		3	水	クラブ活動⑨	3	水
4	金	はまっ子音楽祭		4	月			4	木	1・2年そり活動(予約済み)	4	木
5	土			5	火			5	金		5	金
6	日			6	水			6	土		6	土
7	月	本はともだち号 薬物乱用防止教室(6年2限)		7	木	職員会議⑬(13:30~14:30)		7	日		7	日
8	火			8	金	始業式		8	月		8	月
9	水	読み聞かせボランティア 職員会議⑭ クラブ活動⑦		9	土			9	火		9	火
10	木			10	日			10	水	授業参観・6年コースジュ作り 安全教室6年(法務省ドコモ・スマホ)	10	水
11	金			11	月	成人の日		11	木	建国記念の日	11	木
12	土			12	火			12	金		12	金
13	日			13	水	市学力調査 学教研		13	土		13	土
14	月			14	木	読み聞かせボランティア		14	日		14	日
15	火			15	金	本はともだち号		15	月		15	月
16	水			16	土			16	火		16	火
17	木			17	日			17	水	読み聞かせボランティア 委員会活動⑩ 職員会議⑮	17	水
18	金			18	月			18	木		18	木
19	土			19	火			19	金		19	金
20	日			20	水	委員会活動⑨ 職員会議⑯		20	土		20	土
21	月			21	木	3・4年スキー活動(予約済み)		21	日		21	日
22	火			22	金			22	月		22	月
23	水	あゆみ渡し個人面談希望・通級面談(PM)		23	土			23	火	天皇誕生日	23	火
24	木	終業式 スック洗いデー		24	日			24	水		24	水
25	金			25	月			25	木	6年生を送る会 学校関係者評価委員会	25	木
26	土			26	火			26	金	スック洗いデー	26	金
27	日			27	水	新1年生を迎える会学校説明会 9:20~11:00 クラブ活動⑧		27	土		27	土
28	月			28	木			28	日		28	日
29	火	年末休業日		29	金	5・6年スキー活動(予約済み) スック洗いデー					29	月
30	水	年末休業日		30	土						30	火
31	木	年末休業日		31	日						31	水

(1) 生徒指導目標・生徒指導方針・生徒指導全体計画

【児童の実態】
 ・挨拶については、意識は高まってきたが、個人差が見られる。
 ・校内での過ごし方、相手や場に応じた言葉遣いなど指導が必要などところがある。
【保護者の願い】
 ・いじめのない楽しい学校生活を送ってほしい。
 ・家庭や地域でも気持ちのよい挨拶ができるようになってほしい。

学校教育目標
 自らの人生を切り拓く生きる力の育成
 生き生き、はまっ子、
 考動する子 協働する子 探究する子
 フェーズ2

日本国憲法
 教育基本法
 学校教育法
 学校教育法施行規則
 学習指導要領
 生徒指導提要
 石川の教育振興基本計画
 指導資料・実践資料等

【めざす児童像】
 ～自分が好き、友達が好き、
 学校が好き、田鶴浜が好き～
 「好き」を育み、「得意」を伸ばす

【生徒指導の目的】
 ～生徒指導提要より～
 生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的とする。

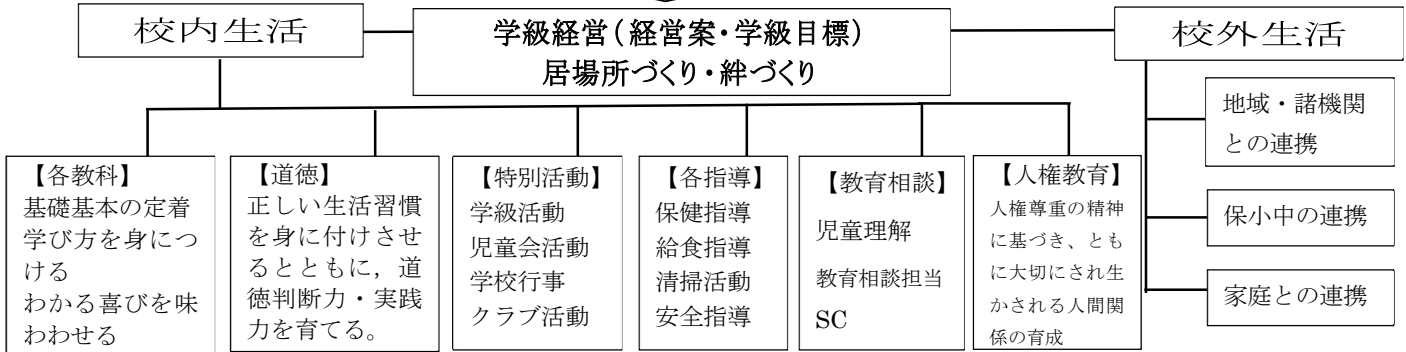
【生徒指導目標】
 ふわふわ考動を意識するとともに自分や友達のことを認め、誰とでも学び合える児童の育成

- 【生徒指導の基本方針】**
- ①児童の実態や心情を十分に把握し、適切な児童理解をする。
 - ②児童一人一人が自己実現に向けて意欲的な生活が送れるように発達段階に即した指導や支援に努める。
 - ③生徒指導の進め方についての共通理解を深め、学年・学級の枠を超えて全教職員で児童の健全育成にあたる。
 - ④生徒指導年間計画の作成と機能的な生徒指導組織の確立を図り、意図的・計画的・組織的な指導とともに、必要に応じた適切な指導を行う。
 - ⑤家庭・地域社会・関係諸機関との連携を深め、地域ぐるみの協力体制の推進を図っていく。

* 生徒指導実践上の視点 ①自己存在感の感受 ②共感的な人間関係の育成 ③自己決定の場の提供 ④安全・安心な風土の醸成

生徒指導各学年の指導の重点		
低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力しあって温かい人間関係を育てる。 ・学校生活の決まりを知り、人に迷惑をかけない。 ・自分や友達のことを認め、自己肯定感を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰とでも協力しあい、好ましい人間関係を育てる。 ・学校生活の決まりや約束を進んで守る態度を育てる。 ・自分を肯定的に捉える自己肯定感や、認められたという自己有用感を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持になって考え協力し、よりよい人間関係を育てる。 ・学校生活の決まりや約束を理解し、楽しく充実した生活を送る。 ・自分を肯定的に捉える自己肯定感や、認められたという自己有用感を育む。

田鶴浜小学校 はまっ子のやくそく・生活目標



* 授業づくり視点 ①自己存在感の感受を促進する授業づくり ②共感的な人間関係の育成する授業
 ③自己決定の場の提供する授業づくり ④安全・安心な「居場所づくり」に配慮した授業

(2) 生徒指導年間計画

生徒指導年間指導計画（今月の生活目標）

月	月別目標	具体的目標
4	学校生活のルールを守ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムや時計で行動しよう ・学習の準備はしっかりしよう ・授業のシステムをつくろう
5	さわやかなあいさつ・返事をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・目をみて 自分から 先あいさつ、礼 ・遠くにも届く声で伝えよう ・相手に届く返事を心がけよう
6	健康で安全な生活をおくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下は、右側を静かに歩こう ・安全に楽しく遊び、片付けをきちんとしてよう
7	けじめのある生活をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をなくそう ・ベル学にとりくもう ・1学期学級の課題を克服しよう
8	『はまっ子の夏休み』を守ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・早ね 早起き 朝ごはんを ・手伝い・奉仕活動を進んでしよう ・計画にそった生活をしよう
9	生活のリズムをとりもどそう	<ul style="list-style-type: none"> ・先あいさつ・返事をしっかりしよう！ ・身体を動かして遊ぼう ・早寝・早起きをしよう
10	自分のよいところを見つけよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の良いところを見つけて、自己肯定感を高めよう
11	進んで仕事をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・無言清掃をしよう ・係の仕事や給食当番などを進んでしよう
12	友だちを大切にしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちのよい所を見つけよう ・フワフワ言葉で気持のよい会話を！
1	寒さに負けず元気にすごそう	<ul style="list-style-type: none"> ・なわとびにチャレンジしよう ・手洗い・うがいをしっかりやろう
2	自分も友達も大切にしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよい所を見つけよう ・自分のよい所を振り返り、自己肯定感を高めよう
3	1年間をふりかえって がんばったところを見つけよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分ががんばったことをみつけよう ・身の回りをきちんとしてよう

(3) 生徒指導組織と体制

①指導体制の確立

○生徒指導部会

- ・生徒指導上の諸問題の早期発見と的確な実態把握及び対応策の実施
(アンケート等によるいじめ実態把握)
- ・毎月の生活目標の具体化と達成度の点検 (生活習慣・規範意識の向上)

○研修会

- ・児童理解の会 (月1回の職員会議の前, 必要に応じて)
児童の生活状況に関する情報を提供し, 児童理解を深め共通実践を確認する。
- ・定例特別支援委員会 (月1回、職員会議の前) を開催し, 情報を共有し組織的に対応していく。
- ・生徒指導研修会・いじめ対応アドバイザー研修 (学期に1回)
情報・意見交換を通して児童理解を深め, 職員全体の生活指導力を高める。問題行動の状況把握と対応の仕方を学ぶ。

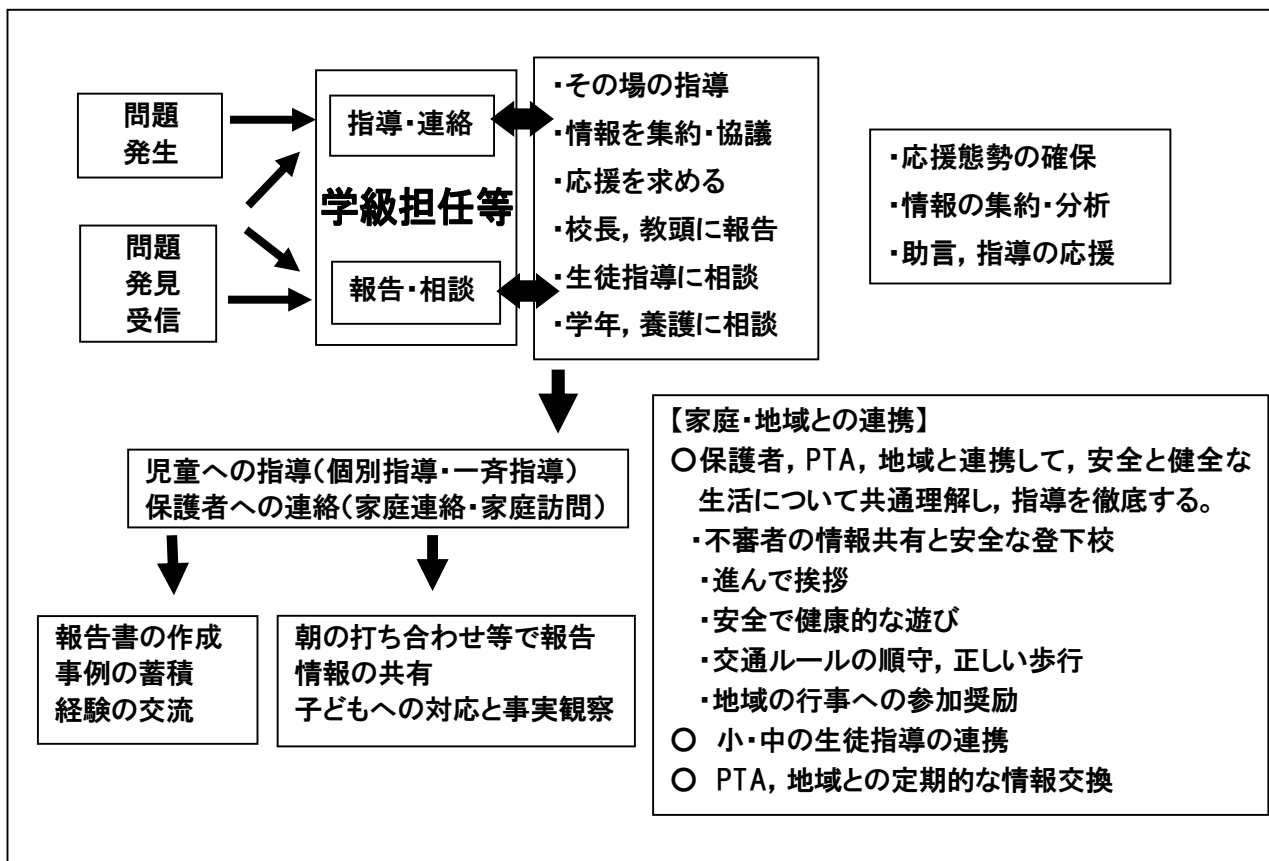
○低中高学年ブロック研修会

- ・日常の学年の様子やブロックの様子について情報交換を行う。

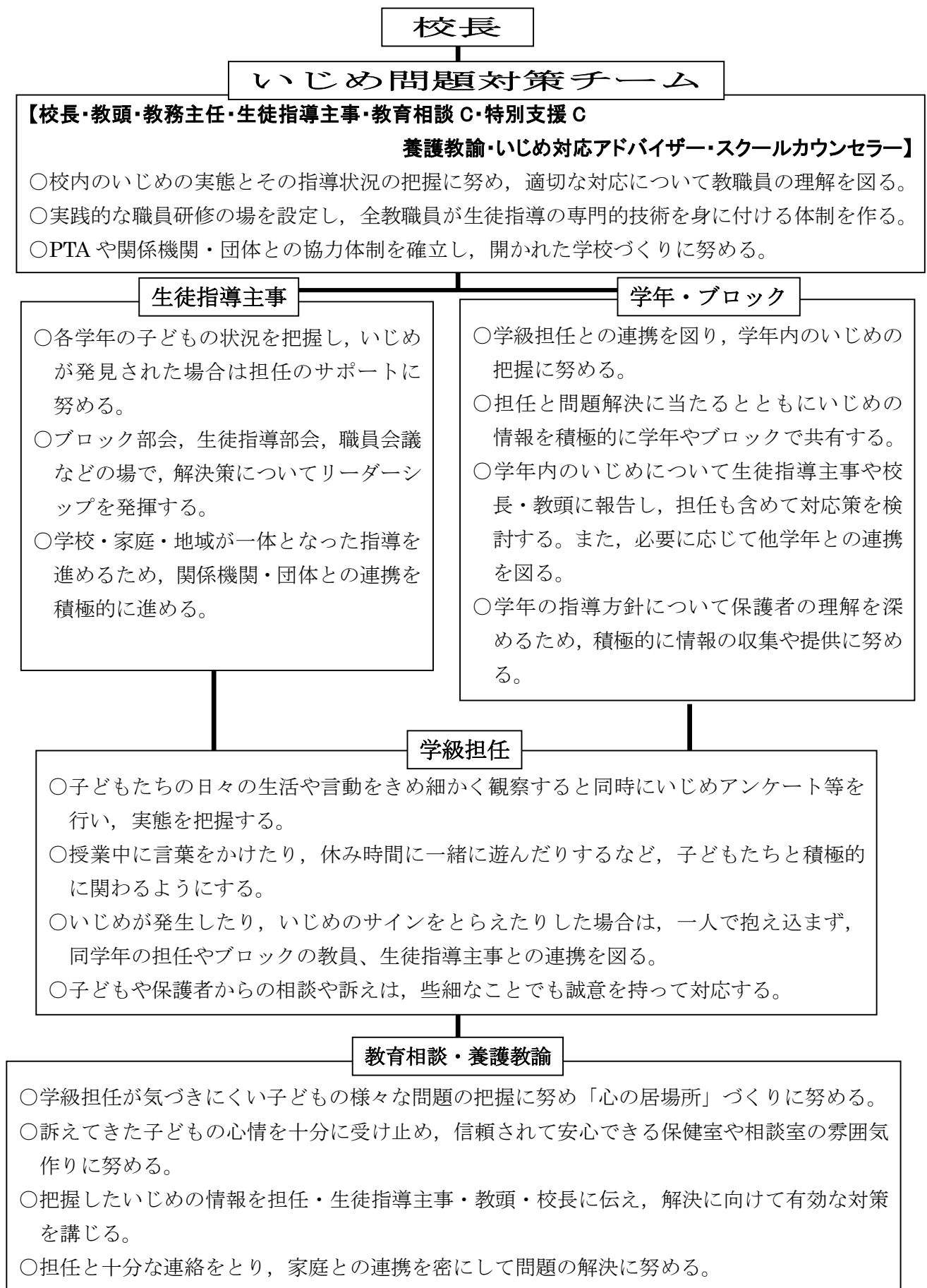
○グッドマナーキャンペーン期間及び夏季休業中の取り組み

- ・地域, 保護者, 学校が連携してグッドマナーキャンペーンに取り組み, 礼儀や規則正しい生活を推進することにより, 子どもたちの健やかな成長に資する。

②全教職員で支える指導体制



③いじめに対する組織的取り組み



教育相談計画

(4) 教育相談目標

- 教師と児童とのよりよい人間関係を築き、受容的な雰囲気づくりに努める。
 - 児童の不安や悩みなどを解消するための支援を通して、よりよい人格の形成を図る。
 - 災害後の子供の心のケアに努める。
- 【低学年】児童の話をよく聞き、学校に楽しく来られるように、心身の安定を図る。
- 【中学年】児童の主体性を尊重し、良い面を認め励ますことによって、自主性、主体性を育てる。
- 【高学年】児童と共感的な態度で接する中で、自己理解、自己受容ができるように支援する。

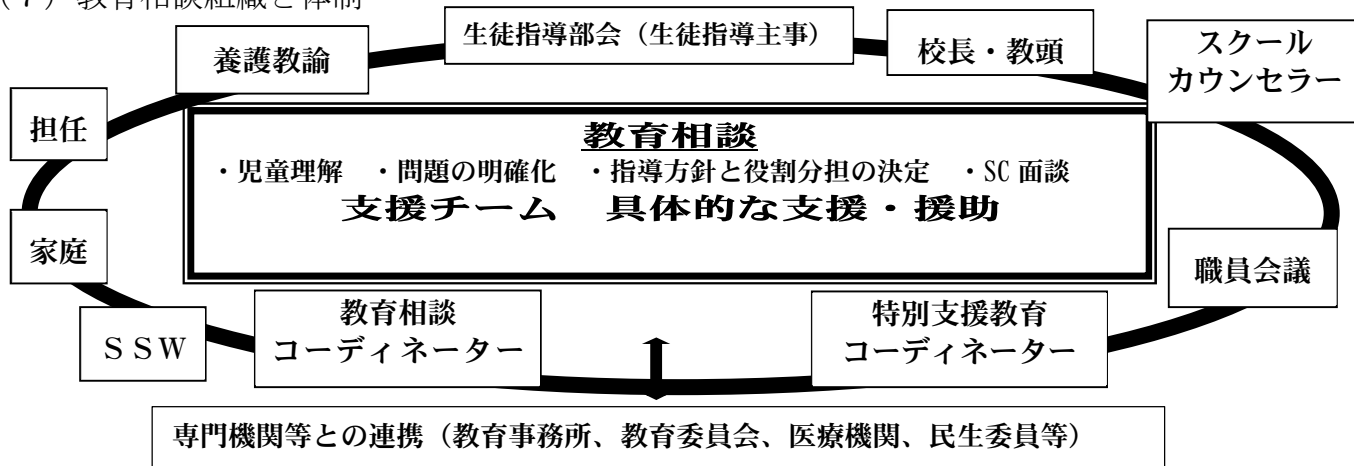
(5) 教育相談方針

- 学校教育相談について正しく理解し、児童の悩みや問題行動等の解決を図り、適切な助言指導をする。
- 児童一人一人の情報を的確に把握し、教師相互に援助し合い相談技能の向上と教育相談体制の充実を図る。
- 教育相談年間計画を基に、日常的な発達支持的教育相談活動を積極的に行う。
- 相談機関との連携を図り、協力しながら指導にあたる。
- 学校生活アンケート（いじめ・悩み調査）を実施し、早期発見、早期対応に努める。なお、7月・12月・2月は七尾市のいじめ調査を実施する。
- 3年生以上の児童の心と体の健康状態を把握するために、端末を活用した心と体の健康観察を実施する。（毎週水曜日）
- 学期ごとに性暴力及び体罰調査・心の健康アンケート（災害関連）を実施する。
- スクールカウンセラーや金沢大学村山先生と連携して災害後の心のケアを行う。

(6) 教育相談年間計画

月	内 容
4 月	・全体計画、組織の確認 ・職員会議（児童理解）・教育相談・端末による健康観察（水曜）
5 月	・担任による個別相談（随時）・職員会議（児童理解）・教育相談・心の健康アンケート
6 月	・職員会議（児童理解）・教育相談 ・SCによる全員面談
7 月	・個別懇談会あゆみ渡し・職員会議（児童理解）・教育相談 ・七尾市いじめアンケート・教育相談研修
9 月	・職員会議（児童理解）・教育相談 ・児童アンケート（災害関連）
10 月	・職員会議（児童理解）・教育相談
11 月	・職員会議（児童理解）・教育相談
12 月	・個別懇談会あゆみ渡し・職員会議（児童理解）・教育相談 ・石川県いじめアンケート・七尾市いじめアンケート・教育相談研修
1 月	・職員会議（児童理解）・教育相談 ・児童アンケート（災害関連）
2 月	・職員会議（児童理解）・教育相談 ・七尾市いじめアンケート
3 月	・職員会議（児童理解）・教育相談 ・今年度の反省と次年度への確認 ・担任、学校長、特別支援学級担当者、保護者との話し合い、保護者との教育相談

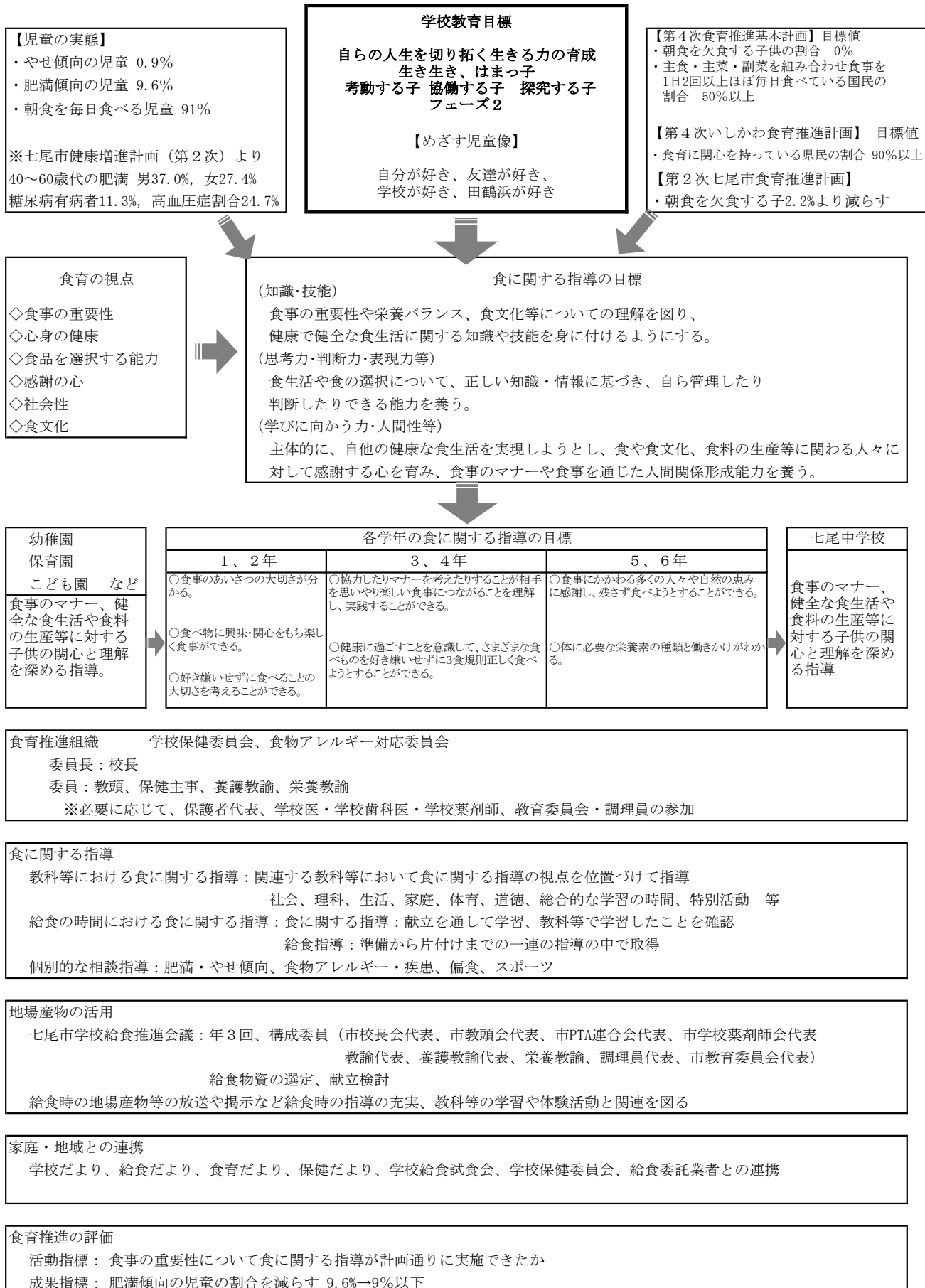
(7) 教育相談組織と体制



5 給食指導計画

(1) 食に関する指導の全体計画①

令和8年度
七尾市立田鶴浜小学校



(2) 食に関する指導の全体計画②

令和8年度

七尾市立田鶴浜小学校

教科等	4月	5月	6月	7月	8～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事等	入学式 よろしくね集会	運動会、バス遠足	給食試食会		就学検診	校内マラソン大会		はまっ子音楽祭	スキー・そり活動	スキー・そり活動	卒業式
推進管理体制		委員会	委員会		アレキギー研修 委員会	委員会		委員会			
計画策定											
国語	2年:ぶきのとう、春がいつばい 2年:日記を書こう	2年:かんざつ名人になろう		2年:夏がいつばい	2年:こぼれおそびせしよう 5年:かぼちゃのつるが	2年:秋がいつばい	3年:すがたをかえる大豆、 食べ物のひみつを教えます	2年:冬がいつばい	2年:かたがなで書くことば		
社会	3年:わたしのまちなみなのまち 4年:わたしたちの県 5年:わたしたちの国土 6年:縄文のむらから古墳のく にへ	3年:はたらく人とわたしたちの くらし、農家の仕事 /工場の仕事 5年:わたしたちの生活と食料 生産(田植文) 6年:縄文のむらから古墳のく にへ	3年:はたらく人とわたしたちの くらし、農家の仕事 /工場の仕事 5年:わたしたちの生活と食料 生産(田植文) 6年:縄文のむらから古墳のく にへ	3年:農家の仕事/工場の仕事 /工場の仕事 5年:わたしたちの生活と食料 生産(田植文) 6年:縄文のむらから古墳のく にへ	3年:わたしたちの生活と食料 生産(田植文) 6年:縄文のむらから古墳のく にへ	3年:店ではたらく人 5年:農家の仕事/工場の仕事 /工場の仕事 6年:縄文のむらから古墳のく にへ	3年:すがたをかえる大豆、 食べ物のひみつを教えます	3年:すがたをかえる大豆、 食べ物のひみつを教えます	4年:特色ある地域と人々のく らし 6年:長く続いた戦争と人々のく らし		
理科	3年:たねをまよう 4年:あたたかくなると 1年:かっこうだいすき 2年:大きくそだてわたしの野 さい	5年:植物の発芽と成長	3年:どれがぐらいいっぱい 4年:あつくなると 5年:魚のたんじょう	3年:花がさいだよ	3年:実ができたよ 5年:花から実へ	4年:すすしくなると	4年:すすしくなると	4年:すすしくなると	4年:さむくなると	6年:地球に生きる	4年:いきもの1年をふりかえ って 6年:地球に生きる
生活											
家庭		5年:ゆでる調理でおいしさ差 見 6年:朝食から健康な日の生 活を			5年:食べて元気!ご飯と みそ汁	5年:食べて元気!ご飯と みそ汁	6年:まかせてね 今日の日 の食事	5年:気持ちがつながる、家族 の時間 6年:まかせてね 今日の日 の食事			
体育 (保健領域)								3年:健康な生活 4年:大きくなると 5年:心の健康			
他教科等	1年:(図工)ねんどでござそう なにつくろ	3年:(音楽)茶つみ		3年:同じ小学校でも	1年:にっぽんのおかし、かぼ ちゃのつる 2年:わたしたちのまのちのたから もの	4年:(外国語)Unit5 We live together.	4年:(外国語活動)Unit7 What do you want? 2年:きつねとごぼう	4年:(外国語)Unit7 What do you like? 5年:病気の予防	5年:(外国語)Unit7 What would you like? 4年:メニューにない料理☆		4年:にぎりめしめたいね
道徳											
総合的な 学習の時間	3年:知り隊!				3年:育てた!調べた!味わった! 1のと白ねぎ				3年:すいでいぞ!知ってよ! 1のと白ねぎ		
学級活動		1年:正しいはみき、手あらい 2年:正しい歯のみき方 すきらいしないいいで食べよう 3年:給食の時間を見直そう 4年:給食の約束 5年:食を見直そう	1年:正しいはみき、手あらい すきらいしないいいで食べよう 2年:正しい歯のみき方 すきらいしないいいで食べよう 3年:給食の時間を見直そう 4年:給食の約束 5年:食を見直そう	4年:何でも食べよ	6年:食を見直そう	1年:かぜのよぼう 2年:風邪の予防 3年:寒さに負けない体 4年:寒さに負けない体 ・給食に関係する人々への感 謝	1年:かぜのよぼう 2年:風邪の予防 3年:寒さに負けない体 4年:寒さに負けない体 ・給食に関係する人々への感 謝	2年:楽しい給食 3年:楽しい給食	2年:楽しい給食 3年:楽しい給食	2年:感謝の気持ちをもとう 6年:感謝をこめて	3年:感謝の気持ちをもとう
食育教材活用 (栄養教諭 T T)	1年:給食が始まるよ	2年:元気のもと朝ごはん 3年:生活リズムを調べてみ よう 5年:食べ物の栄養	2年:元気のもと朝ごはん 3年:生活リズムを調べてみ よう 5年:食べ物の栄養		5年:食べ物はどこから	1年:食事をおいしくする まほうの言葉 2年:おやつや食べ方を考え てみよう 3年:マナーのもつ意味 4年:元気な体に必要な食事	1年:食事をおいしくする まほうの言葉 2年:おやつや食べ方を考え てみよう 3年:マナーのもつ意味 4年:元気な体に必要な食事		2年:食べ物「旬」		
児童会活動											
学校行事	入学式	たてわりふれあいタイム	唐と口の衛生週間 残量調査								
給食 指導		・身支度をきちんとする ・胸力してきちんと配膳する	唐と口の衛生週間 残量調査								
食に関する指導											
月目標		マナーを覚えて食事をする よう	よくかんて食べよう								
食文化の伝承	お花見献立	端午の節句	食育月間	七夕献立	お彼岸	目の愛護デー	収穫祭 地産地消活用献立	冬至	七草 鏡開き	節分料理	桃の節句
行事食	入学・進級祝い	八十八夜	かみかみ献立	土用の丑	お月見	ハロウィン	いい歯の日 勤労感謝の日	クリスマス	お正月	バレンタインデー	卒業祝い
その他		関西メニュー	唐と口の衛生週間 残量調査 九州メニュー	沖縄メニュー	中国・四国メニュー インド料理	関東メニュー メキシコ料理	残量調査 ジョージア料理	東北メニュー	学校給食週間 石川県メニュー	北海道メニュー	
旬の食材	菜の花、キャベツ、たけのこ、清 見オレソ、チンゲンサイ、しい たけ、ホセ、ふくらぎ、さば、 玉ねぎ、いちご、さば、めざ し	きやえんどう、キャベツ、きゅう り、だいこん、たけのこ、にら、 みつば、ほろひん、れんこん、 ふくらぎ、さば、さば、めざ し	きゅうり、キャベツ、だいこん、ト マト、太きゅうり、じゃがいも、 にら、いんげん、アスパラ、さく らんば、能登ふぐ、ふくらぎ	オクラ、かぼちゃ、きゅうり、小菊 かぼちゃ、じゃがいも、玉ねぎ、 トマト、どろもこし、なす、にん じく、ピーマン、太きゅうり、す いけ、さば	新米、キャベツ、ゆり、さやいん げん、さつまいも、ごぼう、だい こん、みょうろ、にら、ねぎ、 れんこん、小松菜、しめじ、な めこ、みかん、りんご、さば、 ふくらぎ、あじ	大玉、カリフラワー、かぶ、れん こん、キャベツ、だいこん、さつ まいも、里芋、ごぼう、にんじん ねぎ、白ネギ、ブロッコリー、小松 菜、しめじ、なめこ、かき、みか ん、りんご、さば、さば、さんま、 ふくらぎ、あじ	かぶ、キャベツ、ごぼう、さつ まいも、里芋、だいこん、にんじん チンゲンサイ、ねぎ、白菜、ブ ロッコリー、ほうれん草、れんこ ん、みかん、りんご、ふくらぎ、さ ば、かます、さば	かぶ、キャベツ、ごぼう、さつ まいも、里芋、だいこん、にんじん チンゲンサイ、ねぎ、白菜、ブ ロッコリー、ほうれん草、れんこ ん、みかん、りんご、ふくらぎ、さ ば、かます、さば	春の七草、かぶ、キャベツ、に んじん、ねぎ、白菜、ほうれん 草、いちご、りんご、みかん、ぶ らな、さけ	春菊、ねぎ、チンゲンサイ、ほう れん草、いんげん、りんご、ぶ らな、ホセ、さば、ふくらぎ、い ちご	春菊、チンゲンサイ、中島菜、 菜の花、ねぎ、ほうれん草、しい たけ、デコポン、さば、きびなご
地産地産物	米粉、大豆、千野たけのこ、嶺山 いちご	米粉、大豆、さやえんどう、千野 たけのこ、嶺山いちご	米粉、大豆、キャベツ、きゅうり	米粉、大豆、じゃがいも、トマト、 なす、かぼちゃ、ピーマン、小菊 かぼちゃ、たまねぎ	米粉、大豆、さつまいも、じゃが いも、かぼちゃ、たまねぎ、能登 白ねぎ、金糸瓜、かもうり	米粉、大豆、さつまいも、里芋、 野沢ごぼう、だいこん、キャベ ツ、能登白ねぎ、能登りんご	米粉、大豆、さつまいも、里芋、 野沢ごぼう、だいこん、キャベ ツ、能登白ねぎ、能登りんご	米粉、大豆、さつまいも、にんじ ん、能登白ねぎ	米粉、大豆、さつまいも、中島 菜、にんじん、能登白ねぎ	米粉、大豆、さつまいも、中島 菜、にんじん、能登白ねぎ	米粉、大豆、さつまいも、中島 菜、にんじん
個別的な相談指導			個別健康相談	個別健康相談	アレルギー希望調査票提出	アレルギー希望調査票提出	アレルギー対応個別面談	管理指導票提出 個別健康相談	アレルギー対応個別面談		個人カルテ作成
家庭・地域との連携		学校だより	学校だより	学校だより	献立表	食育だより	給食試食会	学校保健委員会	公民館活動		

6 学校保健計画

(1) 学校保健指導目標

- ・自分の健康に関心を持ち、健康課題を自ら解決していく資質や能力及び適切に行動できる実践力を養い、健康の保持増進に努める子の育成
- ・生きる力の基盤として健康や体力及び豊かな情操と安定した心情を持つ子の育成

(2) 学校保健全体計画

学校教育目標		<ul style="list-style-type: none"> ・学校医 内科 高澤雅至 歯科 柘植英一 耳鼻科 山田和宏 眼科 馬渡嘉郎 薬剤師 橋本秀隆 	
自らの人生を切り拓く生きる力の育成 生き生き、はまっ子 考動する子 協働する子 探究する子 フェーズ 2			
学校保健目標		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態 R8.2のはまっ子生活習慣アンケートでは、8割以上基本的な生活習慣が身につけている結果であったが、平日のメディア使用時間3時間以上15%、肥満傾向児童が9%と、個別指導が必要な児童が一定数いる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の健康に関心を持ち、健康課題を自ら解決していく資質や能力及び適切に行動できる実践力を養い、健康の保持増進に努める子の育成 ・生きる力の基盤として健康や体力及び豊かな情操と安定した心情を持つ子の育成 			
学校保健の重点			
<ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全のためのよい習慣や態度を育成し、実践化を図る ・学校教育活動全体を通じて、心の健康に関する支援体制の充実を図る 			
学年の目標			
1・2年	基本的な生活習慣が身につく、自分の身体の異常をはっきり言える態度を育てる。		
3・4年	自分の発育・発達に関心を持ち、身近な生活において健康で安全な生活ができる能力を育てる。		
5・6年	けがの防止、心の健康及び病気の予防について理解し、健康で安全な生活ができる能力と態度を育てる。		
保健管理		保健教育	組織活動
児童の健康増進を図り、学校教育目標の具現化に寄与する。 配慮が必要な児童に対して、共通理解をして適切に対応する。		児童の健康保持増進に必要な知識や技能を習得し、身近な健康問題を解決する実践的な能力を育てる。	
対人管理	対物管理	保健学習	保健指導
<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康状態を把握をし、必要な対策を施す。 ・日常の健康生活の実践状況を把握し、必要な指導、助言をする。 ・アレルギー等、学校生活において配慮を必要とする児童の対応の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に必要な環境を整備し、安全安心で心豊かな学校生活を送ることができるようにする。 ・校内の危険箇所を複数の視点で確認し、周知すること、整備・修繕するなどの対応を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 心身の健康の保持増進に必要な知識・技能の習得を通して、自らの意思を決定し、適切な行動選択をする実践力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の身近な生活における健康問題に適切に対処し、健康な生活ができるよう実践力をつける。
<心身の管理> ・健康診断 ・健康観察 ・健康相談 ・疾病・感染症予防 ・ケガの予防と対応 <生活の管理> ・健康生活の実践状況の把握 ・休憩時間の遊び運動 ・児童の情緒的実態 ・疾病及びアレルギー等に関し保護者と密に情報交換	<環境の衛生的管理> ・学校環境衛生検査(定期・日常) ・安全点検(定期・日常) ・事後処理 ・施設設備の衛生管理 <環境美化> ・校舎内外の美化 ・学校環境の緑化 ・植物の栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科の保健領域の学習 ・関連教科における学習 ・「総合的な学習時間」「生活科の時間」における保健に関する学習 ・生命(いのち)の安全教育 ・薬物乱用防止教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動における保健指導 ・学校行事における保健指導 ・児童会活動における保健指導 ・保健室における個別指導 ・日常の学校生活における指導
学校保健活動の円滑な実施を推進する。 児童保健委員会の活動を通して、自分達の学校生活を向上発展させ、より豊かにしていく自治的な実践をすすめる。			
・教職員の組織、協力体制の確立 ・家庭との連携 ・学校医との連携 ・SCとの連携 ・地域の関連機関、団体との連携及び学校間の連携			
保健室は健康教育センターとしての機能の充実を図る 「保健情報の収集・資料の整備・保健指導」(集団・個別)			

(3) 学校保健年間指導計画

月	4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3	
月 目 標	自分の体を知らせよう	身の回りを清潔にしよう	歯や歯肉を大切にしよう	夏を健康に過ごせよう	生活リズムを整えよう	目を大切にしよう	姿勢を正ししよう	冬を健康に過ごせよう	かぜを予防しよう	友達と仲良くしよう	1年の健康生活をふりかえよう	
保健行事	定期健康診断 救急法研修	→ →	歯の衛生週間 フール開き 体重測定(個別)	健康講話(講師)	身体測定	視力色覚検査 目の愛護デー 就学時健康診断	体重測定(個別) 健康講話(学校医)	薬物乱用防止教室	身体測定		体重測定	
心身の管理	定期健康診断 欠席・健康観察 生き生きはまっ子アンケート	→ →						かぜり患状況把握				
環境・生活管理	安全点検 校舎内外の環境 整備 清掃用具・トイレ の点検整備	飲料水検査 遊具の使い方 自転車の乗り方 熱中症予防指数測定 運動会へ向けての 健康管理	安全点検 フール清掃 フール水傷検査 熱中症予防指数測定 手洗いの励行 食中毒の予防	学期末大掃除 水泳の安全 夏の水分補給 熱中症予防指数測定	安全点検 清掃用具・トイレ の点検整備 校庭・運動・遊 具の整備	視力低下、色覚 異常美態把握・ 事後措置等 黒板の管理 教室・廊下フッ クスがけ 持久走大会前の 健康調査・管理	安全点検 学習時の姿勢 屋内遊びの安全 廊下の歩き方 履着器具の点検	学期末大掃除 暖房・換気 集団風邪予防	安全点検 教室の空気検査 集団風邪予防 机・椅子の調査 スキー・雪遊び 体験学習前の管 理	集団風邪予防 教室フックス け 通学路の安全点 検、清掃用具点 検整備	安全点検 机・椅子の調整 校舎の整備点検 年度末の大掃除	
保健学習	けんこうというたからもの・けんこうによる1日の生活・体のせいけつとけんこう・けんこうによいかんきょう											
保健教育	大きくなってきたわたし、思春期にあらわれる変化・よりよく育つための生活											
保健指導	事故やけがの原因・学校や地域でのけがの防止・交通事故防止・犯罪被害の防止・けがの手当・心の発達・心と体のつながり・不安や悩みがあるとき											
保健指導	保健指導 (保健便り 等)	身のまわりの衛生 衣服の調節 健康診断の結果 健康室の約束 トイレの使い方	むし歯の予防治療 歯垢染め出し指導 フールのきまり 熱中症予防 健康ピンゴ	夏におきやすい病気 けがの予防 夏休みの生活習慣 夏休み歯みがきカ ンダー	規則正しい生活 夏休みの生活の 反省 けがの予防 ねむりのチャレ ンジ	目の健康について メロディ週間 視力低下の予防 (テレビ・ゲー ム) 姿勢指導	姿勢と健康につ いて むし歯の予防 衣服の調節 健康ピンゴ	かぜの予防 冬の体力づくり	うがい・手洗 い のしかた かぜの予防と症 状の早期発見 生活リズムチェッ ク 姿勢指導	心の健康につ いて 健康ピンゴ 一年間のまとめ	目の役割と健康 健康生活の反省 次年度の計画	
保健指導	疾病者の把握	定期健康診断 事後指導 治療勧奨	フールの保健指導 歯科保健指導	定期健康診断 事後指導 治療勧奨 生活習慣病予防指導	視力低下者の指 導 色覚異常児の対 応	歯科保健指導	かぜの予防指導 生活習慣病予防 指導	インフルエンザ 予防指導				
学校保健委員会	学校保健 計画の確認	健康診断報告	健康診断報告	生活習慣と心の健康 講話(健康推進課より Dr.派遣)		学校医講話「し せいと健康につ いて」			学校保健委員 会 行	学校保健委員 会 行	学校保健計画の反 省 次年度の計画	
児童保健委員会	組織作り 前期計画の立案 清潔検査	熱中症予防の放送 児童安全点検	むし歯予防の呼び かけ(標語) 安全ニュース作成	夏休みの生活のしか た	けがの予防の呼 びかけ	児童安全点検	心の健康ニ ュー ス作成	感染症予防の呼 びかけ(換気・ 手洗い・うが い)	感染症予防の呼 びかけ(換気・ 手洗い・うが い)	感染症予防の呼 びかけ(換気・ 手洗い・うが い)	後期活動の反省 次年度の計画	

学校教育目標	
自らの人生を切り拓く生きる力の育成 生き生き、はまっ子 考動する子 協働する子 探究する子 フェーズ2	

学校経営方針（保健安全に関するもののみ）	
安全・安心な学校「心の力・体力を高める」	

学校保健目標	
<ul style="list-style-type: none"> 自分の健康に関心を持ち、健康課題を自ら解決していく資質や能力及び適切に行動できる実践力を養い、健康の保持増進に努める子の育成 生きる力の基盤として健康や体力及び豊かな情操と安定した心情を持つ子の育成 	

重点目標	
<ul style="list-style-type: none"> 食事と睡眠、メディアコントロールに関する指導の充実を図る。 個別指導が必要な児童を把握し、連携して指導の充実を図る。 	

児童生徒の主な健康課題	
<p>◇R8.2のはまっ子生活習慣アンケートでは、8割以上基本的な生活習慣が身につけている結果であったが、平日のメディア使用時間3時間以上15%、肥満傾向児童が9%と、個別指導が必要な児童が一定数いる。</p> <p>◇生活習慣アンケートより健康に関することで知りたいことに、体の発育発達(身長、筋肉、運動能力)20%、病気の子供28%と回答している。</p>	

到達度： 1よくできた 2ほぼできた 3あまりできなかった 4全くできなかった

経営目標 保健室	保健室経営目標達成のための具体的な方策 (※評価の観点)	自己評価			他者評価				
		到達度	向けて 今後理由		いつ	誰から	方法	到達度	助言等 意見
基本的な生活習慣及び体の発育発達に関する指導の充実を図る	A) 校内組織(担任・管理職など)と定期的に児童の情報を共有して、組織的に対応できるようにする。 ※定期的に情報を共有して、組織的に対応できたか。	1 2 3 4			年度末	教職員	記録・聞き取り	1 2 3 4	
	B) 生活チェックを定期的実施し、個別の課題を把握し、指導に生かす。 ※個別の課題を把握できたか。 ※指導に生かすことができたか。	1 2 3 4			学期末	教職員	聞き取り	1 2 3 4	
	C) 身体測定の結果から、肥満等の実態を把握し、結果を教職員や保護者に周知する。 ※身体測定の結果を教職員や保護者へ周知できたか。	1 2 3 4			学期末	教職員	記録・聞き取り	1 2 3 4	
	D) 児童保健委員会において、生活習慣をテーマに取り組み、児童集会で働きかけるように指導する。 ※児童保健委員会において、児童集会で発表できるよう指導できたか。	1 2 3 4			6月・1月	児童・教職員	聞き取り	1 2 3 4	
保健室経営目標に対する総合評価					1	2	3	4	
総評と次年度への課題									

(5) 安全衛生委員会年間計画

七尾市立田鶴浜小学校

時期	項 目	備 考
1 学期	<p>◎安全衛生委員会の開催</p> <p>○労働時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最終退校時刻の設定 ・ C4th出退勤入力 ・ 本校の課題や目標について職員と共有化 ・ 月行事予定をもとに終業時刻を計画（18:30） ・ 2週間後毎に点検・指導 ・ 月末に市教育委員会に報告 <p>○環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 器具（裁断機など）、危険な箇所、冷暖房器具等の点検 ・ 器具扱いの注意喚起 <p>○ヒヤリハット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヒヤリハットに該当する事例の拾い上げ <p>○職員健康診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診断受診の確認（人間ドック含む） ・ 年休者、出張者等の配慮 	<p>*年休の 計画的行使</p> <p>*X線検査報告</p>
2 学期	<p>◎安全衛生委員会の開催</p> <p>○労働時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勤務時間記録用紙表に記載 ・ 本校の課題や目標について職員と共有化を図る ・ 月行事予定をもとに、終業時刻を計画（18:30） ・ 2週間後毎に点検・指導 ・ 月末に市教育委員会に報告 <p>○環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明、器具（裁断機など）、危険な箇所等の継続的な点検及び改善 <p>○ヒヤリハット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヒヤリハットに該当する事例の分析及び予想される事故についての研修会 <p>○職員健康診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診断結果への措置 （要精検者への二次検査を勧めるなど） 	<p>*年休の 計画的行使</p> <p>*健康診断について市教委へ最終報告</p> <p>*X線検査報告</p>
3 学期	<p>◎安全衛生委員会の開催</p> <p>※総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 労働時間及び環境の改善とヒヤリハットについて ・ 健康の保持増進について 	<p>*X線検査報告</p>



III 8 人権教育計画

(1) 人権教育目標・人権教育全体計画

学校の教育目標めざす児童像

- ・世界人権宣言
- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・人権教育啓発に関する基本計画
- ・石川の教育振興基本計画

自らの人生を切り拓く生きる力の育成 生き生き、はまっ子 考動する子 協働する子 探究する子 フェーズ2

【めざす児童像】

「自分が好き、友達が好き、学校が好き、田鶴浜が好き」
「好き」を育み、「得意」を伸ばす

<人権教育の目標>

「はまっ子」の一人一人が人間尊重の精神に基づき、ともに大切にされ生かされる人間関係の育成
児童が、発達段階に応じ、人権の意義・内容等について理解するとともに、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、差別しない、差別を許さない心と実践力をもった子どもを育成する。

生徒指導

- ・月の生活目標との関連
- ・基本的な生活習慣の徹底
- ・学習ルールの確立
- ・助け合い・協力の指導
- ・相互尊重と思いやりの指導
- ・いじめ防止指導の充実、アンケート
- ・人権週間

保健指導

自分の健康状態を知り、健康な体作りのために必要なことを実践できる態度を育てる。

教員研修

教職員の自らの人権意識・人権感覚の高揚に努める。
人権が尊重される学校・学級をつくるための活動を行う。

各学年の目標と重点

低学年 友だちと仲よくする
(知識) 自分のことを知り、自分の生活と地域のつながりを知る。
(技能) 自分の気持ちや思いを適切に表現することができる。
(態度) 自分や友だちの個性や良さを認めようとする。

中学年 相手の良さを見つける
(知識) いじめ等、身近な人権侵害に気づき、人権を守る事の大切さを知る。
(技能) お互いの違いを認め、受け入れることができる。
(態度) 自分や友だちを大切に思い、尊重しようとする。

高学年 相手の立場を認め思いやる
(知識) 命の尊さやお互いの人権を尊重し合うことの大切さを知る。
(技能) 生活の中にある課題や対立を互いに協力して解決することができる。
(態度) 生活の中にある課題や問題を協力して解決し、生活をよりよくしようとする。

家庭・地域との連携

- ・家庭および地域における人権感覚の育成
- ア 学校便り
- イ 学年通信
- ウ 学級通信
- エ 生徒指導便り
- オ 授業や行事の公開
- カ 共同で取り組む活動
- キ 道徳便り

幼保小中の連携

- ・授業参観、保育参観
- ・新1年生を迎える会での交流
- ・小中交流事業

学級経営

自他のよさや個性を尊重し、お互いにみとめ合い助け合い高め合いながら協働する学級

各教科等における目標

国語	言語感覚を養い、正確な読解力と豊かな表現力を培い、他人を思いやる心情を育てる。
社会	民主的な社会の一員としてのものの見方や考え方を培い、国民としての自覚をもち、国際社会に貢献しようとする態度を養う。
算数	論理的なものの考え方を通して、物事に対して合理的に追究していく態度を育てる。
理科	自然のあり方について調べることを通して、自然の不思議さに気づき、自然に親しもうとする態度を養う。
生活	具体的な活動や体験を通して、身近な社会や自然に気づき、必要な技能や習慣を身につけさせ、自立への基礎を養う。
音楽	音楽の美しさ、楽しさを感じ取る心を養い、豊かな情操を培う。
図工	造形表現や鑑賞を通して、豊かな情操を培う。
家庭	家庭生活についての理解を深め、家族の一員としてよりよい生活を築こうとする心情を育てる。
体育	健康安全について理解し、運動を楽しむとともに体力の向上を図り、お互いに励まし助け合う態度を養う。
道徳	人権尊重の心情を育成する。基本的な生活習慣を確立し、節度ある生活をしようとする態度を育てる。
総合	地域や生活に根ざした学習を通して、自分や友だち、地域を愛することができる子を育てる。
外国語活動 外国語	積極的なコミュニケーション能力、言語と文化を尊重しようとする心情を育てる。
特別活動	児童活動・学校行事・学級指導を軸にして、集団の一員としての自覚を深め、協力して生活の向上を目指そうとする自主的実践の態度を育てる。

個別的な人権課題への取組

個別的な人権課題への取組	
課題	取組
男女	・学級活動や委員会活動、クラブ活動、縦割り班活動では、男女混合のグループ作りをする。様々な活動を通して、男女が互いに思いやり、特性を生かして協力することの大切さを理解させる。
子ども	・いじめに関する標語・人権作文の作成、人権教室など、いじめを許さない啓発活動 ・環境活動や自然体験等を通して「自己有用感」を育てる。
高齢者	・高齢者や障害のある人への理解を深める。 ・「鶴友苑」や「エレガンテ田鶴浜」の職員の方の出前授業と施設へ訪問する。
障害のある人	・障害のある人の気持ちを知る。 ・石川県立田鶴浜高等学校の出前授業で車いす等の体験活動をする。
外国人	・外国語の学習などを通して、外国の文化や習慣に触れる機会を増やす。
インターネットによる人権侵害と個人情報保護	・インターネットの正しい使い方について計画的に学習する。 ・個人情報の取り扱いに関する基本的人権について学習する。
その他の人権	・児童一人ひとりが、各教科や特別活動を通して、人として調和のとれた成長を成し遂げられるよう、生命を尊重する心、自分・他の人を大切に作る心など、心豊かな人間性を培うために人権に関する学習をする。 ・ふわふわ言葉の唱和、「自分に金メダル」、「ありがとうボックス」の設置

(2) 人権教育年間指導計画

① 学年別指導計画

	1 学期	2 学期	3 学期
一年	どうぞ よろしく (国語) がっこうだいすき (生活) はくにのってリズムをうとう (音楽) ありがとう (道徳)	しげいな 見せいな (国語) はしの上のおおかみ (道徳) かずやくんのなみだ (道徳) いろいろなひとにかんしゃしよう (学活)	やめろよ (道徳) あなたってどんな人? (道徳)
二年	ともだちは どこかな (国語) ありがとうって言われたよ (道徳) およげないりすさん (道徳)	くりのみ (道徳) 友だちのよいところを (道徳) しょうかいしよう (学活)	ぐみの木と小鳥 (道徳) ある日のくつばこで (道徳) あしたへジャンプ (生活) ・すてきなところを教え合おう ・大きな自分のことをふりかえろう 1年間をふりかえって (学活)
三年	さと子の落とし物 (道徳) おじいちゃんとの楽しみ (道徳) 友だちのよいところ (学活) もっと知りたい、友だちのこと (国語) 心をしずめて (道徳) みんな友だち (学活)	わたしと小鳥とすずと (国語) バスの中で (道徳) 同じなかまだから (道徳)	たつきゅうは四人まで (道徳) 気持ちよい言葉づかい (学活)
四年	ちこく (道徳) 一つの花 (国語) 決めつけしないで (道徳) 大きくなってきたわたし (保健)	学級オリンピックをしよう (学活) いじりといじめ (道徳) クラスみんなで決めるには (国語) 思春期にあらわれる変化 (保健)	よりよく育つための生活 (保健)
五年	のび太に学ぼう (道徳) 漫画家手塚治虫 (道徳) 友だちと仲よく (学活) 名前を使って、自己しょうかい (国語)	折れたタワー (道徳) よりよい学校生活のために (道徳) やなせたかし-アンパンマンの勇氣 (国語)	すれ違い (道徳) うばわれた自由 (道徳) かぜのでんわ (道徳) 人の誕生 (理科)
六年	帰り道 (国語) 心づかいと思いやり (道徳) ほんとうのことだけど (道徳) それじゃダメじゃん (道徳)	みんな楽しくすごすために (国語) ロレンゾの友達 (道徳) 杉原千畝-大勢の人の命を守った (道徳) 外交官- (道徳)	わたしのせいじゃない (道徳) ブランコ乗りとピエロ (道徳) 感謝を込めて (学活)

② 教職員研修計画

1 学期	2 学期	3 学期
人権についての情報を収集して、分析・点検をする。	各教科との関連をもたせながら、指導の方向性を話し合い実現する。	今年度の研修の反省、および次年度の人権教育の取り組みについて話し合う。

(2) 人権教育年間指導計画

① 学年別指導計画

第1学年

[低学年重点目標] 友だちと仲よくする	道徳教育の低学年重点項目【友情、信頼】友達と仲良くし、助け合うこと
	① 単元で扱う人権課題 ★重点的に扱う個別的な人権課題（男女・いじめ・高齢者・障害者）

	各教科	生活科	道徳	特別活動	行事・その他	振り返り
4月	国 どうぞよろしく なんていおうかな 図 すきなもののなまえ	がっこうたいすき	ありがとう【友情、信頼】	1年生ひなまつり	入学式 よろしくね集会	
5月	国 はなのみち	がっこうたいすき わたしのはなをそだてよう			運動会 バスマス遠足	
6月	国 よくきいてはなそう① 音 はくにのってリズムを うとう【友情、信頼】 体 リズム遊び 表現遊び	なつとなかよし	なかよし【友情、信頼】			
7月	国 すきなことなまえに① 個人の尊重	なつとなかよし	ついで①生命尊重 がっこうへいくとき①国際理解	ともだちに感謝しよう		
9月	図 いっしょにおさんぽ 体 ハードシレリレー	生き物大すき ①生命尊重		ともだちのことを知ろう①個人の尊重		
10月	国 しらせたいな みせたいな 体 ボール投げゲーム【友情、信頼】	あきとなかよし【友情、信頼】	かずやくんのなみだ★いじめ はしのうえのおおかみ			
11月	音 がつきどなめよくならう 体 ボール投げゲーム	じぶんでチャレンジ 大きくせん	わたしがはねえさんよ①生命尊重 二おのことり① 平和	言われていやな言葉・うれしい言葉★ いじめ いろいろなひとにかんじやしよう		
12月	体 リズム遊び 表現遊び		ぼくたちかたたたきたい	おたのしみ会をしよう	はまつ子音楽会	
1月	体 多様な動きをつくる運動遊び	ふゆとなかよし	やめろよ★いじめ	気もちのいいあいさつをしよう 自分のことをふりかえろう①個人の尊重		
2月	国 どうぶつの赤ちゃん① 生命尊重 音 みんなであわせたのしもう【友情、信頼】	もうすく2ねんせい	あなたってどんな人？①偏見・差別	おつかい会を計画しよう	そり活動 なわとび集会 6年生を送る会	
3月	国 いいこといっぱい1ねんせい		花のかめむり ハムスターの赤ちゃん①生命尊重	1年間をふりかえって①個人の尊重	卒業式	

② 教職員研修計画

1 学期	2 学期	3 学期
人権についての情報を収集して、分析・点検をする。	各教科との関連をもたせながら、指導の方向性を話し合い実現する。	今年度の研修の反省、および来年度の人権教育の取り組みについて話し合う。

第2学年 人権教育年間指導計画

【低学年重点目標】 友だちと仲よくする	道徳教育の低学年重点項目 【友情、信頼】 友達と仲よくし、助け合うこと。
	①単元で扱う人権課題 ★重点的に扱う個別的な人権課題（男女・いじめ・高齢者・障害者）

	各教科	生活科	道徳	特別活動	行事・その他	振り返り
4月	国 ふきのとう① 生命の尊重 国 ともだちはどこかな【友情、信頼】	春だ今日から2年生① 生命の尊重	大きくなったね① 生命の尊重	縦割り班活動をがんばろう	入学式 よろしくね集会	
5月	国 たんぼのちえ① 生命の尊重 体 かけっこ・リレー遊び	ぐんぐんそだてわたしの野さい① 生命の尊重	ありがとうって言われたよ		運動会 バス遠足	
6月	国 スイミー 音 はくやドレミとなかよし 体 ボールけりゲーム	生きものなかよし大きくせん	およげないりすさん★ いじめ 三びきは友だち★ いじめ			
7月	体 水遊び		タヒチからの友だち① 国際理解	お楽しみ会をしよう		
9月	国 どうぶつ園のじゅうい① 生命の尊重 体 ハードルリレー	うごくうごくわたしのおもちゃ	花火にこめられたねがい① 平和 いいところみつけた【個性の伸長】	友だちとなかよくしよう		
10月	国 お手紙 体 ボール遊び					
11月	体 ボール投げ遊び		くりのみ おばあちゃん お元気ですか ★高齢者 やくそく① 生命の尊重	友だちのよいところをしょうかいしよう【友情、信頼】		
12月	図 まどをあけたら			お楽しみ会をしよう	はまっ子音楽会	
1月	音 音楽の流れ 図 思い出を形に	あしたヘジヤンプ	ぐみの木と小鳥【友情、信頼】 ある日のくつばこで			
2月	国 スーホの白い馬① 生命の尊重・国際理解 音 みんなの音楽	あしたヘジヤンプ		6年生ありがとうのじゅんぴをしよう	そり活動 なわとび集会 6年生を送る会	
3月	国 すてきなところをつたえよう 図 ともだち見つけた	あしたヘジヤンプ	生きているから① 生命の尊重	おわかれ会をしよう	卒業式	

②教職員研修計画

1学期	2学期	3学期
人権についての情報を収集して、分析・点検をする。	各教科との関連をもたせながら、指導の方向性を話し合い実現する。	今年度の研修の反省、および来年の人権教育の取り組みについて話し合う。

第3学年 人権教育年間指導計画

[中学年重点目標] 相手の良さを見つける	道徳教育の中学年重点項目【友情、信頼】友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと
	①単元で扱う人権課題 ★重点的に扱う個別的な人権課題（男女・いじめ・高齢者・障害者）

	各教科	道徳	特別活動	行事・その他	振り返り
4月	国よく聞いて、じこしょうかい 人権の尊重 理たねをまき ①生命の尊重	おじいちゃんとの楽しみ ★高齢者	先生ってどんな人	入学式 よろしくね集会	
5月	国もっと知りたい、友だちのこと 人権の尊重 理チョウを育てよう ①生命の尊重	さと子の落とし物【友情、信頼】 心をしずめて		運動会 バス遠足	
6月	国気持ちをこめて「来てください」 社・総はたらく人とわたしたちの暮らし（農家の仕事）				
7月	社・総はたらく人とわたしたちの暮らし（農家の仕事） 理花がさいたよ ①生命の尊重	同じ小学校でも ①【国際理解】	友だちのよいところ みんな友だち		
9月	国わたしと小鳥とすずと 国ちいちゃんのかげおくり 社店ではたらく人 図あの日あの時の気持ち ①国際理解				
10月	国ちいちゃんのかげおくり 社店ではたらく人	お父さんからの手紙 ①【生命尊重】 同じなかまだから★いじめ バスの中で			
11月	社店ではたらく人 社火事からくらしを守る 体ラインサッカー		気持ちのよいあいさつ 校内をきれいにしよう		
12月	社火事からくらしを守る			はまっ子音楽会	
1月		いちばんうれしいこと ぼくのボールだ★いじめ			
2月	体ポートボール	たつきゅうは四人まで	気持ちのよい言葉づかい	スキー活動 なわとび集会 6年生を送る会	
3月			感謝の気持ちをもとう	卒業式	

②教職員研修計画

1学期	2学期	3学期
人権についての情報を収集して、分析・点検をする。	各教科との関連をもたせながら、指導の方向性を話し合い実現する。	今年度の研修の反省、および来年の人権教育の取り組みについて話し合う。

第4学年 人権教育年間指導計画

【中学年重点目標】 相手の良さを見つける	道徳教育の中学年重点項目【友情、信頼】友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと
	①単元で扱う人権課題 ★重点的に扱う個別的人権課題（男女・いじめ・高齢者・障害者）

	各教科・総合	道徳	特別活動	行事・その他	振り返り
4月	総福祉って何だろう？★障害のある人、高齢者	あなたの時間 いのちをふきこめば①生命尊重	学級のめあてと目標を決めよう	入学式 よろしくね集会	
5月	国思いやりのデザイン アップとルーズで伝える	海をこえて①国際理解		運動会 バス遠足	
6月	国一つの花①平和 体育ちゆくわたしたちの体 ★男女	ちこく★いじめ 決めつけないで いのりの手【友情、信頼】			
7月	算考える力をのばそう 体大きくなってきたわたし ★男女				
9月	社自然災害・地震からくらしを守る①生命尊重 体よりよく育つための生活 ★男女 総福祉に携わる人々の工夫を調べよう！ ★障害のある人、高齢者		学級オリンピックをしよう ★男女		
10月	国クラスみんなで決めるには①個人の尊重	いじりといじめ ★いじめ つくればいいでしょ			
11月	図おもしろ段ボールボックス ①個人の尊重	ヒキガエルとロバ ①生命尊重			
12月	国友情のかべ新聞【友情、信頼】	心と心のあくしゅ	お楽しみ会の計画を立てよう	はまっ子音楽会	
1月	社特色ある地いきと人々のくらし 総自分たちにできることは何だろう★障害者・高齢者			スキー活動	
2月		メニューにない料理		なわとび集会 6年生を送る会	
3月	算考える力をのばそう 理生き物の1年をふり返って①生命尊重 国スワンレイクのほとりで【友情、信頼】	かわいそうなぞう ①生命尊重	お別れ会の計画を立てよう お別れ会をしよう	卒業式	

②教職員研修計画

1学期	2学期	3学期
人権についての情報を収集して、分析・点検をする。	各教科との関連をもたせながら、指導の方向性を話し合い実現する。	今年度の研修の反省、および来年の人権教育の取り組みについて話し合う。

第5学年 人権教育年間指導計画

[高学年重点目標] 相手の立場を認め思いやる	道徳教育の高学年重点項目 【よりよい学校生活、集団生活の充実】
	①単元で扱う人権課題 ★重点的に扱う個別的な人権課題（男女・いじめ・高齢者・障害者）

	各教科・総合	道徳	特別活動	行事・その他	振り返り
4月	国 名前をつかって自己紹介①人権の尊重 家 私生活再発見・クッキング★男女	のび太に学ぼう	みんな仲良く 縦割り班	入学式 よろしくね集会	
5月	体 ソフトバレーボール 保 心の健康 理 植物の発芽と成長 ①生命の尊重	マンガ家 手塚治虫 やさしいユウちゃん		運動会 バス遠足	
6月	理 魚のたんじょう① 生命の尊重				
7月	家 できるよ、家庭の仕事★男女平等	母さんの歌①平和	友達と仲よく		
9月	理 花から実へ①生命の尊重	真由、班長になる【より良い学校生活、集団生活の充実】			
10月	国 よりよい学校生活のために【より良い学校生活、集団生活の充実】	名前のない手紙★いじめ 折れたタワー★いじめ			
11月			係の頑張り発表会をしよう 【より良い学校生活、集団生活の充実】		
12月	国 やなせたかし①個人の尊重 体 バスケットボール	うばわれた自由①個人の尊重		はまっ子音楽会	
1月	理 人のたんじょう①生命の尊重 体 タグラグビー	すれちがい	6年生を送る会を計画しよう	スキー活動	
2月		知らない間のできごと ①★ネットいじめ マインツからの便り ①国際理解	6年生を送る会をもちあげよう	なわとび集会 6年生を送る会	
3月	理 環境を守るわたしたち①偏見・差別 家 いっしょにほっとタイム★男女	これって不公平？★ 男女・いじめ・障害者	卒業式を成功させよう	卒業式	

②教職員研修計画

1学期	2学期	3学期
人権についての情報を収集して、分析・点検をする。	各教科との関連をもたせながら、指導の方向性を話し合い実現する。	今年度の研修の反省、および来年の人権教育の取り組みについて話し合う。

第6学年 人権教育年間指導計画

[高学年重点目標] 相手の立場を認め思いやる	道徳教育の高学年重点項目【よりよい学校生活、集団生活の充実】
	①単元で扱う人権課題 ★重点的に扱う個別的な人権課題（男女・いじめ・高齢者・障害者）

	各教科	総合	道徳	特別活動	行事・その他	振り返り	
4月	国 帰り道 体 リレー★男女 社 わたしたちの くらしと日本 国憲法 ①個人の尊重	地域の伝統文 化について調 べよう ①生命尊重	ほんとうのこと だけど①個人の 尊重 それじゃダメじ ゃん スポーツの力 ★障害者		入学式 よろしくね集会		
5月	国 聞いて考えを 深めよう 社 国の政治のし くみと選挙 ①男女平等	↓	心づかいと思 いやり 命のアサガオ ①生命尊重	運動会での役割 を考えよう①男 女	運動会 バス遠足		
6月	理 生き物どうし のかかわり ①生命尊重						
7月	理 生き物どうし のかかわり ①生命尊重 保 感染症の予防 ★偏見			トキが舞う空を 願って ①生命尊重			
9月	国 せんねんまん ねん ①生命尊重		地域の伝統文 化について調べ たことを他学年 や地域の人たち に広めよう	ロレンゾの友達 ★国際交流			
10月	国 みんなで楽し く過ごすために	①生命尊重	ぼくだって ①個人の尊重				
11月	社 明治の国づく りを進めた 人々 ①差別	↓	エルトゥール号 ①国際理解 杉原千畝 ①個人の尊重				
12月	社 世界に歩みだ した日本 ①国際理解					はまっ子音楽会	
1月	社 長く続いた戦 争と人々の暮 らし ①平和	後輩に引き継 ぎ地域の人へ 手紙を書こう ①生命尊重	ブランコ乗りと ピエロ①個人の 尊重		スキー活動		
2月	社 新しい日本、 平和な日本へ ①平和 学 感謝を込めて	↓	わたしのせいじ ゃない ①個人の尊重 ★いじめ	ここが成長でき ましたベスト1 0を決めよう① 個人の尊重	なわとび集会 6年生を送る会		
3月	体 フォークダン ス ★男女・いじめ					卒業式	

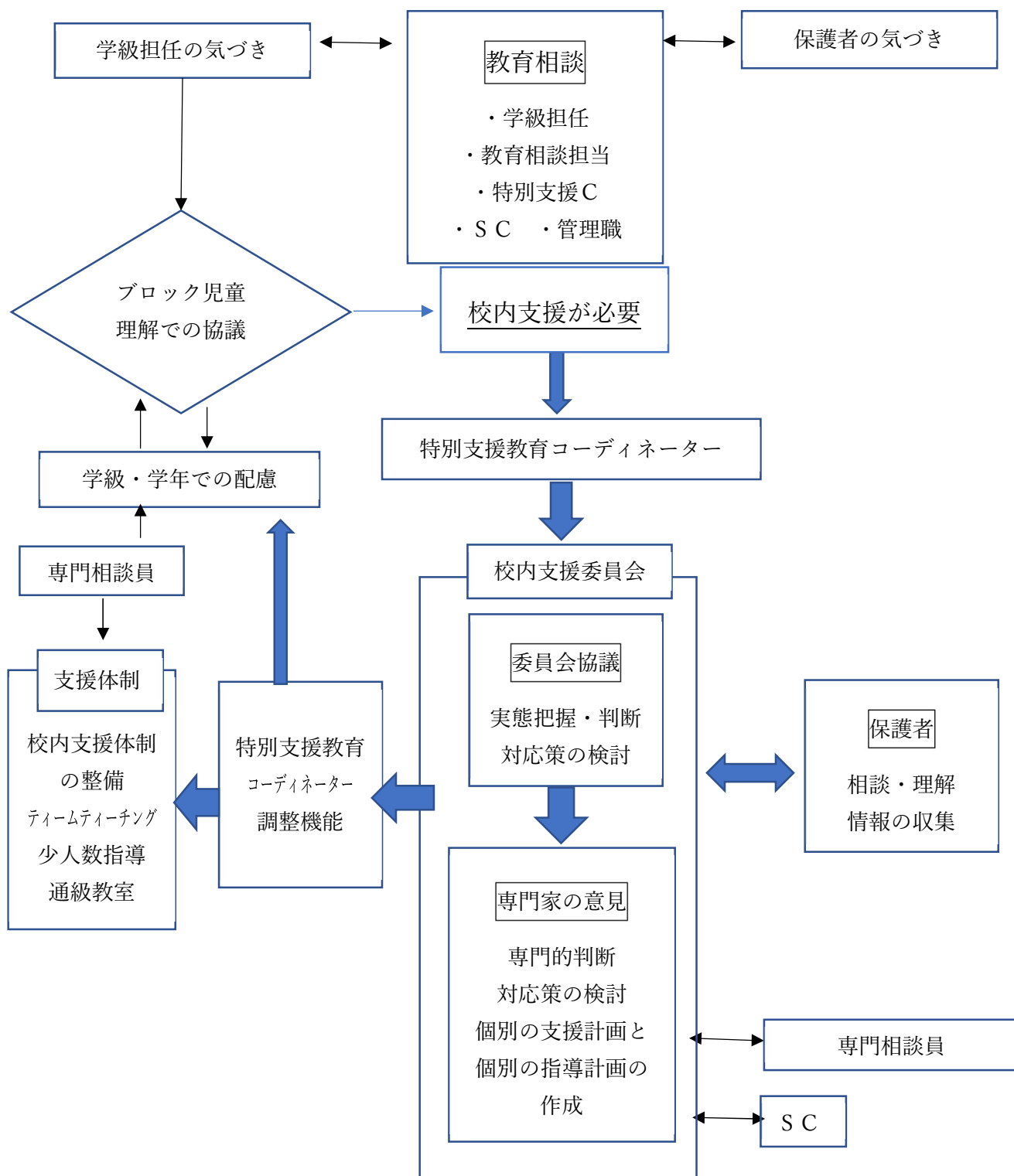
②教職員研修計画

1学期	2学期	3学期
人権についての情報を収集し て、分析・点検をする。	各教科との関連をもたせなが ら、指導の方向性を話し合い実現 する。	今年度の研修の反省、および来 年の人権教育の取り組みについ て話し合う。

9 特別支援教育全体計画 (1) (2)

<p><児童の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動的で素直な児童が多い。 ・だれにでも、やさしく接することができる。 <p><地域・保護者の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や保護者の協力体制が整っている。 	<p>学校教育目標</p> <p>自らの人生を切り拓く 生きる力の育成</p> <p>生き生き、はまっ子 考動する子 協働する子 探究する子</p> <p>【目指す児童像】 自分が好き、友達が好き、 学校が好き、田鶴浜が好き フェーズ2</p>	<p><関連する法規></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法学校教育法施行規則 ・発達障害者支援法 ・障害者差別解消法 ・学習指導要領 ・石川の教育基本振興計画 ・七尾市教育大綱
<p>特別支援教育の重点目標</p> <p>○多面的な視点で児童の状況を把握するために教職員の情報交換を密にするとともに、共通認識を深め全職員で対応する。 ○担任だけが抱えるのではなく、全職員で校内委員会を組織し、個に応じた適切な支援の在り方を工夫する。 ○インクルーシブ教育システムの理念に基づき、「合理的配慮」の充実を図る。</p>	<p>特別支援教育の目標</p> <p>○OLD、ADHD、高機能自閉症も含め、生活や学習における困難を抱える児童に対して、一人一人の教育ニーズを把握し、児童の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う。 ○共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の充実を図る。</p>	<p><石川県の特別支援教育の方針></p> <p>○特別支援学級の児童はもとより、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童の視点にたつて、一人一人のニーズを把握し、必要な支援を行い、障害のある児童の自立と社会参加に向けた教育のさらなる充実に努める。</p> <p><市の特別支援教育方針></p> <p>○「共生社会」の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進する。 ○それぞれの子供が、授業内容を理解し、学習活動に参加している実感達成感を持ちながら充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付ける。</p>
<p>重点目標</p> <p>○学習と集団行動のつまづきや困難などを抱える児童の実態を正確に把握する。 ○個の特性を把握し、円滑な人間関係を築くための基本的な力を着実につける。</p>	<p>指導・支援の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会で、児童の現状と課題及び具体的な取組みや指導方針について話し合う。 ・個別の支援計画を見直し、活用する。 	<p>校内委員会</p> <p><特別支援教育校内委員会> 校長、教頭、教務、特別支援教育コーディネーター、生徒指導主事、保健主事、養護教諭、特別支援学級・該当学級担任</p> <p><適正就学指導委員会> 校長、教頭、教務、特別支援教育コーディネーター、生徒指導主事、保健主事、養護教諭、該当学級担任</p>
<p>特別支援学級</p> <p><知的></p> <p>○具体物による操作・体験活動を多く取り入れ、繰り返し練習することで、基本的な学力の定着を図る。</p> <p><自閉症・情緒></p> <p>○生活上の課題に沿った体験的な活動を通して生活に生きて働く力を身に付ける。</p>	<p><知的></p> <p>・学習にゲームの要素や具現物や体験活動を取り入れるなど、興味関心をもって繰り返し学習ができるように活動や教材・教具を工夫する。</p> <p><自閉症・情緒></p> <p>・自立活動で、体験的な活動を行い、社会経験を広め、円滑な人間関係を結ぶことができるようにする。</p>	<p>1 相談支援及び校内研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童や保護者の悩みの早期把握と教育相談の実施 ・特別支援学級の授業研究を支える「チーム支援」 ・専門機関との連携を生かした、外部講師による研修(研修会・ケース会議の実施) ・専門相談員による担任・保護者との教育相談の実施 <p>2 個に応じた指導及び支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育的ニーズのある児童の実態把握を生かした個別の教育支援計画・指導計画の作成 ・個別の教育支援計画・指導計画を活用した、日常での適切な指導及び支援の在り方 ・通常及び特別支援学級、通級指導教室における個別指導の交流 ・個別の教育支援計画・指導計画を活用した学校内外の情報共有と連続した引き継ぎ
<p>通級指導教室</p> <p>○子どもの自立を目指し、学習面や生活面における困難を主体的に改善克服するために必要な知識、技能、態度、及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を養う。</p>	<p>・障害による学習面や生活面における困難の改善克服に向けた指導をする。</p> <p>・本人の思いや願いに寄り添いながら、安心感や達成感を持たせ自己肯定感を高める。</p> <p>通級実施日は月(午前)、火・木(1日)</p>	<p>3 就学指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園との連携を生かした就学前の児童の実態や支援に関する情報共有(こども園訪問、こども園小学校連絡会等) ・学校行事や児童会行事等における、双方のねらいを明確にした、計画的な交流の実施 ・就学前の学校見学、懇談等での就学指導 <p>4 交流及び共同学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校や昼休みの遊び、食堂での給食等、日常生活における交流の位置づけ ・学校行事や児童会行事等における、双方のねらいを明確にした、計画的な交流及び共同学習の実施 ・生活科や総合的な学習の時間、音楽や体育等の教科の共同学習の充実
<p>交流及び共同学習</p> <p>○特別支援学級では、仲間の中で自分を表現し仲よく活動する。 ○通常学級では、障害のある児童に対する理解を深め、学級の仲間として認め合う温かい人間関係をつくる。</p>	<p>【昼休み、給食等の日常生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校や休み時間の遊び、給食等、日常生活で交流する。 <p>【学校行事・児童会行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校児童と共に活動する中で、互いの理解を深め、充実感を味わう。 <p>【クラブ・委員会活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自の特性を踏まえて所属を決定し、仲間と協力して活動する。 ・異学年縦割り集団の活動 <p>【異学年の仲間と、互いの理解を深め、思いやりをもって活動する。】</p> <p>【交流学級との共同学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態を踏まえた学級・学年活動を行い、生活科や総合的な学習の時間、音楽や体育等の教科で共同学習を実施する。 	<p>家庭・関係諸機関・地域社会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターが窓口となり、通常の学級を含まれた保護者との相談活動の充実を目指す。 ・連絡帳、電話、懇談、家庭訪問、通信、授業参観等を通して家庭や地域と情報を共有化し、理解や協力を得て、共に育てる体制づくりを進める。 ・医療及び治療機関、保健センター、こども園、中学校等、関係諸機関と連携する。 ・校外学習(買い物、社会見学、市内小中学校の特別支援学級及び特別支援学校との交流学習)等で、地域の人達と交流する。

(4) 特別支援教育校内支援体制



(5) 令和8年度 通級指導教室経営計画

七尾市立田鶴浜小学校

学校教育目標 自らの人生を切り拓く生きる力の育成
～「生き生き、はまっ子 考動する子 協働する子 探究する子」フェーズ2～

1 目標

障害による学習上・生活上の困難さを減らすための手立てを知るとともに、自分で援助要求できる児童を育てる。

2 方針

- 学びやすい環境づくり（学習に応じて教室を区分し、整然とした環境をつくる。）
- 個々の特性に応じた指導の工夫（通級で学んだことが実生活で活用できるよう指導する。）
- 担任・保護者・関連機関との連携（つきたい力を共通理解し、各方面から支援する。）
- 専門性の向上（専門性を身に付け、児童の実態把握や指導技術の向上に努める。）

3 指導内容

- 社会性の発達に課題が見られる児童、対人関係が難しい児童、基本的な生活習慣が確立しにくい児童などの異なる状態に応じて目標を定め、児童の興味関心領域を中心とした自立活動を行う。
 - ・基本的な生活習慣の育成・・・・・・・・生活リズム・活動のパターンを身に付ける。
 - ・対人関係の育成と拡大・・・・・・・・遊び等を通して人とかかわる楽しさを味わう。
 - ・生活経験の拡大と促進・・・・・・・・個々の認知特性から活動しやすくなる方法を見つける。
様々な活動を体験する機会を作り、興味関心の幅を広げる。
 - ・社会的な技能の育成・・・・・・・・ルールや決まりを守り、折り合いをつけながら活動する。
 - ・認知能力の向上・・・・・・・・課題学習や遊びを通して見る力・聞く力を高める。
 - ・体力の増強と運動能力の向上・・・・体全体を使う運動・手先の巧緻性を高めるトレーニング等を通していろいろな運動の力を身に付ける。
 - ・言語発達の促進・・・・・・・・楽しくやりとりする場面を作り、理解や表現の力を高める。
 - ・情緒的な安定と対人関係の改善・・・・個々の特性に応じた心の緊張や不安軽減の方法を知る。
- 保護者と連携し、将来像を見据えながら課題を共有し、児童の行動の捉え方やより良い関わり方等について話し合う。

4 指導形態

- 個別指導、小グループ指導

5 年間計画

月	校 内	保 護 者
4	<input type="checkbox"/> 校内研修（通級について） <input type="checkbox"/> 担任・保護者・関連機関との連携 <input type="checkbox"/> 教室環境整備 <input type="checkbox"/> 通級時間割作成 <input type="checkbox"/> 通信・名簿作成 <input type="checkbox"/> 通級指導記録作成 <input type="checkbox"/> 通常学級内での実態観察 <input type="checkbox"/> 通級開始（継続）	<input type="checkbox"/> 面談 <input type="checkbox"/> 教育相談 （随時）
5	<input type="checkbox"/> 通級指導教室の教育課程届出 <input type="checkbox"/> 通級開始（新規） <input type="checkbox"/> 担任打合せ	
6	<input type="checkbox"/> 担任打合せ	
7	<input type="checkbox"/> 指導記録（1学期） <input type="checkbox"/> 担任打合せ	<input type="checkbox"/> 面談
8	<input type="checkbox"/> 校内研修 <input type="checkbox"/> 指導内容の検討・修正	
9	<input type="checkbox"/> 担任打合せ	
10	<input type="checkbox"/> 担任打合せ	<input type="checkbox"/> 継続確認
11	<input type="checkbox"/> 担任打合せ	
12	<input type="checkbox"/> 指導記録（2学期） <input type="checkbox"/> 担任打合せ <input type="checkbox"/> 指導内容の検討・修正	<input type="checkbox"/> 面談
1	<input type="checkbox"/> 担任打合せ	
2	<input type="checkbox"/> 担任打合せ	
3	<input type="checkbox"/> 指導記録（3学期） <input type="checkbox"/> 担任打合せ <input type="checkbox"/> 要録記入 <input type="checkbox"/> 引継ぎ	

IV キャリア教育指導計画

1 指導目標

- 将来の夢や目標をもつ児童
- 自己肯定感や自己有用感をもつ児童
- 自他のよさや個性を尊重する児童

2 指導方針

- 児童に将来の夢や目標、高い志や意欲をもたせ、「学びの目的意識」を高めていく。
- 児童に自己有用感や自己肯定感をもたせ、自信をもち、何事にも取り組む児童を育てる。
- 学ぶこと、働くこと、自分の役割や責任を果たすことの大切さに気付かせ、自立した人間としての成長を促す。

3 指導実施方法

○キャリアパスポートの実践

- ・各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語、特別活動等との関連を図った教育課程を編成する。
- ・ふるさと七尾の学び（校外学習や体験学習）等、地域と連携した活動を通して、人、こと、ものと触れ合う学習を推進する。

○生徒指導の4視点を意識した授業の実践、安全・安心で安定した学級づくり

- ・生徒指導の4視点（自己有用感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を生かした授業実践を行う。
- ・児童の努力の足跡等を学級掲示や学校掲示で可視化する。

七尾市立田鶴浜小学校

第1・2学年 キャリア教育年間指導計画

1 目標 将来の夢や目標をもち、何事にも意欲的に取り組む児童の育成 キャリアパスポートの実践

2 低学年の重点目標
 ・友だちと仲良く遊び、助け合おうする態度を育てる
 ・係や当番の仕事に進んで取り組もうとする態度を育てる
 ・自分のことは自分でしようとする態度を育てる

3 身に付けさせたい力

①人間関係・社会形成能力	②自己理解・自己管理能力	③課題対応協力	④キャリアプランニング能力
<ul style="list-style-type: none"> ・他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを伝える力 ・自分の役割を進んで果たし、他者と協力できる力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよいところを認め、主体的に行動する力 ・根拠をもって自己決定し、行動する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を発見・分析し、適切な計画を立てて、協同的に課題を解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな職業や生き方があることを理解する力 ・自分に必要な情報を選択し、適切に活用する力

★キャリアパスポートの活用

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事等	始業式④ 入学式④ よろしくね集会①	★運動会③(行事シート) 避難訓練③	ボール開き③ 避難訓練③ 引き渡し訓練③	終業式④ 避難訓練③	★始業式④(基本シート2)	始業式④	校内マラソン大会②	終業式④	始業式④ 書き初め②	なわとび集会①	修了式④ 卒業式④
学活	1年生になって(3)ア②	そうじのしかたをおぼえよう(3)イ④	休み時間のきまりをきめよう(1)ア③	たのしいなつ休みをすごそう(3)ア③	ともだちのことを知ろう(2)イ①	運動会をがんばろう(1)ア③	いろいろな人にかんしゃしよう(1)ウ④	たのしいふゆ休みをすごそう(3)ア③	気持ちのいいあひさつをしよう(2)ア①	6年生ありがとうのじゅんぴをしよう(1)ア①	★もうすぐ2年生(3)ア③(基本シート1振り返り)
2年	★2年生になって(3)ア(基本シート1)③	縦割り班活動ががんばろう(1)ウ①	あいさつをしよう(2)イ①	たのしいなつ休みをすごそう(3)ア③	2学期にがんばること(3)ア③	本をたくさんよもう(3)ウ②	いろいろな人にかんしゃしよう(1)ウ④	たのしいふゆ休みをすごそう(3)ア③	3学期にがんばること(3)ア③	6年生ありがとうのじゅんぴをしよう(1)ア①	★もうすぐ3年生(3)ア③(基本シート1振り返り)
1年	国語「どうぞよろしく」①	国語「ことばさがそう」①	体育「鬼遊び」①	国語「おむすびころりん」①	国語「みんなにしらせよう」①	国語「しらせたいなみせたいな」①	国語「じどう車くらべ」④	国語「むかしばなしをよもう」④	体育「体ほぐし運動 鬼遊び」①	国語「ことばあそびをつくらう」①	国語「すつと、すつと、大すぎだよ」①
各教科	2年	国語「ふきのとう」②	国語「いなばの白うさぎ」①	体育「ボール投げゲーム」③	国語「どうぶつ園のじゅうい」④	国語「主語と述語に気をつけよう」①	国語「おもちゃの作り方をせつめいしよう」③	国語「お話のさくしやになろう」①	体育「体ほぐし運動 用具を操作する運動遊び」①	国語「スーホの白い馬」②	国語「すてきなところをつたえよう」①
1年	「たのしい がつこうだいすき」④	「ありがたう」B感謝④	なかよしB友情、信頼①	「つばめ」D自然愛護②	「にっぽんの おかし」C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度④	「はのうえのおおかみ」D親切、思いやり①	「わたしが おねえさんよ」D 生命の尊さ②	「おおひとやま」C規則の尊重③	「むかかかると」C伝統と文化の尊重④	「ふたりだけで」C公正・公平・社会主義①	「花の かんむり」B親切、思いやり①
2年	「大きくなったね」D生命の尊さ②	「本がかりさん」が「ぼんぼる」C勤労、公共の精神④	「ありがたう」B親切、思いやり①	「わたしのまのち」C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度④	「花火に こめられた」C伝承、国や郷土を愛する態度④	「お月さまとコロ」A正直、誠実②	「きつねと ぶどう」B感謝④	「わたしたちの校歌」Cよりよい学校生活、集団生活の充実④	「きまりの ない学校」C規則の尊重③	「ある 日の くつばこ」A、善悪の判断、自律、自由と責任③	「森の ゆうびん やさん」C勤労、公共の精神④
1年	「がつこうだいすき」④	「いくぞ！がつこうたんけん」③④	「わたしのほなをそだてよう」③④	「きれいにさいてね」③④	「生きもの 大すぎ」④	「あきとなかよし」④	「あきとなかよし」④	「あきとなかよし」④	「あきとなかよし」④	「あきとなかよし」④	「あきとなかよし」④
2年	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④
1年	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④
2年	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④	「大きくなあれ わたしの野さい」④

第3・4学年 キャリア教育年間指導計画

七尾市立田鶴浜小学校

1 目標 将来の夢や目標をもち、何事にも意欲的に取り組む児童の育成 キャリアパスポートの実践

2 中学年の重点目標
 ・友だちのよい所を認め、励まし合おうとする態度を育てる
 ・係や当番の仕事に積極的に取り組もうとする態度を育てる
 ・やりたいことに進んで取り組み、最後までやり通そうとする態度を育てる

3 身に付けさせたい力

①人間関係・社会形成能力	②自己理解・自己管理能力	③課題対応協力	④キャリアプランニング能力
<ul style="list-style-type: none"> ・他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを伝える力 ・自分の役割を進んで果たし、他者と協力できる力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよいところを認め、主体的に行動する力 ・根拠をもって自己決定し、行動する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を発見・分析し、適切な計画を立てて、協同的に課題を解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな職業や生き方があることを理解する力 ・自分に必要な情報を選択し、適切に活用する力

★キャリアパスポートの活用

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
行事等	始業式④ 入学式④ よろしくね集会①	★運動会③(行事シート) 避難訓練③	プール開き③ 避難訓練③ 引き渡し訓練③	終業式④ 避難訓練③	★始業式④(基本シート2)	★3年器械運動交流会③(行事シート)	校内マラソン大会②	終業式④	始業式④ 書き初め②	なわとび集会①	修了式④ 卒業式④	
学活	★3年生になって(3)ア(基本シート1)③	係活動の大切さ(3)イ④	室内遊びを楽しむ(1)ア①	夏休みの計画(3)ア③	2学期の係(1)イ③	マラソン大会をがんばろう(3)ア③	校内をきれいにしよう(3)イ④	もうすぐ冬休み(3)ア③	3学期の係(1)イ③	6年生を送る会の準備をしよう(1)ア①	★もうすぐ4年生(3)ア③(基本シート1振り返り)	
	★4年生になって(3)ア(基本シート1)③	忘れ物をしない工夫(2)ア②	掃除の仕方と役割(3)イ④	夏休みの計画(3)ア③	2学期の係(1)イ③	運動会をがんばろう(1)ウ③	給食に関係する人たちへの感謝(3)イ④	もうすぐ冬休み(3)ア③	3学期の係(1)イ③	6年生を送る会の準備をしよう(1)イ①	★もうすぐ5年生(3)ア③(基本シート1振り返り)	
各教科	国語「よく聞いて、聞こえようかい」①	理科「チョウウのかんざつ②」 算数「わり算」④	社会「はたらく人とわたしたちのくらし」④	国語「仕事のくふう、見つけよう」④	国語「わたしたちと小鳥とすずこ」②	国語「ちいちゃんのかげおくり」④	国語「すがたをかえる大豆」③	国語「三年とうげ」③	社会「事故や事件からくらしを守る」④	国語「お気に入りの場所、教えませう」① 外国語活動「Who are you? きみはだれ?」①	国語「モチモチの木」②	
	体育「体ほぐしの運動」①	算数「折れ線グラフと表」④	国語「おれの気持ち伝えよう」①	国語「新聞を作ろう」① 「コラム」アンケート調査のしかた④	社会「自然災害からくらしを守る」④	国語「ごんぎつね」①	音楽「ソーラン節」④	国語「友情のかべ新聞」①	国語「自分だけの詩集を作ろう」②	社会「世界とつながるわたしたちの県」④	国語「調べて話す、生活調査隊」③	
道徳	「いのちのまつり」スチラスーツ」JD 生命の尊さ②	「恐竜時代へのタイムトンネル」A 個性の伸長②	「ふるしき」C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度④	「同じ小学校でも」C 国際理解、国際親善④	「学級しようかい」C よりよい学校生活、集団生活の充実①	「たからさがし」A 善悪の判断、自律、自由と責任③	「バスの中で」B 親切、思いやり①	「れいぎ正しい人」B 礼儀①	「いちばんうれしいこと」B 親切、思いやり①	「ダブルブック」G A 善悪の判断、自律、自由と責任③	「ジュースのあきかん」C 規則の尊重③	
	「小さな喜ぶたちにほくしゆを」D 自然愛護②	「あなたの時間はいのちをふさぎめば」D 生命の尊さ②	「ちこく」B 相互理解、寛容①	「ぼくの草取り体験」C 勤労、公共の精神④	「家族の一員として」C 家族愛、家庭生活の充実①	「遠足の朝」A 善悪の判断、自律、自由と責任③	「交流学習の前」C よりよい学校生活、集団生活の充実①	「ホクリクサンジョウ」D 自然愛護②	「ネコの手ボラン」D 勤労、公共の精神④	「浮世絵一海をわたった」D ジャパン・フルー」C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度④	「かわいそうなぞう」D 生命の尊さ②	
総合的な学習の時間	オリエンテーション ○知り隊！の告白ねぎ【情報収集】③④	○知り隊！の告白ねぎ【課題の設定】③④ 【体験活動・情報収集】③④	○知り隊！の告白ねぎ【情報収集】③④ 【整理・分析】③④ 【振り返り】③④	○知り隊！の告白ねぎ【まとめで表現】③④ 【振り返り】③④	○知り隊！の告白ねぎ【体験活動・課題の設定】③④ 【情報収集】③④	○知り隊！の告白ねぎ【整理・分析】③④ 【まとめで表現】③④ 【振り返り】③④	○知り隊！の告白ねぎ【課題の設定】③④ 【情報収集】③④ 【振り返り】③④	○知り隊！の告白ねぎ【体験活動】③④ 【まとめで表現】③④ 【振り返り】③④	○知り隊！の告白ねぎ【課題の設定】③④ 【情報収集】③④ 【まとめで表現】③④	○知り隊！の告白ねぎ【まとめで表現】③④ 【振り返り】③④	○知り隊！の告白ねぎ【まとめで表現】③④ 【振り返り】③④	○知り隊！の告白ねぎ【振り返り】③④ 【まとめで表現】③④ 【振り返り】③④
	オリエンテーション ○福祉って何だろう？【課題設定】③④ 【情報収集】③④	○福祉って何だろう？【課題設定】③④ 【情報収集】③④ 【振り返り】③④	○福祉って何だろう？【情報収集】③④ 【まとめで表現】③④ 【振り返り】③④	○福祉って何だろう？【情報収集】③④ 【まとめで表現】③④ 【振り返り】③④	○福祉に携わる人々の工夫を調べよう！【課題設定】③④ 【情報収集】③④	○福祉に携わる人々の工夫を調べよう！【体験活動】③④ 【情報収集】③④ 【振り返り】③④	○福祉に携わる人々の工夫を調べよう！【情報収集】③④ 【まとめで表現】③④ 【振り返り】③④	○福祉に携わる人々の工夫を調べよう！【情報収集】③④ 【まとめで表現】③④ 【振り返り】③④	○福祉に携わる人々の工夫を調べよう！【情報収集】③④ 【まとめで表現】③④ 【振り返り】③④	○福祉に携わる人々の工夫を調べよう！【情報収集】③④ 【まとめで表現】③④ 【振り返り】③④	○福祉に携わる人々の工夫を調べよう！【情報収集】③④ 【まとめで表現】③④ 【振り返り】③④	○自分たちにできることは何だろう？【課題設定】③④ 【情報収集】③④ 【まとめで表現】③④ 【振り返り】③④

V 図書計画

1 学校図書館運営方針

- ・児童の主体的な学習を支える学習・情報センターとしての学校図書館
- ・児童が読書を親しむことができる読書センターとしての学校図書館
- ・読書活動の活性化と読書の質の向上を支援する学校図書館
- ・児童の「心の居場所」を提供する学校図書館

(1) 図書館教育のねらい

- ①読書に親しみ、望ましい読書習慣を育てる。
- ②読書を通じて、自己を高める。

(2) 図書館教育を通して目指す子ども像

- ①読書を通して興味関心を高める子
 - 進んで自分の関心のある本を選ぶことができる。
 - 互いに良い本を紹介することができる。
- ②進んで読書し、学習に役立てる子
 - 図書館を利用し、調べ学習ができる。
 - めあてをもって読書に取り組むことができる。
- ③読書を通して自分の生活を見つめる子
 - 図書館のきまりを守り、本を大切にすることができる。
 - 自分の生活を高めるために図書館を進んで利用する。
 - 図書館行事に積極的に参加する。

2 学校図書運営方法

(1) 図書室開館，閉館時間について

- 8時00分～16時まで

(2) 図書貸出・返却について

- 休み時間の貸出・返却

- ・貸出時間
 - 長休み 10時05分～10時25分
 - 昼休み 12時45分～13時15分

- ・貸出冊数と期間 一人二冊，一週間 ※返却期限を守る。

- ・貸出・返却方法

- ①カウンターで図書委員に、返す本を見せる。
- ②返却手続き終了後、借りる本を選ぶ。
- ③自分のバーコードカードをクラスの箱から取り出す。
- ④バーコードを機械に通してもらい、貸し出しの手続きを取る。
- ⑤自分のバーコードカードをクラスの箱へ戻す。

●司書不在日の場合（司書出勤日でない場合）

- ・担任と一緒に図書室に行き、もしくは、担任管理のもとパソコンで処理（貸出）をする。

○授業中の貸出・返却

- ・司書出勤日は、いつでも貸出を行う。

○学級への団体貸出

- ・授業で使う資料の貸出
- ・国語辞典の貸出可（3年生以上）
- ・教師が個人で借りる場合は学級用のカードを使用。
- ・学級文庫（1～6年 本とも学級文庫）+（1・2年は図書室の本の学級文庫）

- ※ 昨年度は、全学年（通年・定期的に入れ替え）に配置した。
- ※ 学級文庫の本は教室から持ち出さないことを徹底する。
- ※ 学級文庫のそばに、学級文庫の本のリストを貼って、冊数の管理をする。

(3) 調べ学習について（司書の対応）

- ・図書資料を準備し、クラスへ団体貸出する。
（本校にない場合は、公共図書館から団体貸出）
- ・公共図書館の利用について
田鶴浜小学校図書室カード（司書が所有）で以下の利用が可能
貸出期間 2ヶ月間
- ・図書室で調べる場合は、レファレンスする。

(4) オリエンテーションについて

- ・図書室利用の仕方・マナー指導・本の分類について説明
- ・本の貸出・返却方法の説明
- ・図書司書による読み聞かせ・ブックトーク
※ 上記の内容を説明してから、1回目の本の貸出を行う。
- ・市立図書館の「本はともだち号」についての説明
- ・本の持ち帰りについて

3 読書指導

(1) 読書週間指導

- ・月に一度、地域・保護者の方による「読み聞かせボランティア」を行う。
（今年度の募集は昨年同様、お便りを通じて行う。）
- ・図書室に関心を持ち、本に親しむ機会として、「図書まつり」を行う。

(2) 図書館利用指導

- ・図書館利用指導を行う。（オリエンテーション・利用マナー指導）
- ・教科関連図書を活用する。
- ・図書資料利用指導を行う。（調べ学習の仕方の指導）（図鑑・年鑑・百科事典など）
- ・年間目標冊数を学年ごとに設定し図書利用を促す。
- ・1・2年生は、100冊、3・4年生は80冊、5・6年生は、60冊を目標にしている。
- ・目標達成者には、「多読賞」を贈る。
- ・学期ごとに各学年おすすめの本5冊を設定する。

(3) 児童委員会活動

- ・自分たちの図書館という自覚のもと、自主的・創造的な活動を進める。
（本の貸し出し・図書の整理整頓・図書室掲示・読書週間の運営・全校の前で発表など）
- ・保小連携の一環として地域の保育園へ、出前読み聞かせ活動を行う。

(4) 学級指導

- ・朝読書・音読・読み聞かせ・調べ学習・本の紹介
- ・読書感想文の指導
- ・読書感想画の指導

(5) 各学年の読書指導

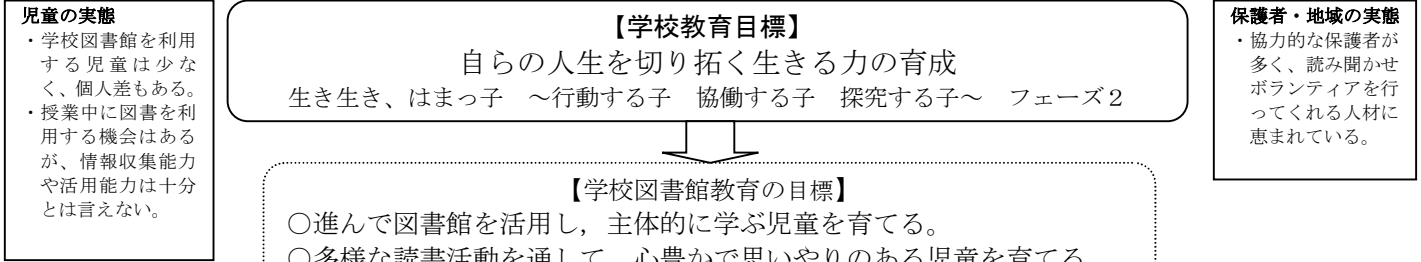
【めあて】読書に親しむことで本のおもしろさや楽しさを知り、心が豊かな児童を育てる。

学年	読書の目標	読書の具体的指導
1年生	自分で選んで読書をする。	<ul style="list-style-type: none"> やさしい読み物に興味を持ち、想像を膨らませながら読み聞かせを聞いたり読書したりできるようにする。 自分の読みたい本を選び、おもしろいところや好きなところを見つけ、絵や言葉で表せるようにする。
2年生	やさしい物語の本も読書できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> やさしい物語の本に興味を持ち、簡単な読み物が楽しいと感じ読書できるようにする。 おもしろいところを話し合ったり、言葉で表現したりできるようにする。
3年生	いろいろな物語の本興味を持ち幅広く読書をする。	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな読み物を幅広く読めるようにする。 少し長い本にも興味を持たせる。 読んだ本の内容を想像し、友だちと話し合い、短い言葉で表現できるようにする。
4年生	物語の本を読む。	<ul style="list-style-type: none"> 読んだ本や内容に関連をした本に興味を持ち、ほかの文章や自分が疑問に思ったことが話せるようにする。 物語を読むことで、自分と結びつけ文章に表すことができるようにする。
5年生	長編の物語を読む。	<ul style="list-style-type: none"> 長編の本を読書することで、友だち同士で話し合い、本の内容を考え広げたり深めたりできるようにする。 適切な資料を選んで読むことができるようにする。
6年生	生き方や考える本も読書する。	<ul style="list-style-type: none"> 良書を読書することで、疑問に思った事を友だち同士で話し合い、自分の意見や感想が持てるようにする。 適切な資料を選んで読むことができるようにする。

(6) 学習につなげていく利用指導

1年生	<ul style="list-style-type: none"> 図書室の利用や決まりを守る。 本の借り方・返し方を覚える。 本の並び方を知る。
2年生	<ul style="list-style-type: none"> 図書室の利用や決まりを守る。 本の借り方・返し方を覚える。 分類がわかるようになる。
3年生	<ul style="list-style-type: none"> 図書室の利用や決まりを守る。 分類がわかるようになる。 もくじとさくいんがわかるようになる。図鑑の使い方
4年生	<ul style="list-style-type: none"> 図書室の利用や決まりを守る。 いろいろな資料を使って調べることができるようになる。百科事典の使い方
5年生	<ul style="list-style-type: none"> 図書室の利用や決まりを守る。 資料を使って調べることができるようになる。年鑑の使い方
6年生	<ul style="list-style-type: none"> 図書室の利用や決まりを守る。 資料を使って調べることができるようになる。 著作権を知る。

4 学校図書館・読書指導全体計画



【読書指導の重点目標】			
	低学年	中学年	高学年
読書指導	・楽しいと感じ、知識を得たりするために、本や文章を選んで読むことができる	・目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むことができる。	・目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むことができる。
利用指導	・年間目標冊数（100冊）を目指し、進んで本を読み、本の楽しさを家族や友だちに伝えることができる。	・年間目標冊数（80冊）を目指し、進んで本を読み、本のおもしろさや分かったことを友だちや家族に伝えることができる。	・年間目標冊数（60冊）を目指し、進んで本を読み、資料を使って調べたり、感想を友だちや家族に伝えたりすることができる。
図書館運営	・ボランティアや公立図書館との連携、学習に役立つ資料集めなどを通して、読書指導、利用指導を支え、自ら学び、心豊かな児童を育てる。		

【各教科】

- ・読書に親しみ、望ましい読書習慣と読書力をつける。
- ・図書館の資料を検索し学習に活用することができる。

【道徳】

- ・いろいろな本を通して生き方について考える。
- ・図書の利用を通して物を大切にする心を育てる。

【総合的な学習の時間】

- ・図書館の資料を検索し、学習に活用することができる。

【特別活動】

- ・行事や学級活動の中で、読書や図書館利用の意義を理解し、実践的な態度を身につける。
- ・図書委員会の活動を活発にする。

【学校図書館】
「読書センター」としての機能
○豊かな心の育成
・朝読書の実施
・図書館の整備 ・読書に関する指導
・読書推進活動
「学習情報センター」としての機能
○自ら学ぶ力の育成
・図書オリエンテーションの実施（本の借り方・返し方、図書館のきまり）
・調べ学習に関わる資料の整備と充実
図書館運営
○学習を支える図書の整備の充実
・図書だよりの発行
・コーナーの展示
・蔵書の点検（随時）
・市立図書館との連携

【家庭との連携】
・図書便り、学校便り
・家読の啓発活動
【地域との連携】
・地域ボランティアによる読み聞かせ

「いしかわ学校読書の日」の取組

- ・本の読み聞かせ（読書ボランティアより）
- ・家読（うちどく）

VI 現職教育

1 学校研究主題 ～副題～

情報を活用し探究するはまっ子の育成

～見取りを生かした「考動タイム」のさらなる深化を目指して～

2 主題設定の理由

本校の教育目標は、七尾市学校教育ビジョンを受け、「自らの人生を切り拓く生きる力の育成～生き生き、はまっ子 考動する子 協働する子 探究する子 フェーズ2」としている。昨年度は、昨年度は「単元デザイン」と「考動タイム」の充実を図り、児童が自律的に ICT 端末を「収集」や「まとめ・表現」に活用する姿が定着した。しかし、単元テスト等の分析から、情報を「整理・分析」して考えを再構築する力には依然として課題があり、教師の提示したワークシートの枠組みへの依存が見られる。実証研究の最終年度（フェーズ2）となる今年度は、情報の整理・分析を「自分たちの手で行う」意識を高めることを目指す。児童が「具体（例えば）」と「抽象（つまり）」の思考を自在に行き来する「思考の往還」を自律的に駆動させ、納得解を形成する姿を目指して、本主題を設定した。

3 育成を目指す資質・能力：目指す児童像

情報活用能力：「考動タイム」において、「具体」と「抽象」を自在に行き来し、自ら最適な学び方を選んで情報を活用することで、自分なりの考えを形成する姿。

4 研究仮説

教師が児童の「思考の現在地」を精緻に見取り、学び方と教科のねらいに応じたアシストを的確に行うことで、児童が自律的に「整理・分析フィルター」を通過できるようになり、思考の往還が促され、情報活用能力が向上するとともに学力が向上するであろう。

5 学校研究の取組

① 授業づくり

- ・ 学びの「姿」で「見取り」を磨く
（これまでの振り返りを、教科のねらいに迫る「学習のまとめ」と、学び方のプロセスを客観視する「振り返り」に分離する。児童の思考が「具体（点）」に留まっているか「抽象（形）」に偏っているかを精緻に見取り、的確なアシストへ繋げる。）
- ・ 「二段のアシスト」による思考の往還
（ツール選択等を支える汎用的な「学び方アシスト」と、教科特有の視点を与える「ねらいアシスト」を使い分け、思考の往還を促す。教師が「整理・分析フィルター」を意識して授業づくり、アシストと行う。）

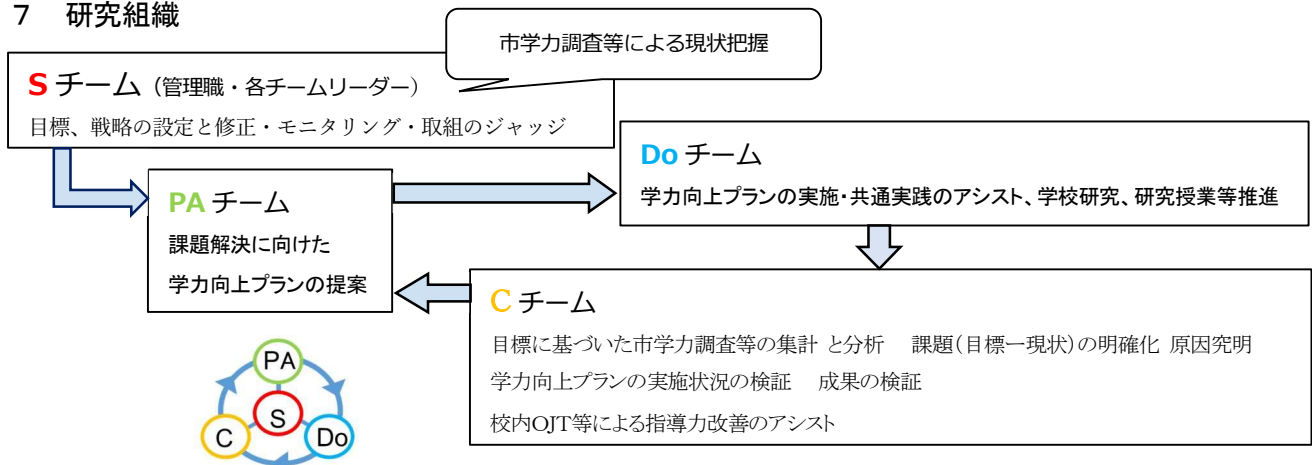
② 学習基盤づくり

- ・ 自己存在感の感受
（「分からない」と言えることが授業を動かす価値ある行動として認められる、安全・安心な学級風土を醸成する。）
- ・ 「生きはまタイム」の実施
（2週間に1回程度、児童のワークシートを持ち寄り、見取りの精度とアシストの技を磨いたり、進捗状況や困りごとなどをテーマにしたりした対話的ミニ研修を継続する。）
- ・ 基礎・基本、活用力向上に向けた取組（朝学習、はまっ子テスト 等）

6 検証方法

- ・ 学期末テストと「解答へのアプローチ」
（正答率に加え、問題用紙への線引き、情報の結びつけ、注釈等の「思考の足跡」を分析し、情報活用能力の変容を検証する。）
- ・ 児童の姿の変容分析
（「学習のまとめ」が事実の羅列から自分なりの解釈（抽象化）へと深まっているか、「振り返り」において、自律的に最適な学び方を選択できているか など）
- ・ アンケート調査
（自己存在感の感受や授業への主体的な参加意識等の推移を追う。）

7 研究組織



8 研究計画

月	★共通理解	◎実践	◇検証
4	★校内研修会（研究主題、研究計画、研究の重点、目指す児童の姿 等） ◇全国学調・県基礎学 ★生きはまタイム		
5	★校内研修会（指導案形式、研究授業について 等） ★校内研修会(GIGA 今後の ICT の活用方法) ★校内研修会（事前研、模擬授業、研究授業、授業整理会の在り方） ◎校内研究授業（提案授業）【前山（5年国語）】 ★生きはまタイム		
6	◎6/9 計画訪問【指定授業：古谷（4年国語）】 ★校内研修会（計画訪問を受けて） ★校内研修会（研究発表会に向けて） ★生きはまタイム		
7	★校内研修会（放送大学中川教授をお迎えして） ★生きはまタイム ◇学期末テスト ◇はまっ子テスト ◇学期末テストの点数チェック、「解答へのアプローチ」チェック、教師・児童アンケート ★校内研修会（1学期の検証を受けた2学期の取組） ★研究発表会公開授業 単元デザイン検討会		
8	★研究発表会公開授業 指導案検討会 ◇1学期の取組の検証・結果分析 1学期の成果と課題 ★校内研修会（1学期の検証を受けた2学期の取組）		
9	★要請訪問【奥田（特別支援・知的）】 ★生きはまタイム		
10	◎10/2 「令和の日本型教育の具現化に向けた実証研究」 研究発表会【山科（1年算数）、岡本（2年生活）、大岡（3年算数） 古谷（4年国語）、前山（5年国語）、西田（6年社会）】 ★校内研修会(研究発表会を受けて) ★生きはまタイム		
11	★生きはまタイム ★要請訪問【古谷（4年）】		
12	★生きはまタイム ◇県評価問題・学期末テスト ◇学期末テスト ◇はまっ子テスト ◇学期末テストの点数チェック、「解答へのアプローチ」チェック、教師・児童アンケート ◇2学期の取組検証・結果分析・2学期の成果と課題 ★校内研修会（2学期の検証を受けた3学期の取組）		
1	★生きはまタイム ◇七尾市学力調査		
2	★校内研修会(ICTの効果的な活用についての取組進捗状況、次年度に向けて) ★生きはまタイム		
3	◇学期末テスト ◇はまっ子テスト・活用力テスト ◇学年末テストの点数チェック、「解答へのアプローチ」チェック、教師・児童アンケート ◇3学期の取組検証・結果分析・令和8年度の成果と課題についての検討 ★校内研修会(令和9年度に向けた方向性)		

学校教育目標

自らの人生を切り拓く生きる力の育成

～生き生き、はまっ子 考動する子 協働する子 探究する子 フェーズ2～

七尾市教育委員会学校教育ビジョン
第4期石川の教育振興基本計画

育成をめざす資質・能力

情報活用能力

研究主題

情報を活用し探究するはまっ子の育成

～見取りを生かした「考動タイム」のさらなる深化を目指して～

めざす児童像

情報を活用し探究する児童

「考動タイム」において、「具体」と「抽象」を自在に行き来し、自ら最適な学び方を選んで情報を活用することで、自分なりの考えを形成する姿。

児童の実態（
・情報を整理
・十分に課題
・まだ十分な分析
）を自分たちの手で行うという意識が
し、考えを再構築する力が

研究仮説

教師が児童の「思考の現在地」を精緻に見取り、学び方と教科のねらいに応じたアシストを的確に行うことで、児童が自律的に「整理・分析フィルター」を通過できるようになり、思考の往還が促され、情報活用能力が向上するとともに学力が向上するであろう。

研究の取組

<授業づくり>

- ・学びの「姿」で「見取り」を磨く
(これまでの振り返りを、教科のねらいに迫る「学習のまとめ」と、学び方のプロセスを客観視する「振り返り」に分離する。児童の思考が「具体(点)」に留まっているか「抽(形)」に偏っているかを精緻に見取り、的確なアシストへ繋げる。)
- ・「二段のアシスト」による思考の往還
(ツール選択等を支える汎用的な「学び方アシスト」と、教科特有の視点を与える「ねらいアシスト」を使い分け、思考の往還を促す。教師が「整理・分析フィルター」を意識して授業づくり、アシストと行う。)

<基盤づくり>

- ・自己存在感の感受
(「分からない」と言えることが授業を動かす価値ある行動として認められる、安全・安心な学級風土を醸成する。)
- ・「生きはまタイム」の実施
(2週間に1回程度、児童のワークシートを持ち寄り、見取りの精度とアシストの技を磨いたり、進捗状況や困りごとなどをテーマにしたりした対話的ミニ研修を継続する。)
- ・基礎・基本、活用力向上に向けた取組(朝学習、はまっ子テスト等)

検証方法

- ・学期末テストと「解答へのアプローチ」
(正答率に加え、問題用紙への線引き、情報の結び付け、注釈等の「思考の足跡」を分析し、情報活用能力の変容を検証する。)
- ・児童の姿の変容分析
(「学習のまとめ」が事実の羅列から自分なりの解釈(抽象化)へと深まっているか、「振り返り」において、自律的に最適な学び方を選択できているか など)
- ・アンケート調査
(自己存在感の感受や授業への主体的な参加意識等の推移を追う。)

Ⅶ 施設設備管理計画

1 施設設備管理方針

学校の校舎・校地・施設設備の保全と改善並びに校具・その他の備品の管理については細心の注意をはらい、教育に支障のないよう整備し、活用を図る。

2 施設設備管理方法

(1) 備品の定位置を明確にし、その活用をはかる。

(2) 備品検査を年1回行い、備品台帳を整備する。

(3) 補修はすみやかにする。

(4) 備品修理の責任者を置く。

(5) 防火施設設備の管理方法について

①防火に関する基本方針

・まず、火災を起こさないよう、予防に万全を期する。

・万一火災（災害）が発生した場合は、児童の安全を第1とし、敏速かつ的確な処置をとり、被害を最小限に食い止める。

②学校防災計画（火事）

・防火管理責任者 林 千尋

・施設設備の管理・火気責任者は下記【火元管理責任者一覧】による。

・火気使用にあたっては十分注意し、使用後は元栓を閉め、電源を切るなど入念に点検し万全を期する。

・実験・実習・その他で火気を使用する際は、使用者から管理責任者に連絡し、巡視点検を厳重にする。

・湯沸し室など常時火気使用のところは、たえず注意し破損・不良箇所を早く発見し修理する。

・各管理分担の責任者は、常に火気の有無を確かめ、安全を確認する。

・非常の際は、避難訓練要領に準じて関係機関へ連絡し、児童の安全避難、初期消火物品搬出作業を行う。

・火災・その他の火災防止のため定期検査計画に準じて検査を実施する。

・休日及び勤務時間外に火災・その他火災の発生した場合、職員はただちに登校して、その処置にあたる。

3 防火設備配置状況（別紙①参照）

4 安全点検

(1) 目的

学校環境の危険な状態の有無について点検し、危険な箇所を早期に発見し整備することにより、児童の事故の災害発生の防止を図る。

(2) 実施時期

・定期の安全点検は15日とする。（その日が休日の場合は、前後の日）

・点検を確実にするため、6、11月はグループで行う。

・その他、日常の安全点検は、毎授業ごとに児童が最も多く活動する箇所を注意して観察する。

月	4月	6月	9月	11月	1月	3月
	計画点検	グループ	点検	グループ	点検	点検

(3) 実施方法

①実施にあたっては、形式に流れることなく、児童の目の高さや行動の特徴などに十分考慮しながら、触ったり、動かしたりしてそのつど新鮮な気持ちで確実に進行。

②安全点検表に点検結果を記入する。

- A 良好
- B 点検者で措置 (点検者)
- B 校内で措置要求 (山本・林)
- C 校内で措置不可能 (山本・林)

(4) 点検場所及び点検者

A 低学年・特別支援学級(廊下は各教室を含む)グループ

山科 . . . 1の1教室	男子児童更衣室	運動場	プール
岡本 . . . 2の1教室	多目的教室	家庭室・準備室	
奥田 . . . なかよし教室	会議室	1階東手洗い場	
島田 . . . わかば教室	女子児童更衣室	1階西手洗い場	
藤本 . . . たつるはま教室			

B 中学年(廊下は各教室を含む)グループ

大岡 . . . 3の1教室	図工室・準備室	東階段
古谷 . . . 4の1教室	理科室・準備室	西階段

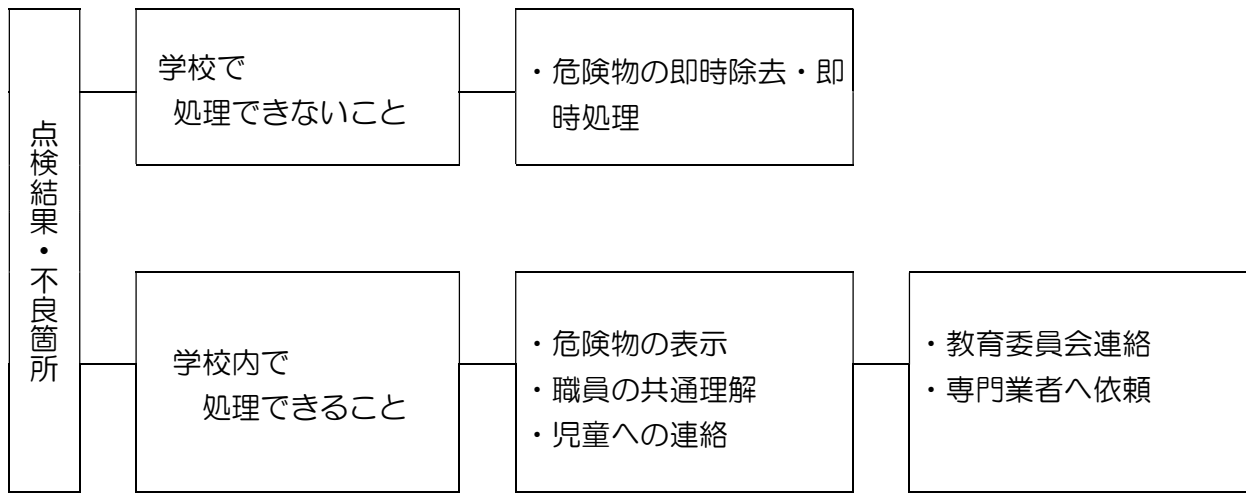
C 高学年(廊下は各教室を含む)グループ

前山 . . . 5の1教室	体育館・体育館用具庫・トイレ	外用具庫
西田 . . . 6の1教室	音楽室・準備室	放送室 外国語教室

D級外等グループ

廣田 . . . 図書室				
教頭 . . . 職員玄関	児童玄関	職員室	体育館非常階段	渡り廊下 倉庫
	職員男子更衣室			
山崎 . . . 保健室	1階トイレ	2階トイレ	相談室	
山本 . . . 職員女子更衣室	1階教材室	2階教材室		
三宅 . . . 食堂				
本田 . . . 職員室給湯室	作業室	職員トイレ		

(5) 事後処置



*簡単なものは、学級担任または教科担当で処理する。
 *職員で処理できないものは、管理職に状況等を報告し、その内容に応じて危険物の処理、または取替え、危険標識の明示、使用場所の変更を行う。

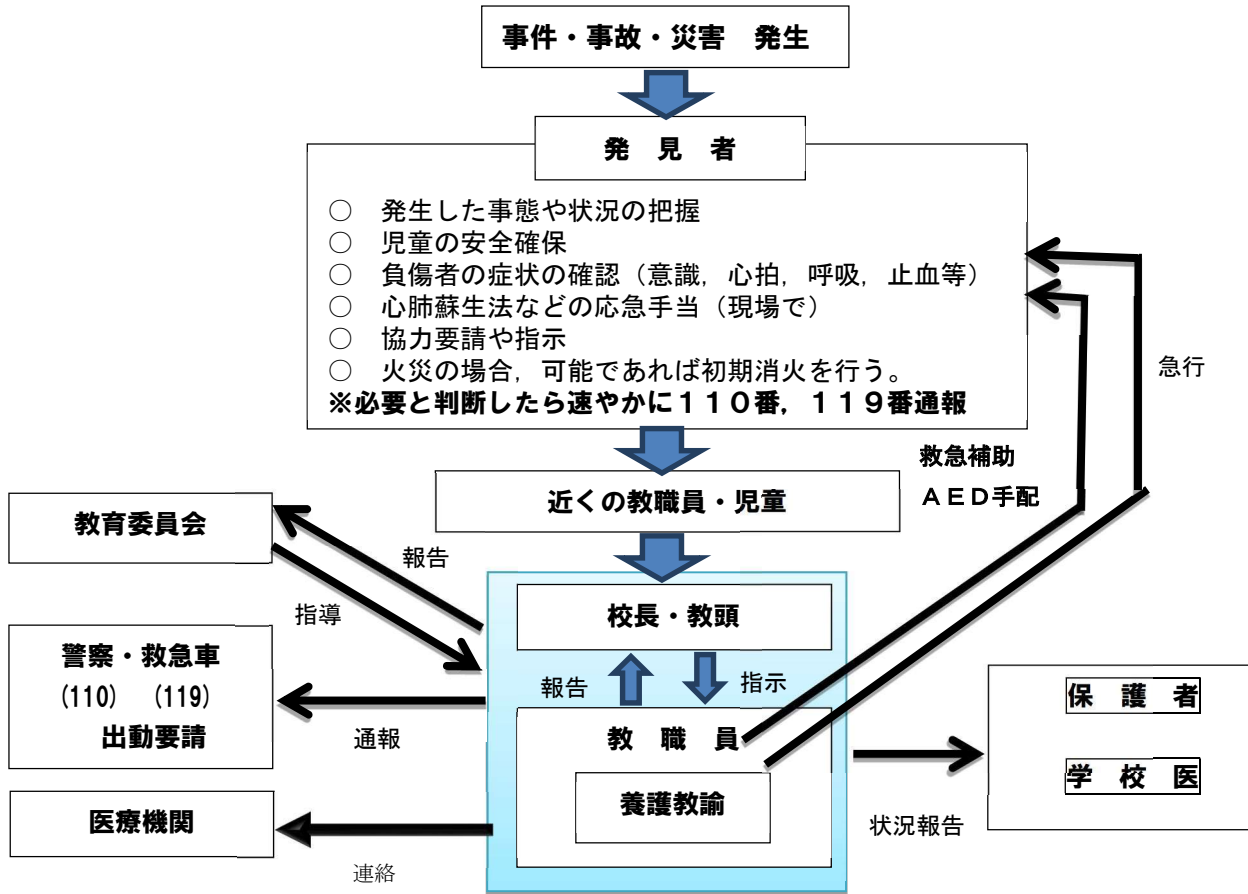
5 緊急時の避難経路（別紙②参照）

6 火元管理責任者一覧

<施設・設備・環境の管理・戸締り 兼 火気責任者>

管理部門	責任者	管理部門	責任者	管理部門	責任者
各学級	担任	1階女子トイレ (多目的トイレ)	山崎	家庭準備室	岡本
1階		1階東手洗い場	奥田	図書室	廣田
職員女子更衣室	山本	1階西手洗い場	島田	2階男子トイレ	山崎
職員男子更衣室	林	職員室	林	2階女子トイレ	山崎
職員男子トイレ	本田	職員玄関	林	外国語教室	西田
職員女子トイレ	本田	児童玄関	林	音楽準備室	西田
作業室	本田	会議室	奥田	音楽室	西田
校長室	清水	食堂	三宅	2階教材室	山本
相談室	山崎	体育館	前山	理科室	古谷
放送室	西田	体育用具室	前山	理科準備室	古谷
倉庫	林	体育館トイレ	前山	東階段	大岡
1階教材室	山本	渡り廊下	林	西階段	古谷
たつるはま教室	藤本	2階		屋外	
保健室	山崎	図工準備室	大岡	運動場	山科
女子児童更衣室	島田	図工室	大岡	プール全体	山科
男子児童更衣室	山科	多目的教室	岡本	体育用具庫(外)	前山
1階男子トイレ	山崎	家庭室	岡本	体育館非常階段	林

7 非常時の緊急連絡体制



8 危機管理計画

1. 学校防災計画

(1) 校内防災委員会の設置

学校の防災の充実を図るため、校長を委員長とする防災委員会を設置する。

(2) 委員は防火管理責任者をはじめ事務、教務主任、生徒指導主事、保健主事、養護教諭、学級担任で編成する

(3) 委員会の開催は定例会と臨時会とし、計画的に開催する。

(4) 防災委員会は警報等が発令された時は警戒本部となり、災害が発生した場合は対策本部となる。

(5) 防災委員会は次の事項について審議する。

- ・ 学校防災についての研究・調査に関すること
- ・ 学校防災マニュアルの立案に関すること
- ・ 校舎内外の施設、設備等安全管理に関すること
- ・ 避難訓練をはじめとする防災教育の充実に関すること
- ・ 教職員の研修等に関すること
- ・ 関係機関との連携に関すること
- ・ 学校施設が避難所となった場合の協力体制に関すること
- ・ その他、学校防災の推進・運営に関すること

(6) 防災委員会編成表

委員名	職名	平常時担当	災害時担当	内容
隊長	校長	総務（庶務）	災害対策本部長	全体の状況把握，必要な判断・指示
副隊長 防火管理 責任者	教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内防災体制の見直し ・ 保護者・地域等関係機関との連携体制の構築 ・ 推進計画，指導計画の作成 	副本部長 (情報収集等)	保護者・PTAへの連絡 情報収集・各機関への情報提供 隊長の補佐・代行
委員	事務		通報・連絡	警察・消防・教育委員会への連絡
	空き時間の職員	捜索・搬出	避難誘導，捜索・救出，非常持ち出し	
	保健主事	防災教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練計画 安全管理担当 ・ 施設・設備の安全点検 救急担当 ・ 応急処置研修等の実施 	安全点検・消火班 急復旧班長	救護場所設置，救護，搬送対応
	養護教諭		救急医療・救護班長	
	生徒指導 主事		避難所支援班長	避難誘導，捜索活動
	各担任		安否確認・避難誘導	避難誘導，人員点呼・報告，児童管理
空き時間の職員		初期消火	避難誘導，捜索・救出，初期消火	

(7) 学校および周辺地域の災害想定および避難場所

災害項目	被害想定(場所)	避難場所
火災	<火元確認場所> 理科室・家庭室・給湯室 隣接する給食センター	①グラウンド ②体育館(雨天時等の場合)
地震	<大地震が発生した場合> 仮設のプレハブ校舎で、強い地震の場合は、倒壊の恐れ 体育館外非常階段は倒壊の恐れ 図書室・理科室は、ロッカーや棚の転倒の恐れ 震度 5 弱以上の場合は児童を学校に留め置き、保護者引き渡しをする。	①グラウンド ②体育館(雨天時等の場合)
津波	<能登大地震発生の場合> 本校の位置は、海拔18m 津波想定区域ではない 田鶴浜地区で津波浸水の影響がある町会は馬場町で予想津波到達開始時間37分最大津波到達時間46分 津波の高さ0.7m よって、校舎に津波の影響はないと予想されるが、児童の下校の安全のため、学校に留め置き、保護者引き渡しをする	①校舎棟3階以上
浸水	<豪雨、台風の場合> 本校は海拔18mであり、浸水想定区域ではない 平成30年8月31日からの豪雨時には二宮川が氾濫 校区浸水被害 住家床上14床下43 非住家床上2床下32 であった。校区各地区に被害が出る可能性がある場合は、保護者引き渡しをする	①体育館 ②校舎各階教室
土砂崩れ	本校は、土砂災害警戒区域ではない 校区の三引川周辺が土砂流の可能性があり、児童の下校には、引き渡しを想定する必要がある	①グラウンド ②体育館(雨天時)

(8) 学校周辺の避難所

避難所	場所	連絡先
指定避難所	本校(指定されている) 屋内収容人員 239 野外収容人数 14,084 屋内避難施設面積 478 屋外避難面積 28,169	68-3111
	県立田鶴浜高校	68-3116
	田鶴浜勤労者体育センター	68-3803
	田鶴浜体育館	68-3803
	田鶴浜武道館	68-3803
	健康福祉プラザさつき苑	68-3230
指定緊急避難場所	サンビーム日和ヶ丘 田鶴浜地区コミュニティセンター	68-3336
	田鶴浜地区コミュニティセンター相馬分館	68-3525
	// 金ヶ崎分館	68-3114
	ふれあい交流館 金ヶ崎	68-3539

2. 基本の防災計画

(1) 火災対策

① 発生時の対応（教職員）

- 1 発生場所の確認及び避難場所の決定
- 2 緊急放送を流す
- 3 避難行動の開始（ア～エの行動は同時進行）
ア. 本部の設定（校長） イ. 児童の避難誘導（学担） ウ. 安全確認（級外）
エ. 消防・警察及び教育委員会への連絡（教頭・事務）
- 4 対策本部長（校長）への報告 [避難及び安全確認の完了]
- 5 教育委員会及び保護者への連絡・渉外

② 避難方法（児童）

<授業中における校内火災>

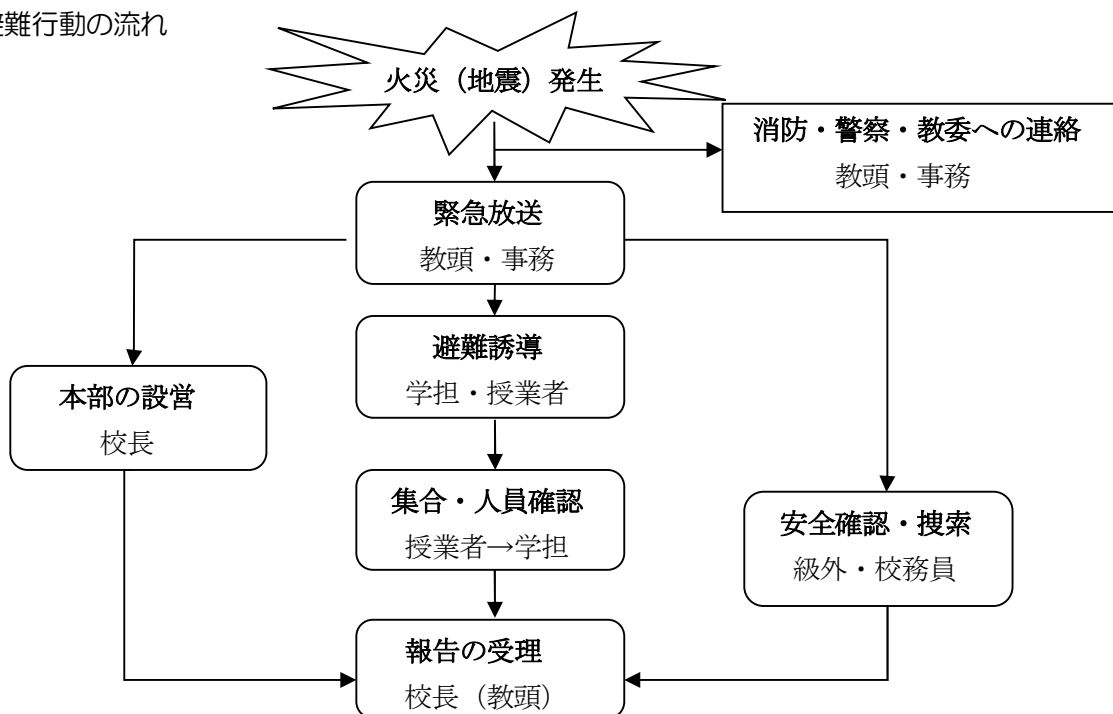
- 1 緊急放送が入ったら、すべての行動をやめ、静かに放送を聞く。
- 2 先生の指示に従い、ハンカチなどで口を押さえながら、静かに廊下に並ぶ。
学用品は持たない。先頭は先生。
- 3 身体を低くし、ハンカチを口に当て、煙を吸わないようにする。
- 4 運動場では、速足で集合場所に向かう。
- 5 集合場所では、集会の隊形で整列し、指示があるまで静かに待つ。

* 「おさない」「かけない」「しゃべらない」「もどらない」

<休憩中における校内火災>

- 1 緊急放送が入ったら、すべての行動をやめ、静かに放送を聞く。
- 2 放送及び先生の指示をよく聞き、指示通りに避難する。
- 3 避難の方法は、<授業中における校内火災>の場合に準じる。

③避難行動の流れ



④役割分担

担当区分	担当者	任務（○は避難時，●は避難完了後）
自衛消防隊長	校長	○避難開始時期の決定及び避難状況の把握。 ○災害の状況に基づき，消火・避難活動上必要な指揮命令を行う。 ●火災の拡大防止，逃げ遅れ者の搜索，重要書類の搬出等について，各係に指示を行う。
// 副隊長	教頭	○隊長を補佐し，隊長が不在の場合はその任務を代行する。 ●隊長を補佐し，隊長が不在の場合はその任務を代行する。
通報連絡係	教頭・事務	○消防機関への通報またはその確認を行う。 ○あらゆるものを活用し，発災を知らせるとともに消防隊の誘導及び消防隊へ情報提供を行う。 ●関係機関（警察・教育委員会・PTA等）への連絡・渉外にあたる。
避難誘導係	学級担任 授業者	○非常口を開放するとともに，児童の避難誘導に当たる。 ○避難終了後，人員を確認し，その結果を自衛消防隊長に報告する。 ●隊長の指示のもと，児童を掌握しその安全確保に努める。
搜索係	空き時間の職員	○残留児童の搜索とその救出に当たる。 ●残留児童の搜索とその救出に当たる。
救護係	養護教諭	○非常信号発令と同時に，本部近くに救護所を設け，救護にあたる。 ●救護所において，児童等の救護にあたる。
消火係	空き時間の職員	○初期消火にあたる。 ●火災の拡大防止に努める。
搬出係	教頭・学担・事務 校務員	●重要書類の搬出とその保管にあたる。 《搬出順序》 1 非常持出表示の重用書類 2 重用備品 3 その他の器具 《搬出先》 隊長の指示に従う。

(2) 地震・津波・洪水対策

① 発生時の対応

- 職員室にいる職員は，校内放送をする。

「地震です。机の下に避難しなさい」 一ゆれがおさまったら一

「運動場へ避難しなさい」

- 停電になれば携帯型スピーカーを使って指示をする。

② 避難方法

<授業中における地震発生>

- あわてて外に飛び出したりせず，机の下に身体を入れ，頭を防御する。
- 落下物から身体を守るために，頭をおおって避難する。
- 運動場へ避難する場合は，火災時の避難に準じる。









<休憩中における地震発生>

- 1 教室にいる場合は、すぐに机の下に身体を入れる。
 - 2 廊下・体育館にいる場合は、ガラス窓から離れ、廊下・体育館の中央で身体を伏せる。
 - 3 トイレにいる場合は、ドアを開き、その場で地震がやむのを待つ。
 - 4 運動場にいる場合は、校舎や塀から離れ、頭を守って伏せる。
 - 5 放送及び先生の指示をきて、指示通り避難を開始する。
- ③ 津波・洪水の危険性がある場合は、二次避難する。
- ④ 役割分担は火災の場合に準じる。










(3) 原子力事故対策

- ① 基本事項
 - ・ 七尾市防災計画、原子力防災計画によって行動する。
- ② 発生時の対応
 - 1 職員室にいる職員は、校内放送をする。
「原子力発電所で事故が起きました。」
「先生の指示にしたがい、避難してください。」
- ③ 児童の避難方法（避難経路は火災と同じ）
 - 1 放射能被爆を防ぐため、ただちに屋内に入る。
 - 2 屋内に外気を入れないようにする。
 - 3 屋内に入ったら、外気に直接触れた手や顔を洗う。
 - 4 ハンカチを水でぬらし、口にあてる。
 - 5 市災害対策本部の避難命令で、指示された方法で避難する。
 - 6 屋内退避解除まで待機する。
- ④ 役割分担は火災の場合に準じる。

2階

図工準備室	図工室		多目的室	家庭室 	家庭準備室	図書室		男子トイレ	女子トイレ
									
理科準備室	理科室	教材室	音楽室	音楽準備室	外国語教室	4年1組	5年1組	6年1組	

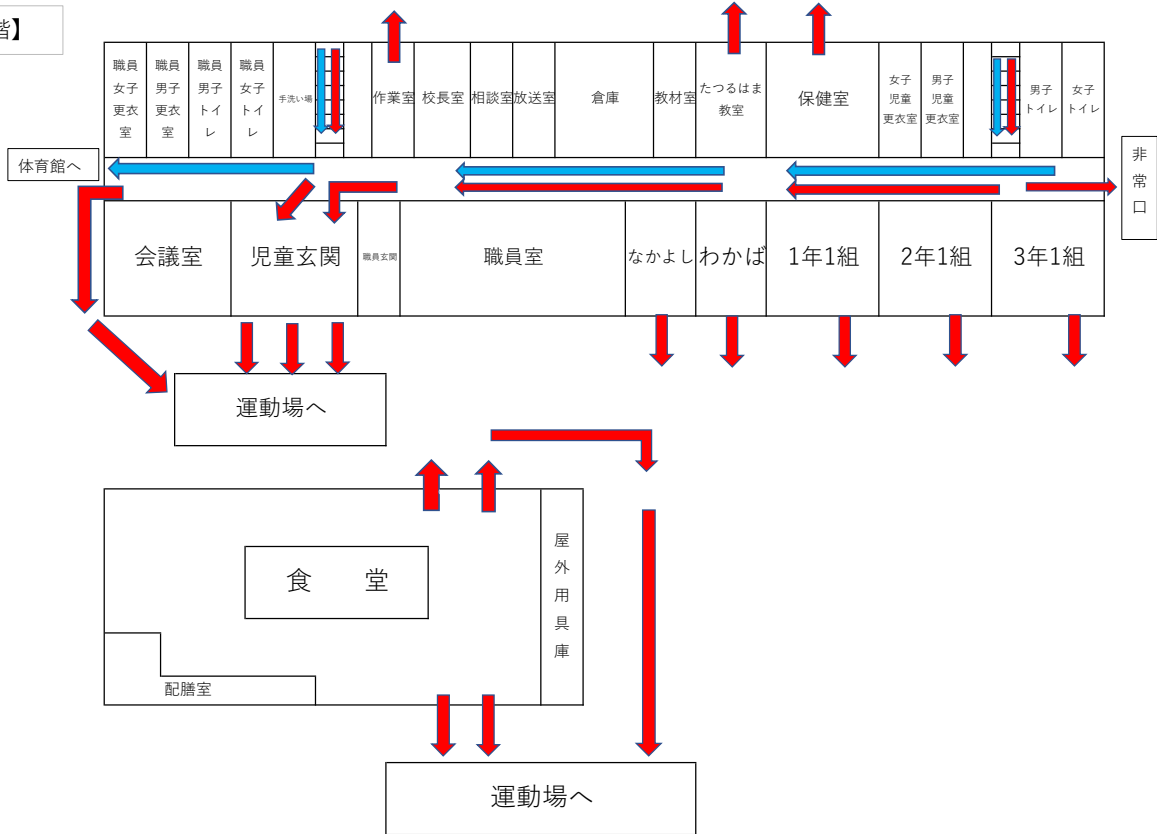
1階 

職員女子更衣室	職員男子更衣室	職員男子トイレ	職員女子トイレ	手洗い場		作業室	校長室	相談室	放送室	倉庫	教材室	たつるはま教室	保健室	女子児童更衣室	男子児童更衣室	男子トイレ	女子トイレ	
																		
会議室	児童玄関	職員玄関	職員室	なかよし	わかば	1年1組	2年1組	3年1組										
																		

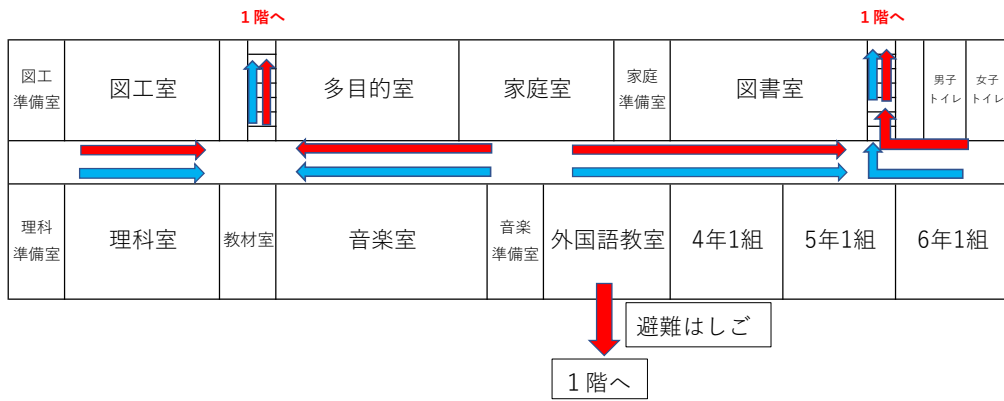
別紙② 田鶴浜小 仮設校舎緊急時の避難経路(ひなんけいろ)

→ 運動場へ
→ 体育館へ

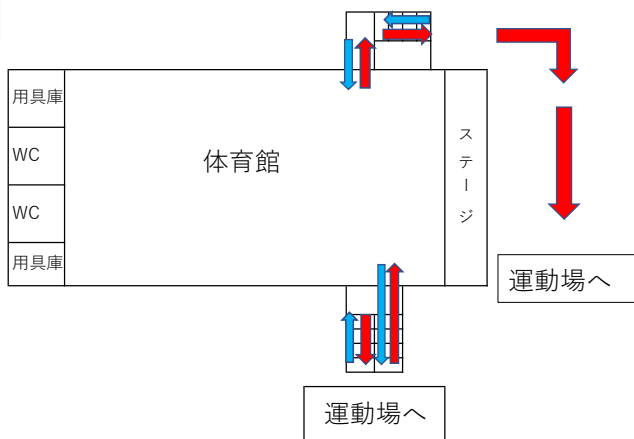
【1階】



【2階】



【2階】



Ⅷ 学校予算

1 学校予算

一般配当予算

節	細 節 名	予 算 額
7	報 償 金 (謝 金)	28,000 円
10	消 耗 品 費	1,867,000 円
	燃 料 費	0 円
	印 刷 製 本 費	13,000 円
	修 繕 費	120,000 円
	医 薬 材 料 費	31,000 円
11	郵 便 料	20,000 円
	クリーニング手数料	20,000 円
	そ の 他 手 数 料	25,000 円
	筆 耕 翻 訳 料	15,000 円
12	清 掃 業 務 委 託 料	108,000 円
	そ の 他 委 託 料	0 円
13	そ の 他 使 用 料 及 び 賃 借 料	0 円
17	庁 用 器 具 費	170,000 円
	教 材 費	250,000 円
18	そ の 他 負 担 金	7,000 円
総 合 計		2,674,000 円

教 材 費	62,000 円
消 耗 品 費	30,000 円

図書配当予算

図 書 購 入 費	122,000 円
-----------	-----------

2 学校事務目標

学 校 事 務 目 標	本校の教育目標達成に向けて、教育予算の有効活用と環境整備の面から教育効果の向上を助ける。
-------------	--

3 学校事務方針

方 針	具 体 的 内 容
学校経営に参画する	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議に参画し、学校事務領域からの的確な発言および情報提供に努める ・学校事務計画を作成する ・予算委員会を開催し、財政面から学校の教育目標達成を助ける
教育活動を財政的に支え環境を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ・公費の効果的な予算編成および適正な執行を行う ・光熱水費の削減や資源の有効活用に取り組む ・備品台帳の整備と備品等の活用を促進する ・児童の安全確保のため、教育環境の整備に努める
児童の等しく教育を受ける権利を保障する	<ul style="list-style-type: none"> ・就学奨励費、特殊教育奨励費の事務を適切に処理する ・教科書無償給与事務及び学籍事務を適切に処理する
教職員の勤務条件を整える	<ul style="list-style-type: none"> ・法律、条令等に基づき、給与・人事・服務関係事務を適切に行う ・計画的な旅費執行に努め、石川県旅費規程に基づき適正に処理する ・福利厚生に係わる情報を提供する

情報の効率的な活用を図る	・文書の適正な収受、伝達をする ・個人情報保護制度に基づき、個人情報の保護に努める
学校・家庭・地域と連携する	・関係機関と連絡調整する ・保護者、地域住民等と連携をはかり、信頼に応える
教育活動をささえる研究をする	・法律、条令等の学習と専門的知識の習得に努める ・各種研修会、研究会に積極的に参加し、自己研鑽に努め、資質向上を目指す

4 学校事務年間計画

月	市教育委員会関係	県教育事務所関係	公立学校共済組合関係	校内事務
4月	新規採用者履歴書	学級担任手当入力	組合員異動報告書	学校集金事務
	市職員勤務時間割り振り届	特別支援学級担任調整数入力	新規採用者書類	集金事務の年間説明
	自家用車公務使用届出書	特殊勤務実績簿	被扶養者申告・取消	転出入関係書類の作成
	私有車両使用承認願	扶養親族届	入学祝金請求書	教科書給与
	教職員調査書・講師調査書	通勤届・路程マップファン	施設利用券受領書	教師用教科書・指導書貸与
	前期用教科書事務	履歴書の整備	第1回人間ドック申込み	教室用教材教具消耗品等整備配布
	*就学援助申請案内 備品システム登録	初任者・臨任講師関係書類		職員録原稿作成 校内引去明細書作成
5月	学校基本調査			校内予算委員会 (教材備品の購入について)
	就学援助申請			
	学校管理運営計画・予算			運動会関係
6月	教材費要求書提出	定数調査準備		
	特別支援教育就学奨励費申請	住民税通知書配布		
	就学援助認定結果報告	児童手当現況届		
		期末勤勉手当支給(30日)		
7月	就学援助費支給案内	特勤手当支給対象業務協議	共済組合員調書	
	次年度教科書需要票	扶養手当認定事務		
	次年度教科書一覧表			
8月	後期用教科書納入指示書		第2回人間ドック申込み	備品台帳整備
	予算要求(営繕)			校内予算委員会 (次年度予算要求について)
9月	前期転学用教科書関係		第3回人間ドック申込み	
	後期用教科書事務			
10月	市定期監査準備			就学時検診
11月		年末調整データ入力		
12月	就学援助費支給案内	期末勤勉手当支給(10日)		次年 出勤簿・諸願届簿準備
	特別支援教育就学奨励費支給案内			
1月				履歴書整備
2月				入学予定者口座振替依頼
3月	就学援助費支給	休暇調査報告	卒業祝金請求書	学納金切替事務
	特別支援教育就学奨励費支給	特殊勤務手当見込調査		各種会計決算
	後期転学用教科書関係	旅費決算報告		職員異動事務
	前期用教科書納入指示書			年度初めの物品購入
	理科教育設備現有状況			諸帳簿整理

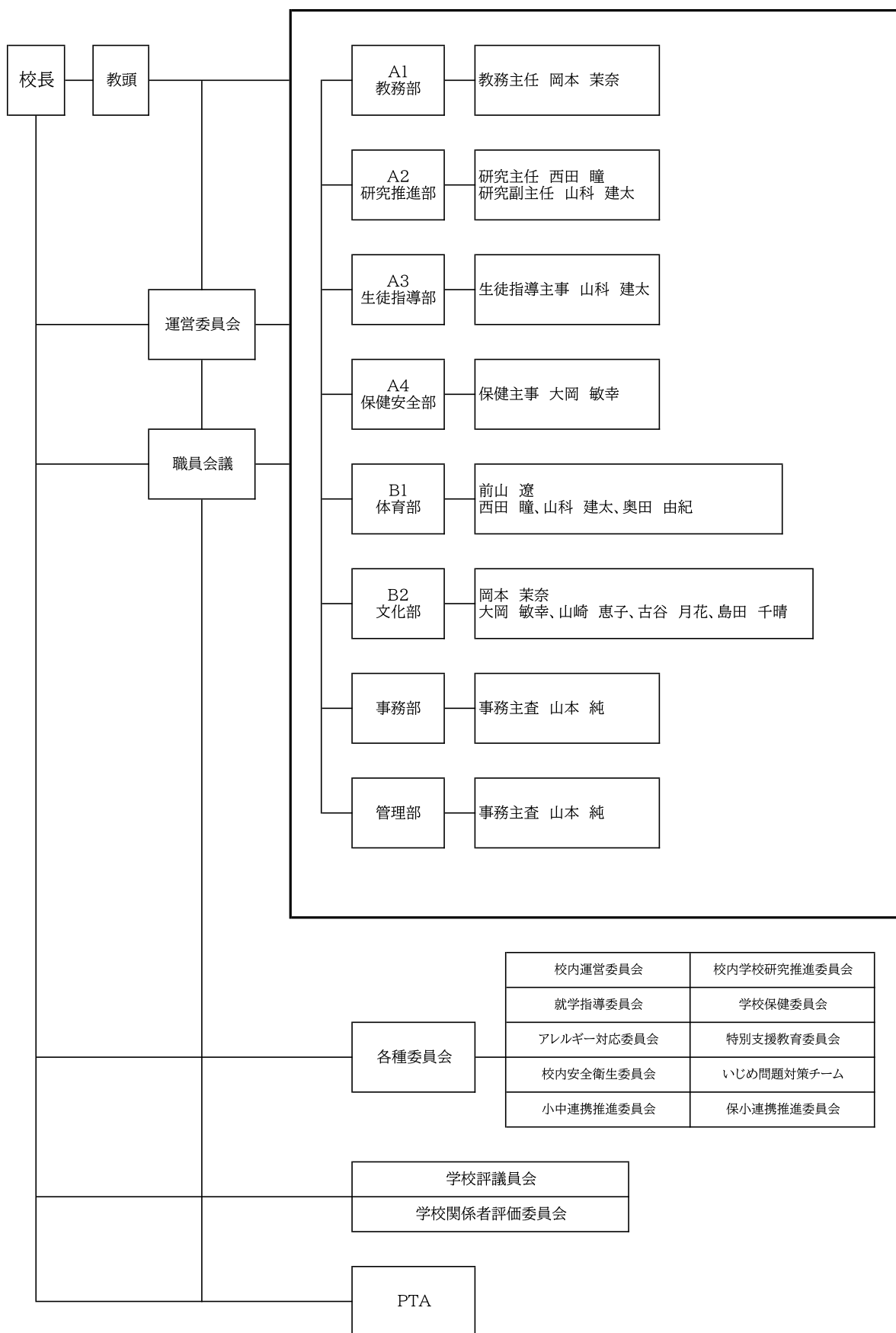
IX 学校経営組織
1 学年・学級編制

児童生徒数	学級数	教職員数
100	8	15

校長	清水 昭浩			事務主査	山本 純			
教頭	林 千尋			栄養教諭	三宅 章子			
養護教諭	山崎 恵子 8教育相談C							
学年	組	氏名	講師等	学級児童生徒数				各種加配担当者 及び 主な校務分掌
				男	女	計	学年計	
1	1	山科 建太		6	6	12	12	5生徒指導主事12GIGA校内研究推進L 22研究副主任 23幼保小連携
2	1	岡本 茉奈		5	9	14	14	1教務主任
3	1	大岡 敏幸		10	11	21	21	4保健主事 9若手研修C
4	1	古谷 月花		8	4	12	12	10道徳教育推進教師(新)
5	1	前山 遼		10	11	21	21	12GIGA校内研究推進L
6	1	西田 瞳		10	7	17	17	2研究主任
なかよし	知	奥田 由紀	○	2	0	0	2	特別支援学級担任
わかば	自・情	島田 千晴		1	0	0	1	7特別支援教育C(新) 特別支援学級担任(新)
たつるはま	LD	藤本 智香						18通級指導
級外		西脇 良樹 (高木 美里)	○					
級外		高木 歩 (高木 美里)	○					16小学校英語専科
級外		齊藤 ひかり (坂元さくら)	○					

学校図書館司書	廣田真奈美	校務員	本田 雅子
特別支援支援員	横川由香子	ALT	ビスタン ジムエル コロラド
特別支援支援員	宮本 祥恵	配膳員	中山 幸子
スクールサポートスタッフ	稲森 友紀	スクールカウンセラー	中田 照美

2 学校経営組織



3 校務分掌一覧

I. 主任・各担当

		内 容	担当者
主任・各担当	1	教務主任	岡本
	2	生徒指導主事	山科
	3	研究主任	西田
	4	保健主事	大岡
	5	GIGA校内研修推進L	前山、山科
	6	道徳教育推進教師・親子の手紙	古谷
	7	特別支援教育コーディネーター	島田
	8	教育相談コーディネーター	山崎
	9	若手研修コーディネーター	大岡
	10	キャリア教育・総合的な学習の時間	教務(岡本)
	11	人権教育	生徒指導(山科)
	12	外国語教育	英語担当(西田)
	13	環境教育(佐渡との交流)	5年担任(前山)
	15	読書指導推進教育	図書担当(岡本)
	16	教育機器・コンピュータ管理	GIGA担当(前山・山科)
	17	ホームページ作成	教頭
	18	学校農園(プランター)	1・2年担任(山科・岡本)
	19	体力アップ・1校1プラン	体育担当(前山)
	20	幼・保・小連携担当	1年担任(山科)
	22	小・中連携担当	6年担任(西田)

II. 教務

項目		チームメンバー		内容	担当者
教務	学校運営全般	教務	1	職員会議	教頭
			2	年間行事予定・月行事予定	教頭
	3		時間割編成・教育計画・	教務	
	4		年間指導計画・評価規準	教務	
	5		授業日数・時数管理・週案	教務	
	6		学級経営案	教頭	
	7		教育支援教育支援員関係	特支コ・教務	
	8		補欠割	教務	
	学籍関係	教務	9	出席簿	学担・養教
			10	指導要録	各担任・教務
			11	卒業・修了原簿	各担任
			12	児童名簿・職員名簿	各担任・教頭
			13	転出入関係・新入児童関係	事務・教頭
	教科書・記録関係	教務	14	副読本・資料・補助教材届出	教務
			15	表彰	教務
	学校評価	教頭・教務	16	保護者評価	教務
			17	児童評価	教務
			18	教師評価	教務
			19	学校関係者評価	教頭・教務

Ⅲ. 研究推進部(西田・山科)

総括(研究推進委員会:校長・教頭・教務主任・生徒指導主事・保健主事・研究主任・研究副主任・GIGA担当)

項目		チームメンバー		内容	担当者	
学力向上・学校研究・GIGA	P A チーム 企画・提案	・研究授業・企画	○西田	1	研究概要・学力向上プラン	西田
				2	学力向上ロードマップ作成・修正	西田・各チームリーダー
				3	指導案の形式・授業整理会の進め方	西田・山科
				4	授業スタイルカリキュラムマネジメント提案・修正	西田・山科
				5	計画訪問に向けた重点,計画	西田
				6	計画訪問課題改善策	西田
		GIGA企画・提案	○前山	7	GIGA研修の計画・実施	前山
	D チーム 底の ア シ ス ト 上 取 組 の 可 視 化 継 続 ・ 徹	授業づくり with GIGA	○前山・奥田・古谷	1	生きはまタイム(Doチェック、アシスト)	山科・西田
				2	研究授業のアシスト(単元デザイン・子どものアシスト)	前山・西田
				3	考動タイム参観	奥田
				4	ICT活用状況チェック・活用例紹介	前山
	基盤づくり・学力向上	○山科・中村・奥田	1	「なぜ学ぶのか」の周知・共有	大岡	
			2	はまっ子学習マナー共通理解・共通実践	大岡	
			3	テスト採点基準の共通実践	島田	
			4	校内学習環境整備	島田	
			5	基礎基本(朝学習・浜っ子テスト)実践・徹底支援	古谷	
			6	活用力(朝学習・活用力テスト)実践・徹底支援	大岡	
	析 C ・ 検 証 手 研 計 ・ 分	検証・集計・分析	○岡本	1	県・全国学力調査・質問紙調査	岡本
				3	集計・データ処理	岡本
				5	校内分析・課題発見・原因究明	岡本
6				教師・児童の取組検証アンケート作成	岡本	
研修支援		○大岡	7	OJT若手研修の計画・実施	大岡	

IV. 指導関係

項目		チームメンバー	内容	担当者		
指導部	生徒指導部	○生徒指導主事 (山科) (西田) (前山) (奥田)	1	生徒指導年間計画	生徒指導主事	
			2	日常生徒指導	生徒指導主事	
			3	長期休業中生徒指導	生徒指導主事	
			4	児童個人指導カード	各担任	
			5	いじめ・不登校対策	生徒指導主事	
			6	いじめ調査・分析	生徒指導主事・各担任	
			7	児童理解・教育相談	特支コ・教育相談担当	
		1年担任 地区子ども会担当	9	新1年生付き添い	1年担任・教頭	
			10	地区子供会	子ども会担当(奥田)	
		保健安全部	○保健主事 養護教諭 栄養教諭	各 地 区 子 供 会 担 当 全 員	1.市姫地区…上東・下東・中町・南町(山科,古谷) 馬場・西町(大岡・島田) 2.住吉地区…殿町(山科,古谷)・登町・丸山町・上野ヶ丘(大岡・島田) 3.赤倉地区…高田・杉森・三引・(前山) 4.端 地区…舟尾・新屋・垣吉・川尻(西田) 5.相馬地区…伊久留・吉田・七原・西下(岡本) 6.金ヶ崎地区…大津・白浜・深見(奥田) 7.校区外…(教頭) ○全 地 区…学童保育(教頭)	
	1				就学時健康診断	教頭・養教
	2				健康診断	養教
	3				保健教育	養教・学担
	4				清掃指導(指導・分担・配置)	大岡, 山崎
	5				給食指導(指導・分担・配置)	栄養教諭・学担
	6				交通安全教室	3年担当
	7				避難訓練全体計画・分担	大岡
					避 難 訓 練	(不審者)
		(火災)	古谷, 大岡			
(地震)		島田, 大岡				
	(原発)	山崎, 大岡				
8	集団下校訓練	大岡, (地区子ども会担当)				
9	児童引き渡し訓練	大岡				

V. 行事・集会・特別活動

項目		チームメンバー		内容	担当者
体育部	体育的行事	○体育担当(前山) (西田) (山科) (奥田)	1	運動会	前山, 山科, 西田, 奥田
			2	水泳	山科, 前山
			3	スポーツテスト	前山, 西田
			4	マラソン大会	奥田
			5	スキー・そり活動	山科, 西田
			6	縄跳び	西田
			7	スポチャレ・1校1プラン	前山
			8	いしかわっ子駅伝他	前山, 西田
文化部	文化的行事	○文化担当(岡本) (大岡) (坂本) (古谷) (古川)	1	バス遠足	山崎
			2	作品応募・夏休み作品展	島田
			4	書初め会	岡本, 古谷
			5	全校音楽	古谷, 大岡
			6	はまっ子音楽祭	大岡, 古谷
			儀式的行事及び集会	教務	7
	8	入学式・卒業式			岡本
	9	その他行事			岡本
	特別活動	○特活担当(教務)	10	放送機器準備	大岡, 前山
			11	児童集会計画	教務(岡本)
			12	縦割り班編成	島田
				縦割り班活動(たて割りふれあいタイム等)	岡本, 大岡, 山崎, 古谷, 島田
			13	委員会活動	岡本
	各担当	代表委員会 放送委員会 保健・体育委員会 図書委員会 給食・環境美化体育委員会	山科・奥田 西田・古谷 山崎・前山 岡本・廣田 大岡・島田・三宅		
14		クラブ活動	島田・古谷		
各担当	スポーツ 室内遊び 消しゴムはんこ 折り紙・イラスト モルック ビーズアート	前山・大岡 山科 西田 古谷 奥田 島田			

VI. 事務・管理・渉外・PTA

項目		チームメンバー	内容	担当者
事務部	庶務	事務 養教 図書	1 学校関係〔学校基本調査・公文書收受〕	事務
			2 教職員関係〔出勤簿・履歴書・諸願届け簿〕	事務
			3 出張命令簿・復命書・月報	事務
			4 保健関係庶務	養教
			5 職員図書	図書館司書
			6 自家用車等・理振台帳・備品台帳	事務
	会計		7 給与・旅費・諸手当・用度・電話・郵券	事務
			8 就学援助費	事務
			9 共済・互助会	事務
			10 日体保健関係	養教
			11 給食会計	栄養教諭・事務
			12 職員会計	山崎
	福利厚生		13 公立学校共済組合・教職員互助会	事務
	点検・営繕		14 安全点検	養教
			15 机・椅子配置	養教
			16 校舎営繕	事務
			17 点検・軽修理	事務・校務員・各担任
管理部		その他管理	校務員	18 ごみの分別
	19 危険物取扱			教頭
	20 樹木・花壇・学級園の管理			校務員
	21 落とし物			教頭
	施設設備 維持管理	教頭 事務 養教 校務員	1 危機管理マニュアル	教頭
			2 防火管理札	教頭
			3 鍵類・消防設備	教頭
			4 貸し出し	教頭
			5 学校施設使用許可申請書	教頭
			6 水道・電気・ガス・浄化槽	教頭
給食	栄養教諭	7 冷房暖房器具	教頭	
		8 プール管理	体育担当	
		9 空気点検	養教	
		10 灯油燃料	事務	
		1 献立作成	栄養教諭	
2 食材発注	栄養教諭			
3 食品衛生管理点検	栄養教諭			
4 給食試食会	栄養教諭			
5 給食施設管理	栄養教諭			

項目		チームメンバー		内容	担当者
管理部	教科担当備品管理 ・教育推進	全員	1	国語	岡本
			2	社会	前山
			3	算数	山科
			4	理科	古谷
			5	生活	山科
			6	音楽	西田
			7	図工	大岡
			8	家庭	岡本
			9	保健体育	前山
			10	外国語活動	西田
			11	特別支援	奥田
			12	総合的な学習	岡本
			13	特別活動	岡本
			14	道徳	古谷
			15	視聴覚	前山
渉外	連絡・調整	各担当	1	ふるさと学習等(歴史教室)	5・6年担任・教頭
			2	市科学研究	古谷
			3	学童保育連絡(1年)	1年担任・教頭
			4	スクールバス計画・指導	スクールバス担当(大岡)
			5	市・田鶴浜地区補導連盟	生徒指導担当・(P会長)
			6	田鶴浜スポーツクラブ学校担当	体育担当(前山)
PTA		全員 学校書記:教頭 会計:(奥田)	1	研修委員会 (教育講演会・フォーラム)	教頭, 岡本, 島田
			2	環境・厚生・防災委員会 (奉仕作業・通学路安全点検) 交通安全指導計画 リユース活動・給食試食会	山科, 大岡, 三宅, 山崎
			3	広報委員会	山本, 西田, 前山, 古谷

VII. 教科・特別教育

項目	チームメンバー	内容	担当者	
教科・特別教育部員	市学校教育研究会	全員	教科別	
			1 国語科	岡本
			2 社会科	山科
			3 算数科	古谷, 大岡, 林
			4 理科	
			5 音楽科	
			6 図工科	清水
			7 家庭科	
			8 保健体育科	前山
			9 生活科	
			10 英語	西田
			11 特別支援	奥田, 島田
			12 事務職員	山本
			13 養護教員	山崎
			14 栄養教諭・栄養職員	三宅
			専門別	
			1 学校図書館教育	図書担当(奥田)
			2 視聴覚・教育工学教育	GIGA(前山)
			3 学校保健	養教(山崎)
			4 学校体育	体育担当(前山)
			5 学校給食	栄養教諭(三宅), 清水, 林
			6 生徒指導・学校安全	生徒指導主事(山科)
			7 教育相談	教育相談担当(島田)
			8 書写教育	書写担当(西田)
9 道德教育	道德教育推進教師(古谷)			
10 特別活動・キャリア教育	キャリア教育担当(岡本)			

4 校内各種委員会

校内各種委員会	校内運営委員会	1	校長・教頭・教務主任・研究主任・生徒指導・保健主事
	校内学校研究推進委員会	2	校長・教頭・教務主任・研究主任・研究副主任・生徒指導・保健主事
	就学指導委員会	3	校長・教頭・教務主任・養護教諭・特別支援C
	学校保健委員会	4	校長・教頭・保健主事・養護教諭・学校医・学校薬剤師
	アレルギー対応委員会	5	校長・教頭・教務主任・保健主事・養護教諭・栄養教諭・学校医・学校薬剤師・学担
	特別支援教育委員会	6	校長・教頭・特別支援C・養護教諭・生徒指導主事・学担
	校内安全衛生委員会	7	校長・教頭・教務主任・保健主事・養護教諭・学校医
	いじめ問題対策チーム	8	校長・教頭・教務主任・特別支援C・養護教諭・生徒指導主事 教育相談C・いじめ対応アドバイザー・スクールカウンセラー
	小中連携推進委員会	9	校長・教頭・6年担任・養護教諭・特別支援C
	保小連携推進委員会	10	校長・教頭・1年担任・養護教諭・特別支援C

5 町別児童会

下校順	地区名	人数	場所	会長	副会長	担当	備考	
3	馬場	16	外国語教室	川森⑥	稲田⑥	大岡島田		
	登・西町 上野が丘 丸山町	9		吉村⑥	野田⑥			
	市姫 地区	上下東	5	音楽室	宮崎匠⑤	今井⑤	山科 古谷	
		中南町	7					
殿町	8	広野⑥	水谷④					
2	高田・杉森・ 三引	14	6年1組	大橋⑥	端⑥	前山		
1	新屋・垣吉・ 川尻・舟尾	12	5年1組	宮崎司⑥	垣田⑥	西田		
バス	伊久留	7	4年1組	西谷内⑥	中田⑤	岡本	相馬1	
	吉田・七原・西下	10					相馬2	
	深見・白浜	8	会議室	西本⑥	圓山⑥	奥田	金崎2	
	大津	4					金崎1	

100

学 童 保 育	田鶴浜	1年 (11)	3年 (16)	5年 (5)	教頭
		2年 (10)	4年 (5)	6年 (3)	

※下校順3の地区はできるだけいっしょに帰る。方面が同じなので。

X 関係諸団体

1 P T A組織

【役員・監事】

会 長	坂井 英峰
副会長	奥成 真己 廣瀬 祥伍
書 記	山沢 真弥 学校書記 林 千尋
会 計	桶谷 早紀 学校会計 奥田 由紀
参 与	黒崎 孝夫 学校長 清水 昭浩
監 事	坪江 真理子 寺井 絵美

※ 七尾市P T A連合会・・・坂井 英峰（会長理事） 奥成 真己（市P連役員）
 廣瀬 祥伍（保護者代表・保護者理事）

【専門委員】

	委 員 ①は委員長 ②は副委員長	学校書記
研 修	③⑥後藤 忍、⑤一花 千晶、西端 侑希、④広野 慧子、 ③③永田 有香、②②藏本 裕子、①加納 彩夏	岡本茉奈、島田千晴、 林 千尋
環 境 厚 生 防 災	①⑥岡田 晃、②⑤宮崎 靖弘、④水谷 未佳、 ③宮崎 真理子、②北野 正翔、①遠藤 絵梨	山科建太、大岡敏幸、 三宅章子、山崎恵子
広 報	③⑥川森 宏樹、①⑤石川 洋平、④堀田 麻衣、 ③松本 由香、②出村 隆能、①稲田 愛子	山本 純、西田 瞳、 前山 遼、古谷月花

【学年委員】

	委 員 ①は委員長 ②は副委員長	学級担任
1 年	①岩島 未来、②赤尾 かおり、東間 一花	山科 建太
2 年	①岡馬 崇博、②西村 恵	岡本 茉奈 島田 千晴
3 年	①中村 友里、②西住 優香、野田 真紀子	大岡 敏幸
4 年	①山口 陽子、②廣瀬 祥伍、山沢 真弥	古谷 月花
5 年	①西川 知里、②中田 彩、吉野 成美、今井 晴美、林 賢二	前山 遼 奥田 由紀
6 年	①門口 卓也、②端 尚子、垣田 佐知子	西田 瞳 奥田 由紀

2 地区別PTA会員数

子ども会町名		会員数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数
1	馬場	14	4	3	5	0	2	2	16
2	上東	3	0	0	1	0	2	0	3
	下東	2	0	1	1	0	0	0	2
3	中町	3	2	0	1	1	0	0	4
	南町	2	0	1	0	0	2	0	3
4	殿町	6	2	0	2	2	0	2	8
5	登町	1	0	0	1	0	0	0	1
	丸山町	1	0	0	0	0	0	1	1
6	西町	4	0	0	1	2	1	1	5
7	上野ヶ丘	2	0	0	0	0	2	0	2
8	高田	4	0	1	1	0	3	0	5
	杉森	3	1	1	1	0	2	0	5
9	三引	3	0	0	1	1	0	2	4
10	新屋・垣吉・東山	3	1	1	0	0	1	1	4
11	川尻	1	0	0	1	0	0	1	2
12	舟尾	3	0	2	2	0	1	1	6
合 計		55	10	10	18	6	16	11	71

子ども会町名		会員数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数
13	伊久留	4	1	1	1	2	2	0	7
14	吉田(七原)	7	1	3	2	1	2	1	10
15	西下	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		11	2	4	3	3	4	1	17

子ども会町名		会員数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数
16	大津	4	0	0	0	0	1	3	4
17	深見	4	0	0	0	2	1	2	5
18	白浜	2	0	1	0	1	0	1	3
合 計		10	0	1	0	3	2	6	12

		会員数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数
19	区域外	0	0	0	0	0	0	0	0

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全 校
児童数	12	15	21	12	22	18	100
長子数	5	9	13	10	22	18	77

3 令和8年度PTA会計予算

◇収入の部

(単位:円)

項 目	R7予算額	R8予算額	増減	付記
1 会 費	642,000	540,000	-102,000	(長子77名+職員13名)×6,000円
2 繰越金	317,632	300,358	-17,274	
3 雑収入	200,368	0	-200,368	
合 計	1,160,000	840,358	-319,642	

◇支出の部

項 目	令和7年度予算額	令和8年度予算額	増減	付記
1 事務費	10,000	10,000	0	
2 会議費	10,000	10,000	0	
3 事業費	675,400	430,400	-245,000	
① 研修委員会	300,000	80,000	-220,000	PTA音楽鑑賞会講師謝礼
② 学年委員会	117,000	102,000	-15,000	学年PTCA 1,000円×100名, 6年担任(2名)コサージュ
③ 環境厚生委員会	60,000	60,000	0	ガソリン代,奉仕作業飲み物代
④ 広報委員会	158,400	158,400	0	PTA広報発行(3回)
⑤ 動員旅費	40,000	30,000	-10,000	
4 助成費	361,940	291,600	-70,340	
① 掲示図書代	42,000	42,000	0	児童新聞(11ヶ月分),
② 卒業記念費	59,940	39,600	-20,340	卒業記念品(アルバム補助) 2000円×18名 筒代 220円×18名
③ 児童活動費	150,000	120,000	-30,000	学習体験補助費(スキー他),プール保険
④ 環境美化費	90,000	80,000	-10,000	式場生花代 鉢花 他
⑤ 輸送費	20,000	10,000	-10,000	
5 負担金	66,020	58,200	-7,820	
① ☆市P連合会費	51,200	45,200	-6,000	400円×(100名+職員13名)
② ☆県P安全会費	13,680	12,000	-1,680	120円100名
③ 学校体育研究会負担金	1,140	1,000	-140	10円×100名
6 慶弔費	30,000	30,000	0	
7 地域会合費	0	0	0	
8 予備費	6,640	10,158	3,518	
合 計	1,160,000	840,358	-319,642	

○項目の(節)の内の流用を認める

☆ 七尾市PTA連合会 石川県PTA安全会

☆集金方法

- ・年間の会費6,000円(長子のみ)を毎月500円集金します。
- 但し、前期分を5月に3,000円、後期分を10月に3,000円集金。
- ・集金は口座振替。

☆備考

- ・2021年度から、市P連会費(年額)は一人あたり400円に変更となる。
- ・PTA広報 インク代値上げの為 ¥52,800×3回=¥158,400 に変更になります。

